

官報

號外

大正五年二月二十五日 金曜日

印刷局

(○第三十七回 帝國議會衆議院議事速記錄第三十二號
大正五年二月二十四日(木曜日)午後一時十七分開議
議事日程 第三十一號 大正五年二月二十四日

午後一時開議

第十八 鐵道敷設法中改正法律案(齊藤宇一郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十 農事獎勵ニ關スル建議案(多木久米次)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十九 重要物產同業組合法中改正法律案(嘉平)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

名提出(治君外五)

第二十一 水產調查會設置ニ關スル建議案(兒玉亮太)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十二 航空事業國庫補助ニ關スル建議案(高木正年君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十三 京都高等蠶業學校ニ農業科併置ニ關スル建議案(川崎安之)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十四 產業組合ニ關スル建議案(小林嘉治君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十五 東北振興ニ關スル建議案(村松雄一郎君外)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十六 富士川改修工事速成ニ關スル建議案(外二名提出)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十七 岡山縣下宇野港ヲ特別輸出港ト爲スノ建議案(安東敏之君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十八 岐阜多治見間鐵道速成ニ關スル建議案(匹田)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第二十九 飛驒縱貫鐵道速成ニ關スル建議案(匹田銳吉君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十 飛驒鐵道速成ニ關スル建議案(岡崎久次郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十一 名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案(市太)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十二 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十三 酒造稅納期繩下ニ關スル建議案(川上榮太郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十四 蠶絲業振興發達ニ關スル建議案(今西林三郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十五 八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案(山田珠)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十六 金玉均表彰ニ關スル建議案(小林勝民君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十七 上越鐵道建設ニ關スル建議案(須藤嘉吉君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十八 上越鐵道建設ニ關スル建議案(川上榮太郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第三十九 信越河東鐵道建設ニ關スル建議案(高島駿作君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第四十 南太平洋航路開始ニ關スル建議案(小西和君外)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十一 郡制中改正法律案(横山金太郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十二 兵役稅法案(矢島八郎君外)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十三 発兵戰病死者遺族軍人家族救護法案(矢島八郎君外)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十四 人權保護ニ關スル法律案(高木益太郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十五 刑事訴訟法中改正法律案(高木益太郎君)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十六 特許法中改正法律案(織田了)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

第十七 實用新案法中改正法律案(織田了)
第一讀會(委員長) 第一讀會(報告)

○神通川改修工事速成ニ關スル建議案(關野著)

(外三名)

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマズ

(提出)

○第四十二 外國米輸入官營ニ關スル建議案(井原百介君)

(委員長報告)

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマズ

(書記朗讀)

○長崎縣對馬國ニ自治制急弛ニ關スル建議案

(提出者)

○倉光藤太君 浦瀬濟三君 岡部政太郎君

○貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

○重要物產同業組合法中改正法律案

○明治四十年法律第十一號中改正法律案

○貴族院へ本院送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

○(第二號)大正五年度歲入歲出總豫算追加案

○(第一號)大正四年度歲入歲出總豫算追加案

○(特第二號)大正四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

○賣糞法中改正法律案(本院提出)

○常任委員ノ補缺選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

○第二部 決算委員 鹿島秀智君

○(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)

○委員異動 大正二年法律第十七號廢止法律案委員増田次郎君辭任ニ付其補闕トシテ田村新吉君ヲ、鐵道敷設法中改正法律案委員小森雄介君辭任ニ付其補闕トシテ小林源藏君ヲ議長ニ於テ就レモ選定セリ

○委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

○鐵道敷設法中改正法律案委員會

○守屋此助君

○河崎助太郎君

○小久保喜七君 此席カラ申述ベマス、昨日總理大臣ノ答辯ニ依リマスト、總理大臣ハ身體ノ故障ニ因リ膝行座拜スルコトが出來ナリカラ、他ノ大臣ヲシテ代理セシメタト云フ御答辯ガアッタノデアリマス、膝行坐拜ノ出來ナインハ要シマスルニ隻脚デアルト云フコトガ原因デアルト考ヘマス、隻脚ト云フコトハ既ニ二十一年以來ノコトデ即日起シタ故障デナリ、即日起シタ故障デナイト致シマスレバ、尙更手續ヲ略シタト云フコトハ不都合アルト云フ感想ヲ私ハ起スノデアリマス、即チ總理大臣ノ答辯ハ、答辯ヲスル度毎ニ私ハ疑惑ヲ起スノデアリマス、益々質問應答ノ必要ヲ感ジマスル故ニ、私ハ衆議院規則第百四十一條ニ據シテ、總理大臣ノ御都合ノ好イ何レノ日テモ宜シウゴザイマスカラ、更ニ出席アランコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 申次ギマス、次ノ通告者ハ三輪市太郎君、議事進行ニ關スル通告デアリマス——三輪市太郎君——マダ著席ガアリマセヌ、ソレデハ是ハ後ニ譲リマス、日程第一、重要物產同業組合法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、河野農商務大臣

○第一 重要物產同業組合法中改正法律案(政府提出、第一讀會)

○重要物產同業組合法中改正法律案

出ガ委員長古屋慶隆君カラアリマシタ、大正二年法律第十七號廢止法律案 委員會ヲ開キタイト云フ委員長(島田三郎君)ノ申出ガアリマシタ、何レモ許可致シマシタ——是ヨリ會議ヲ開キマス、通告ニ依テ發議ヲ許シマス、議事ノ進行ニ關スル通告ガアリマス、小久保喜七君

○小久保喜七君 此席カラ申述ベマス、昨日總理大臣ノ答辯ニ依リマスト、總理大臣ハ身體ノ故障ニ因リ膝行座拜スルコトが出來ナリカラ、他ノ大臣ヲシテ代理セシメタト云フ御答辯ガアッタノデアリマス、膝行坐拜ノ出來ナインハ要シマスルニ隻脚デアルト云フコトガ原因デアルト考ヘマス、隻脚ト云フコトハ既ニ二十一年以來ノコトデ即日起シタ故障デナリ、即日起シタ故障デナイト致シマスレバ、尙更手續ヲ略シタト云フコトハ不都合アルト云フ感想ヲ私ハ起スノデアリマス、即チ總理大臣ノ答辯ハ、答辯ヲスル度毎ニ私ハ疑惑ヲ起スノデアリマス、益々質問應答ノ必要ヲ感ジマスル故ニ、私ハ衆議院規則第百四十一條ニ據シテ、總理大臣ノ御都合ノ好イ何レノ日テモ宜シウゴザイマスカラ、更ニ出席アランコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 申次ギマス、次ノ通告者ハ三輪市太郎君、議事進行ニ關スル通告デアリマス——三輪市太郎君——マダ著席ガアリマセヌ、ソレデハ是ハ後ニ譲リマス、日程第一、重要物產同業組合法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、河野農商務大臣

○第一 重要物產同業組合法中改正法律案(政府提出、第一讀會)

○重要物產同業組合法中改正法律案

○重要物產同業組合聯合會ハノ加入若ハ同業組合聯合會ヨリノ脫退ヲ命スルコトヲ得ニ改ム

○第十九條 第四條ノ規定ニ違背シタル者ハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ申出ガ委員長初見八郎君カラアリマシタ、華族世襲財產法委員會ヲ開キタイト云フ申

第十九條ノ二 同業組合及同業組合聯合會ノ役員第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違背シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス。拒ミ之ヲ妨ケ若ハ之ヲ忌避シタルトキ又ハ職務ノ執行ノ爲ニスル尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス。

第十九條ノ四 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前三條ノ過料ニ之ヲ準用ス。

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若ハ検査證ヲ不正ニ使用シタル者、行使ノ目的ヲ以テ證票若ハ検査證ヲ偽造若ハ變造シタル者又ハ偽造若ハ變造ノ證票若ハ検査證ヲ使用シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス。

第二十條ノ二 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ役員又ハ検査員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス。因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス。

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス。

第二十條ノ三 前條第一項ニ掲タル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス。

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得。

第二十條ノ四 第二十條ニ掲タル罪ハ刑法第三條ノ例ニ、第二十條ノ二ニ掲タル罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ。

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム。

本法施行前選任セラレタル検査員ニ付テハ本法施行後一月内ニ其ノ選任ノ認可ヲ申請スヘシ。

前項ノ期間内ニ認可ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ期間満了ノ日、申請ニ對シ不認可ノ指令アリタルトキハ其ノ指令ノ日ニ於テ検査員ハ解任セラレタ

ルモノト看做ス。

検査員ハ前項解任ノ日迄從前ノ例ニ依リ職務ヲ行フコトヲ得。

本法施行前選任セラレタル検査員ニ付テハ本法施行後一月内ニ其ノ選任ノ認可ヲ申請スヘシ。

二削除

(農商務大臣河野廣中君登壇)

(拍手起ル)

○農商務大臣(河野廣中君) 重要物産ノ組合法ニ付マシテ提出ノ理由ヲ述ベマス、此重要物産同業組合法ハ明治二十二年ノ制定ニ係リマシテ、爾來實施ヲ致シテ參アヌ、昨年末ノ現在ニ依リマスレハ組合ノ數が千二十一、聯合會ノ數が四十六、

ソレカラ一年ノ經費が約三百万圓ニ達シテ居リマス、而シテ此各組合聯合會中ニ未ダ成績ノ良好ナラザルモノが少クゴザイマセノアリマシテ、ソレ故ニ改正ラ致シテ有力ナル活動ヲ圖ルノ必要ガアルト云フコトハ、既ニ朝野ノ認ムル所トナリマシタガタメニ、曩ニ農商務省ハ此改正案ヲ具シテ地方長官ニ諮問ヲ致シ、又商業會議所ニ諮問ヲ致シ、更ニ又生産調査會ニ諮問ヲ致シマシテ各、其意見ヲ聽キ、爾來引續イテ調査中テゴザイマシタ、偶、歐洲ノ戰亂ニ際シマシテ我が輸出貿易上ニ對シマシテ好影響ヲ受ケテ、輸出ガ甚ダ増加ラ致シマシタノアリマス、此際ニ於テ輸出品ニ對シテ検査ヲ嚴重ニ致シマシテ、サウシテ此粗製濫造ノ取締ヲ致シマセスケレバナリマセド存シマス、此粗製濫造ノ取締ヲ致シマシテ、サウシテ我が輸出貿易ニ對シマシテ所謂永遠ノ計ヲ立ツルノ必要ヲ認ジマシタノアリマシテ、茲ニ此改正案ヲ提出致シタ次第テアリマス、其改正ノ要點ヲ申上ゲマスレバ、組合及聯合會ノ機關ヲ精撰ラ致シマシテ、サウシテ其職務ヲ十分ニ行ハシムルガタメニ監督ノ規定ヲ置キマシタノアリマス、殊ニ此輸出品ニ對シマシテハ組合聯合會ノ役員及検査員ニ付キマシテハ、其選任及解任ニ特別ナル規定ヲ設ケマシタノデゴザイマス、其他ハ數年ノ實驗ニ鑑ミマシテ不備ノ點ヲ補ヒマシタノガ、即チ本改正案ヲ提出致シマシタ次第テアリマス、ドウカ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切望致シマス。

○議長(島田三郎君) 質疑がナイト認メテ次ニ移リマス、日程第一、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉――山口俊一君

○山口俊一君 本案ヲ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「賛成々々」呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 山口君ノ發議ニ御異議ハナイト認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス――日程第三、明治四十年法律第十一號中改正

法律案第一讀會ヲ開キマス――藤澤政府委員ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○議長(島田三郎君) 質疑がナイト認メテ次ニ移リマス、日程第一、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉――山口俊一君

○山口俊一君 本案ヲ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「賛成々々」呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 山口君ノ發議ニ御異議ハナイト認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス――日程第三、明治四十年法律第十一號中改正

法律案第一讀會ヲ開キマス――藤澤政府委員ヲ付託スベキ委員ノ選舉

明治四十年法律第十一號中改正法律案(政府 第一讀會)

明治四十年法律第十一號中左ノ通改正ス

第四條ノ二 前條ノ療養所ノ長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被救護者ニ對シ必

要ナル懲戒又ハ檢束ヲ加フルコトヲ得

第七條中「沖繩縣及」ヲ削ル

(政府委員藤澤幾之輔君登壇)

(拍手起ル)

○政府委員(藤澤幾之輔君) 本案ハ至極簡單ナ案アゴザイマスガ、明治四十年法律第十一號中ノ第四條ノ次ニ第四條ノ二ノ一條ヲ設ケマシテ、療養所長ニ感化院

長ト同ジヤウナ具合ニ其秩序維持ノ必要上、懲戒及檢束ノ權力ヲ與ヘントスルモノテゴザイマス、斯様ニ致シマセスケレバ此多クノ病人ヲ集メテ置キマシテ、ナカノ其秩序ヲ維持スルト云フコトハ困難デゴザイマスラシテ、ヤハリ檢束、懲戒、是等ノ方法ヲ用

井タイト思フノゴザイマス、ソレカラ第七條ノ改正ハ是ハ申上ゲルマデモゴザイマセス、沖繩縣ニ既ニ府縣別ヲ實施致シテ居リマスルカ

ラシテ、法文ノ整理上此沖繩縣及ノ數字ヲ除クト云フコトニ致シタインデアリマス、他ノ委員會テ申上ダマス

○議長(島田三郎君) 別ニ質疑がナイト認メテ次ニ移リマス、日程第四、右議案、審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○山口俊一君 本案モ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレントヲ望ミマス

(賛成タキノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 山口君ノ發議ニ御異議がナイト認メマス、依テ山口君ノ議員長、報告ヲ求メマス——委員長石橋爲之助君

第五 關稅定率法中改正法律案(政府提 第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

(石橋爲之助君登壇)

○石橋爲之助君 本案委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、本案ヲ提出サレマシタ目的ハ既ニ政府ヨリ説明ガアリマシテ、其一々ノ物品ニ就テノ説明ハ、委シク速記録ニアリマスカラ諸君ノ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ其邊ハ省キマス、概シテ申シマスルト時局ノ影響ニ依テ内地ノ生産ヲ保護獎勵スルト云フノガ大體ノ目的デアリマシテ、原物品ニ屬スルモノニ或ハ無税トナシ、或ハ内地テ出來ルモノニ就テハ稅率ヲ上ゲテ、内地ノ製造業ヲ獎勵スルト云フヤウナ譯ニナシテ居ルノデアリマス、ソレテ委員會ニ於テハ慎重審査致シマシテ、其結果三箇ノ點ニ向テ修正ヲ加ヘマシテ可決致シタノデアリマス、其修正シマシタ箇條ヲ申上ゲマスが、關稅定率法ノ附屬輸入稅表中ノ第四百八十一號ニアリマスル所ノ鐵管ア、鐵接シタルモノニシテ内地ノ鐵管ア、鐵接シタルモノニシテ内徑五センチメートルヲ超エザルモノト云フ

一ツノモノト、ソレカラ 第四百七十一號ノ中ノ真鍮テ拵ヘタ「スチーブターピン」羽ニナリマス所ノ條及等、ソレカラモウ一ツハ四百八十四號ニアリマスル所ノ家屋、橋梁、船舶、船渠等ノ建築材料ニ供スルトヨロノ物品、此ニハ政府ノ提案ハ 稅率ヲ引上ケルコトニナシテ居リマス、其引上ケルノハサウエーフモノヲ製造スル工業が漸ク興リツ、アツ、之ヲ獎勵スルノ必要ガアルカラ輸入稅ヲ高メルト云フノ説明デアツタノデアリマス、然ルニ此修正ヲ提案セラレタ御説ニ依リマスト、此等ノモノハ 原料品ト言ヘバ 原料品デアリマスカ、先づ半製品ノヤウナモノデアル、サウシテ此輸入稅ヲ高メルガ爲ニ利益スル所ノモノハ極ク少數ノ、是が製造ニ從事シテ居ル工業ニ得ルノデアツテ、サウシテ其結果ハ此半製品ヲ以テ更ニ製造スル所ノ造船業者其他ニ於テハ、高イモノヲ買ハナケレバナラヌト云

此結果ニナルガ故ニ、造船獎勵法ノ改正トカ或ハ鐵ノ需用供給トカ云フヤウナ、サウ云ブ點カラ見マシテモ、之ヲ引上ケルコトハ宜シクナイト云フ意見ニ依テ、此ニツノモノヲ削除スル、即チ現狀維持ニ儘ニシテ置クト云フ修正意見ヲ述ベラル、方ガアルカモ知レマセヌガ、テハ委員會大多數が賛成デアリマシタノデ、此ニツノ點ハ削除ヲ致シマシタ、尤モ之ニ何レニ致シマシテモ顧クバ其利害得失ヲ公平ニ御判断ノ上テ、御決定アラムコトヲ希望就テハ政府が反對意見ヲ述ベラレタノデアリマスガ、採決ノ結果ハ唯今ノ申ヤウナ通り

決致シタ次第アリマス、此段御報告致シマス

(政府委員加藤政之助君登壇)

○政府委員(加藤政之助君) 本案ニ對シマシテ唯今委員長ヨリ修正意見ノ御報告ガ出マシテゴザイマス、元來本案ヲ提出致シマシタ趣旨ハ、我内地ノ生產發達ヲ期スルガ爲メニ輸出入ノ貿易ヲ調節シテ、サウシテ今日ノ時局ニ應シヤウト云フコトガ一面ノ趣旨デアリマス、又他ノ一面ニ於キマシテハ此輸出入物品中ニ種々ノ物ガアリマスケレドモ、我國ノ現狀ニ照シテ見マスルト、其稅率が同シ關稅アツテ極メテ權衡ヲ保ツテ居ラナイ、不權衡ニナシテ居ル物ガアルノデアリマス、其權衡ヲ保タシムルト云フコトが他ノ一面ノ趣旨デアツタノデアリマス、故ニ當局者ハ此案ヲ議會ニ提出致シマシタナラハ、必ズ全會一致ヲ以テ原案ヲ御賛成下サルコトデアラウト信シテ居リマシタ、然ルニ唯今ノ如キ修正が委員會ニ於テ決定セラレマシタ云フノハ、政府ノ甚ダ遺憾トスル所アリマス、畢竟政府委員ノ委員會ニ於ケル説明ニ盡サザル所ガアツテ、政府ノ趣旨徹底致サザルノ教所アラウト存ジマスル、依テ此機會ニ於テ本案ヲ提出致シマシタ趣旨ヲ一應詳ニ説明致シテ、諸君ノ御賢考ヲ仰ギタイノデアリマス、唯今ノ委員長ヨリ報告ニナリマシタ鐵

スル次第アリマス、ソレカラモウ一ツ修正意見ガ出マシタノハ、第百八十號中ノ枸橼酸デアリマス、從テ私ノ報告ガ濟ミマシタナラバ、後トテ政府カラ又此原案維持ノ意見ヲ述ベラル、即チ現狀維持ニ儘ニシテ置クト云フ修正意見ヲ述ベラル、方ガアルカモ知レマセヌガ、公衆衛生上カラ斯ウ云フ稅率ヲ上ゲテハイケナイト云フ修正意見ガ出タノデアリマス、併ナガラ一方カラハ此枸橼酸ハ既ニ内地ニ其製造ガ始ツタノデアルカラ、其内地ノ人

製造ヲ獎勵スル爲ニ是ハ引上ケルト云フ意見ガ出マシテ此修正說ハ極メテ少數テ消滅致シマシタ、其他ニハ修正ハアリマセス、併ナガラ此委員會ノ審査中ニハイロ／＼ノ意見ガ出マシテ、其主ナルモノヲ申シマスレバ「ムスクボルネオール」ト稱スル香料デアリマス、是ハ人造龍腦ト人造麝香トヲ混和シタルモノデアリマスガ、其混和セサル人造龍腦ト云フモノニハ二百五十圓ノ稅率ガ課シテアルノニ、混和サレタル「ムスクボルネオール」ハ僅ニ六十圓ノ課稅ニ過ギナイカラ、其差ダケハツマリ脫稅ノヤウナ形ニナル、故ニヤハリ是モ國產ヲ獎勵スルノ趣意カラ「ムスクボルネオール」ヲ人造龍腦ト同ジ位ニ引上ケル必要ガアラウ、斯ウ云フ意見ガ出マシタ、又此紙ノ關稅ニ付キマシテハ内地ノ紙ノ價が騰貴致シマシタカラシテ、之ヲ調節スル爲ニ紙ノ輸入關稅ヲ廢スルノ意思ガアリヤ否ヤト云フコトノ質問モ、政府ニ向テアリマシタ、又其他此「ベン」先ノコトニ就テモ質問が起リマシタ、イロ／＼サウ云フ風ニ今度ノ政府ノ提案以外ノ物品ニ就テ意見ガ出マシタガ、左様ニイロ／＼ノ問題ヲ此處ニ論ジマスルト云フト是レ日モ足ラズデアリマスカラ、協議致シマシテ、此政府案以外ノ物品ニ就テハ唯今手ヲ觸レナイト云フコトニ申合ラ致シマシタ、マル代リニ尙此政府ノ提案以外ニヤハリ今度改正ニナリマスル趣意カラ申シマスレバ、マダ幾ラモ改正ヲ施サナケレバナラヌモノガアルノデアリマスカラ、ソレ等ニ對シテハ十分ニ調査ノ上ニ政府が提案スルコトヲ希望スルト云フ精神デ、斯ノ如キ希望條件ヲ満場一致で決定致シタノデアリマス、之ヲ讀上げマス「關稅定率法中改正法律案委員會ニ於テ議決シタル希望條件、時局ニ影響内地產業及外國貿易ノ現狀等ニ鑑ミ、本案以外尙關稅定率法中改正ヲ要スルモノ多々アリド認ム政府ハ引續キ慎重ナル調査ヲ遂ケ次期ノ議會ニ更ニ本法ノ改正案ヲ提出セラレムコトヲ望ム」斯ウ云フ希望條件ヲ附ケマンテ、先キニ申シマシタ所ノ二箇ノ點ニ修正ヲ施シタ以外、他ハ何等ノ修正ナク原案ヲ可決致シタ次第アリマス、此段御報告致シマス

劣ラザル所ノ品物が出來掛けタ其製造場ハ、外國品ニ壓セラレテ倒レナケレバナラヌコトニナルノアリマス、一面カラ御考ニナリシタナラバ。此日今ノ競争ニ於ケル低廉ナル價格、斯様ナル價格ヲ以テ一般ノ需用ニ供給スルコトハ需用者ノ便トスル所アルト云フ御考が起ルカハ知レマセヌケレドモ、一旦内地ノ製造場が此競争ノ爲メニ壓倒セラレタト云フ曉ニハ、外國品ヲ扱フ所ノ商人等ハ今日ヨリヨリ以上引上ゲルト云フコトハ洵ニ明

白ナル事ニアラウト思フノアリマス、從ツテ之ヲ現制ノ儘ニ据置キマスト云フコトハ洵ニ国家ノ不利益アル、内地生産ノ發展ヲ少クモ阻礙スルモノアルト云フ考ヲ當局者ハ持ツテ居リマス、諸君、願クハ此點ニ御注目下サイマシテ、ドウゾ原案ニ復舊スルコトニ此點ハ御同意フ願ヒタイ、又其次ハ真鑑ノ條竿デアリマス、真鑑ノ條竿ハ是ハ從價二割ノ稅ヲ課シテ居リマシタノアリマス、即チ普通標準二割デゴザイマスカラ百斤七圓五十錢デアリマス、所ガ此法律ヲ制定シタ當時ニ輸入セラレザル所ノ「ターピン」用ノ條竿上云フモノガ、近ク輸入ノ途ガ開ケタノアリマス、「ターピン」用ト申シマスレバ、蒸氣ノ發動機調ニ用井マス所ノ真鑑ノ條竿デアリマス、此真鑑ノ條竿ハ普通ノ真鑑ノ條竿トハ異シテ居ルノアリマス、是ハ餘程加工ヲ致シタ物デアリマス、從ツテ直段ガ非常ニ違フノアリマス、普通ノ真鑑ノ條竿デアリマスト百斤四十圓内外ノモノアリマスガ、此「ターピン」用ノ條竿ニ至ツテハ百斤百圓以上ニ值ヒスル、即チ四ト十ト云フ相違ガアルノアリマス、此四ト十ト云フ相違ガアルニ拘ラズ、法律不懂ノ爲メニ之ニ適用スベキ稅目ガ無キガ爲ミニ、普通ノ真鑑ノ條竿ノ七圓五十錢ノ稅ヲ課シテ居ル、百斤四十圓ノ物ニモ七圓五十錢、百斤一圓以上ノ物ニモ七圓五十錢、斯ウ云フコトニ現在ナツテ居ルノアリマス、此ノ如キ有様デアリマスト、折角内地ニ「ターピン」用ノ條竿ノ製造が開ケテ參リマシテ、昨今ハ昨年一箇年五箇月ノ間ニ十一萬斤内地テ出來テ居ル、乃チ之ヲ一年平均ニスレバ七萬斤ハカリノ生産高ア、其工場ハ然モ三十四万斤ノ生産能力ヲ持ツテ居ルノアリマス、テ輸入ガ十三萬斤乃至十万斤デアリマス、此稅ヲ此儘ニ措キマスト此内地ニ興リ掛ケタ工場ガヤハリ壓倒サレナケレバナラスト云フコトニナル、加之稅率ノ上ニ於テ百圓ニ值ヒスル物ニモ七圓五十錢、四十圓ニ值ヒスル物ニモ七圓五十錢、斯様ナコトハ甚ダ不權衡極マルノアリマス、故ニ當局者トシテハ稅率ノ權衡ヲ保タシム上カラモ、是ニハ是非改正ヲ加ヘテ「ターピン」用ノ真鑑ニ適用スル一項目ヲ置カネバナラヌ、又内地生産ノ上カラ申シマスレバ尙更ノ事ニアリマス、畢竟是等ノ趣旨が委員諸君ノ御耳ニ徹底シナカッタ、説明が不十分アツタト云フ爲ニ削除セラレタコト、存シマスガ、此點ハ篤ト御賢考下サイマシテ原案ニ復舊ヲ願ヒタイ、又第三ニ建築用材ニアリマス、此建築用材ハ此度改正案ニ於テ稅率ヲ下ゲタイトト申シマスノハ、普通ノ建築用材デハナイデアリマス、即チ鐵ニ銅若クハ鉛ヲ加入シタ加工品アル、此加工品ニ向ツテ現在百斤一圓九十錢デアリマスルモノヲ一割五分ニ増シタトイトスウ云フノアリマス、即チ此加工品ハ例ヘ家屋ノ建築停車場ナドノ硝子屋根、サウ云フ所ニ特ニ用ウルトコロノノ加工品アル、普通ノ船ヤ何カニ用ウルトコロノモノデハナイノアリマス、然ルニ委員諸君ノ間ニハ之ニ改正ヲ加ヘテ増率スルト云フト、今日ノ如キ造船ノ事業ハ極メテ必要アル、是等ノ鐵ヘ寧ロ不足ヲ感シテ居ル、然ルニ船ニ用井マスル即チ船材及ビ鐵ノ板ハ此改正ガ出來マシテモ依然トシテ六十錢ノ舊稅率デアリマスカラ、此改正ヲシテモ船材及ビ船ニ用ユル鐵板ニハ何等ノ影響ガゴザイマセヌノアリマス、唯加工シタルトコロノ品物、之ニ向ツテ同等ノ稅ヲ取ルコトハ面白クナイカラ、此際改正ヲ加ヘテ多少ノ増率

が致シタイ、斯様ナ譯ニアリマス、要スルニ此度ノ關稅定率法ハ、此時局ニ當ツテ我内地ノ生產ノ發達ヲ圖リ、外輸出ヲ獎勵シテ輸出入ノ調節ヲ期スルト云フコトが太主眼ニアリマシテ、當局者ハ其點ニ深ク著目ヲ加ヘテ此修正ヲ致シマシタ次第アルトアリマベカラ、諸君ハ此趣旨ヲ十分ニ御了解下サイマシテ、原案ニ御贊成フ國家ノ爲メニ切ニ希望致シマス。

○岡崎久次郎君 加藤參政官ニチヨット簡單ナ質問ガアリマス、第一ニ伺ヒタイノハ、政府委員ノ答辯要領ヲ得ナイ、委員が甚ダ審議ヲ盡サナカッタ、間違テアルト云フ御話デアリマスガ、本委員會ハ非常ニ勉強シテ審議ヲ盡シタノアリマス、一回集合ヲ致シテシテ殊ニ或一委員會ノ如キハ朝ノ十時カラ午後ノ五時マデ引續キヤツテ居リマス、決シテ左様ナル緩慢組漏ノ調查ヲシテ修正ヲ致シタノデハイコトヲ先ツ第一ニ御断り致シテ置キマス、ソレカラ「スチームダーピン」用ノ條竿及五「センチメートル」ノ鐵管トニ云フモノ、製造所ハ、住友製造所一箇所アルト云フコトヲ、政府委員ハ御答辯ニナツテ居リマスガ、加藤參政官ハ之ヲ御認ニナルノアリマセウカ、ソレトモ他ニ澤山アチラニモコチラニモ製造所ガアルト云フ御意思デアリマセウカ、是ハ論點ノ骨子ニナリマスカラ之ヲ御伺ヒシテ置キタノガ、ソレカラ船ニ何モ影響ガナイト云フ御話デアリマスガ、「スチームダーピン」ナルモノハワレテハドウ云フ所ヘ使ヒマスノアリマスカ、之ヲ御聽キシタイ、船ニハ御使ヒニナラヌ「スチームダーピン」デアツテ何處ニ使フ、特殊ノ「スチームダーピン」デアリマスカ、此ニ點ヲ先ツ御伺ヒ致シマス。

〔政府委員加藤政之助君登壇〕

○政府委員(加藤政之助君) 岡崎君ノ御問ニ御答ヲ致シマス、委員各位ガ御勉強ニナラナカッタ、調査ガ不十分アツタト云フコトヲ申上ゲタノデハナイ、政府委員ノ手ヲ盡サルトニロノアツタガ爲メニ、政府ノ意思ガ徹底シナカッタコトヲ遺憾トスル、畢竟政府委員ノ不十分ヲ申上ゲタ譯ニアリマス、此點ハ御了承ヲ願ヒマス、ソレカラ今ノ「スチームダーピン」ハ此船ニ使フノアハナイト斯ウ言ツタ、ソレハ岡崎君ノ御聽達ニアリマシテ、此船ノコトヲ申上ゲマシタノハ、四百八十四ノ建築用材ト云フ此部類ニ於テ申上ゲマシタ次第デ、「スチームダーピン」ハ勿論此蒸氣ノ發動機ニ使フモノアルト云フコトハ御説明ヲ申上ゲテ居リマスカラ、是ニハ誤リノアイコト、信ズルノアリマス、而シテ此「スチームダーピン」ノ製造所ハ幾箇所アルカ、是ハ多分一箇所アルト承ツテ居リマス、併ナガラ其製造力ハ、此製造能力ハ三十四万斤デアツテ、然ルニ現在製造高ハ平均七万斤デ輸入ガ十三萬斤アル、斯ウ云フ關係ニアリマスカラ此關係カラ其製造所ガアラウガ、國家ノ眼ヨリ見マスレバ是非之ヲ獎勵シテ發達セシムル必要ガアルト斯様ニ考ヘマス

○岡崎久次郎君 議長——議長

(佐々木安五郎君「發言ヲ許スベシ」ト呼フ)

○議長(島田三郎君) 佐々木君靜カニナサイ、他ニ發議ガナイト認メマス、本案ニ付

テ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリセカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニ決シマシ

タ——第一讀會ヲ開クコトニ決シマシ

○福田又一君 直ニ第一讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ直ニ第一讀會ヲ開クベシト云フノ說ニ御異議ハアリ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマシテ直ニ第二讀會ヲ開キマス、通告ガア
リマス、野村嘉六君

關稅定率法中改正法律案

第二讀會

〔野村嘉六君登壇〕
○野村嘉六君 本員ハ政府ノ原案ニ贊成ヲ表スル者アリマス、其理由ハ唯今政府委員カラ懇切ナル説明ガアリマシタ、アノ説明通ノ理由ア贊成ヲ表スルノデアリマス、ソレ致シマスト云アト第一ニハ時間ヲ無益ニ費スコト、第二ニハ同一ノコトヲ繰返スノデアリマスカラシテ、賢明ナル諸君ノ聰明ヲ疑フト云フ嫌ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ本員ハ政府委員ノ説明ヲ以テ、本案贊成ノ理由ニ代ヘルノデアリマスカラ、ドウゾ御贊成ヲ願ヒタウゴザイマス
○議長(島田三郎君) 岡崎君——發言ヲ御求メニナルナラバ此場合デアリマス

〔岡崎久次郎君登壇〕
〔簡單ト呼フ者アリ〕

○岡崎久次郎君 簡單ト云フコトデアリマスガ、本案ノ如キハ左様ニ簡單ニ參ラナイノアリマス、諸君吾ミハ大體ニ於テ現政府ノ施設ヲ贊成ヲ致シテ居ル者アリマス、併ナガラ假令大體ニ於テ贊成シタリト雖セ、斯ノ如キ國民ニ甚大ナル影響ヲ加ヘキ關稅問題ノ如キハ宜シク慎重ニ審議シテ、政府ニ非アレバ之ヲ修正シ可ナレバ之ヲ通過セシムルノガ、議院ノ本能ニシテ又議會ノ權威ナリト承知致シテ居リマス、故ニ遺憾ナガラ此ニ公平ナル修正ノ意見ヲ陳述致シマシテ、以テ賢明ナル議員諸君ノ御判断ヲ得タイト欲スル、ニアリマス〔謹聽ト呼フ者アリ〕加藤參政官ハ唯今此委員ノ修正サレタル點ニ付テ御述ベニナッタ中ニ、時局ニ應ズル趣旨デアルト云フコトデアリマシタが、是ハ少シ御考達ヒテアラウト思フノデアリマシテ、時局ニ處スルノ途ハ今何モ御執リニナッタトコロデ仕方がナシ、關稅ヲ御下ゲニナッタコロデ御上ゲニナッタコロデ、輸入ガアル譯テモナケレバ調節ガ出来ルコトデナイト云フコトハ、鐵ノ問題トキニ既ニ政府當局者竝ニ農商務大臣が詳シク述ベラレテ居ルノデアリマス故ニ斯ノ如キ新シキ提案ガ何等時局問題ハ餘程考慮ヲ加ヘテ貰ヒタイ、是ガ吾ミノ欲スル一貫シタル趣旨アル、而シテ政府ノ趣旨ハ住友上云フ大富豪ガ一大製造所ヲ立テタニ付テ、之ヲ保護セネバナラスト云フノガ(拍手起ル)政府ノ一貫シタル趣旨ニ違ヒハナイノデアル〔ノウカト呼フ者アリ〕ノウカト仰シヤイマスガ私ハ之ヲ唯今確メタコロガ、住友製造所ノ外ニハ無イト云フコトハ此席デモ委員會ニ於テモ言明セラレテ居ルトコロデアリマス(拍手起ル)將來ハ別、現在ニ於アハ然リテアル、政府委員之ヲ認メテ居ルノデアル〔ノウカト呼フ者アリ〕ノウカト仰シヤイマスガ私ハ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、豫テ豫算總會ニ於キマシテ本員が造船獎勵ガ年々増加シテ困ルガ何トカ方法ガナイカ、モウ一つハ船舶ノ製造ノ原價が大層高クナル、此點ニ付テ御考ハ無イカト質問ヲ致シマシタキ、遞信大臣ハ曰ク、ドウカ船舶ニ用ニベキ鐵其他船舶材料ノ輸入稅トカ或ハ其他鐵ヲ廉クスル方法ヲ採シテ、船舶ノ原價ヲ廉クシタリト云フコトヲ御言明ニナリマシタガ、極メテ賢明ナ

ル御答辯ト承知シテ居ル、實ニ然リテアル、現在我帝國ノ船舶業ト云フモノハ深ク此處ニ申上ケマセヌガ、實ニ重大ナル地位ヲ有シテ居リ、將來重大ナル希望ヲ有シテ居ル、英國ノ如キモ獨逸ノ如キモ既ニ此重稅ノ爲ニ將來原價が益、高クナル、亞米利加ハ既ニ平時ニ於テ高イノデアル、故ニ我帝國が鐵及船舶材料等ノ輸入ヲ便ニシ船價ヲ廉クサレルコトニナレバ、或ハ東洋全體、我帝國ノ造船業ノ爲ニ獨占シ得ル、大ナル希望ヲ有シテ居ル、今日ニアリマスカラ、茲ニ餘程ノ注意ヲ要シテ、善後策ノ最モ宜シキヲ得ルコトが必要デアル、故ニ箕浦遞相ノ言明ハ極メテ是ハ賢明ナル答辯アルト私ハ承認シテ居ル、依然ルニ此ニ於テドウデアルカ「スチーモタービン」ト云フモノ、即チ後段申述ベマスが船舶ニ最モ必要ナル此モノニ向シテ今迄ヨリ倍ノ稅ヲ掛ケル、七圓五十五錢ヲ十六圓ニスルト云フノハ倍以上ナル、又此鐘接シタル鐵管ト云フテ加藤君ハ唯今電導管——電氣ノ導管ニ使フト仰シヤイマシタがは「一知半解ノ言デアル(拍手起ル)左様ナ問題ヲハナイ、家屋ノ如キ船舶ノ如キ石油ノ如キ總テ此鐵管ヲ用井テ居ル、是レ即チ船舶ノ原價ヲ高クスルニアラズシテ何ゾヤ、殊ニ第四百八十四項ニ何トアル、家屋、橋梁、船舶、船渠等ノ建築材料、ノラ値上ゲナスシテ居ルノテハアリマセヌカ、斯ガル點ニ付テ賢明ナル大臣ノ答辯ト此提案ノ趣意ト茲ニ大ナル矛盾が出來テ居ルノハ何ノ理由ヲアルカト思ヘバ、斯ウ云フコトハ大臣ヤ局長ハ能ク御存ジナ、實ハズツトノ屬僚バカリ承知シテ、之ヲ金科玉條ナリトシテ政府案ナルが故ニ修正ヲ許サズ、政府案ナルが故ニ盲從スベシト云フニ至ツテハ、殆ド滑稽ノ次第アルト言ハナケレバナラヌ〔與黨顏色無シ〕岡崎君脱黨スペシト呼フ者アリ〕ソコテ私ハ少シ御謹聽ヲ願フノハ甚ダ恐縮デアリマスガ、此一項目ニ付テ少シ御説明ヲ申上ゲナケレバナラヌ、ソレハ吾ミハ修正致シマシタル鐵接管内ノ五「センチメートル」——直徑唯一「インチ」デス、指渡シ「インチ」ノ鐵管、是ハドウ云フ所ニ使ハレマスカ、石油ニ之ヲ使シテ居リマス、船舶ニ用井ルノデアリマス、殆ド總テノ工場用ニ之ヲ用井テ居ル、又諸君ノ家ニ於テモ此種ノ鐵管ヲ使シテナイ所ハナリ、所謂廣ク——淺イガ廣ク使シテ居ル、此場合サウ小サナ問題ナノミナラズ、一昨年ノ議會ニ於テ此鐵管ノ稅金ト云フモノヲ一遍「マンネスマント」——鐵管ノ一種ナ值上ラシテ居ルノデアル、今日ニ於テハ此値上ノ率ヲ應用シテ居ルノテアリマスカラ、之ヲ今一遍値上ヲシャウト云フノハ、所謂隨ヲ得テ蜀ヲ望ムテ、餘リニ製造家ガ望ミ過ギテ居ルノテ、是レ即チ住友製造所ガ游ヘテ居ル、又第二ノ「スチーモタービン」ト云フモノハ總テノ製造所ノ原動力デアリマス、電氣ニシロ或ヘ水力電氣或ヘ機械工業、無論船舶ハ從來「スチーミタービン」ガ無ケレバ動ガスコトが出來ナリ、現在ニ於ケル大ナル船舶、一万噸一万噸三万噸ト云フ大ナル船舶ヲ搭ヘ、又海軍ガ一万噸二万噸ノ大甲鐵艦ヲ浮ヘテ二十四節二十六節ノ速力ヲ出しシ得ルノハ此「スチーモタービン」ノ力ナアル、所謂工業ノ原動力デアル、斯ノ如キモノハ餘程慎重ニ御考ニナシテサウシテ之ヲ御出シニナラヌト云フト唯是ハ一工場——住友製造場ニ於ケルカラ之ヲ保護シテヤルト云フヤウデハ、國民ハ決シテ満足スルコトハ出來ヌノデアリマス(拍手起ル)況ヤ政府當局者ノ言フ通り、現在ハ關稅ヲ下ゲタシテ荷物ハ來ナイト云フ、又上ゲタシテモ來ナインテアル、上ゲデモ來ナインテモ來ナイト云フナラバ、吾ミノ修正シタ如クモウ一年待シテ能ク調査研究ヲシテ上ニ御出シニナルト云フコトニ御同意ニナッタ所ガ宜イ、必シモ之ヲ御出シニナラナケレバ工場ガ潰レルト云フコトデモナシ、是ハ殆ド解スル能ガアル所デアル、何故カト云フト工場ハ上ゲテ吳レルト云フノ目的トシテ工場ヲ建テタノデハナインテアリマス、既ニ過去ニ於テ此成立ノ項ニ算盤ヲ彈イテバチノ二二天作ノ五度之テ引合ウカブト云フノテ製造場ヲ搭ヘテ居ル、之ヲ豫想シテ是ダケ上ゲテ貰フト云フコトヲ豫想シテ建ツタ製造場ガ何處ニアリマ

ス、又民間ノ製造所ハソシナ薄弱ノモノナリ、或ハ大富豪ノ製造場デヘ此位ノコトヲ豫期シテアツタカモ知レヌガ、サウハ吾ミハ認メナイノデアル(參政官ハ來年ニナルト分ル)ト呼フ者アリ)況ヤ諸君(是等ノ三點ノ項目ノモノハ皆半成品アル、成品デハナイノデアル、所謂原動力及鐵管、是等ハ決シテ鐵管ソレ自身デハ何ニモスルコトハ出來ナリ「スチームグーピン」ソレ自身ハ何ニモ效能ハナイ、原動力ヲ高クシテヤレバ生産費ハ高ク付クニ極シテ居ル、又今ノ小サイ口徑ニ一時ノ鐵管ノ如キハ廣ク——淺クトモ廣ク使ハレルノアルカラ、國民一般ニ小サイ稅金ヲカケテ富豪ノ方ヲ保護スルト云フ理窟ニナルノニアリマス、是デハ實ニ困ル、第一ニ工業保護ト云ツテモ一ノ大ナル工場ニ獨占サセマデ之ヲ獎勵サレハ非常ニ困ル、ナゼト云フトサウシテモ其處ニ買ニ行カケレバナラヌ、又輸入ニ於テ求メヤウトスレバ稅金ハ高イ、ソレヨリハ幾分カ安イカラ其處ニ買ニ行ク、一箇所シカナ一工場デアルカラ代價ヤ其他イロ——ノ文句ヲ言ハレテ御隨意次第ニナシテ居ル、所謂拂下ヲ願フ形ニナルノデアリマスカラ、需用家ノ迷惑ハ實ハ一方ナラヌモノト御承知ヲ願ヒタイ、斯カル意味ニ於テ吾ミハ必ズシモ之ヲ否決スルノデハナイ、必ズシモ之が絶對ニイケナイト云フノデハナイ、日本工業ノ發達ニ達レテ右ノ保護法モ必要ニアリマセウ、併ナガラ關稅ノ事ナドハ他ノ物ニ付テモ皆鈞合ガアル、一ノモノト雖モ低クスレバ皆鈞合ニ依テ動クノデアル、斯ノ如キ種々ナル鈞合ヲ以テ居ルモノアリマスカラ、第一是ダケラ增加ナヌシテモ決シテ鈞合ヲ得ルモノデハアリマセス、斯カル趣意ニ於テ今警告的希望條件が出來シタ如ク、ドウガ來年度ニ於テハ全體ニ調ラシテ、訂正スベキモノハ訂正シ、增加スベキモノハ増加シ、吾ミハ決シテ必シモ反對ヲ申ス、次第テハアリマセヌカラ、能ク沈思熟考ノ上御提出アランコトヲ希望スル、今日ハ此修正即チ委員長ノ報告通り吾ミハ贊成致シマス、ドウカ諸君ノ公平ナル判断ニ御願致スノデアリマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 白石直治君

○工學博士白石直治君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ申シマス、私モ此法案ノ委員一人デアリマス、委員長ノ報告通り贊成ノ意思ヲ聲明致ス、次第テアリマス、唯一言添ヘマスルノハ、此委員會が政府ノ説明が不十分ナルが爲ニ、結果ニ於テ間違フ來シタノデアラウト云フコトヲ唯今ノ加藤參政官ヨリ御親切ナ説明ハ拜聽致シマシタガ、岡崎委員カラ申上ゲマシタ通リ、此案ニ付テノ審議ハ朝カラ晩マテ掛リマシテ、政府委員ノ説明即チ御年ハ若イガ神輿委員ハ頗ル此事ニ付テハ御専門ニアツテ、政府ノ意思ノアル所ハ頗ル丁寧ニ私共ノ頭ニ徹底スルヤウニ御説明ニナシタノデアリマス、加藤政府委員ノ唯今ノ御説明モ鮮明ナヒアリマスガ、兎モ角モ十分ニ一十分間ノ説明デアリマスカラ、私共ノ考テハ此加藤政府委員ノ御説明ヨリハ數十倍明瞭ニ鄭重ニ委員會テ承リマシタ、而シテ加藤參政官ノ申サレタ今日ノ御説明ハ、神輿委員ノ申サレタ中ノ一小部分デアリマス、故ニ今日ノ御説明ニ依テ私共ノ決意ヲ翻ヘスダケノ材料モ新シイ御説モ何ニモナインデアリマス、故ニヤハリ委員會テ審議致シマシタ通リ、委員長報告通り可決セラレムコトヲ希望致スノデアリマス

(拍手起ル)

○田村新吉君 議長、私モ委員一人デアリマスカラ……

○議長(島田三郎君) アナタハ贊成デスカ

○田村新吉君 原案ニ贊成致スノデアリマス
○議長(島田三郎君) ソレヲハ通告ガアリマスカラ、ソレガ濟ミマシタカラ——相島勘次郎君ヨリ定規ノ贊成ヲ得テ通告ガアリマスカラ、其通告ニ依テ發言ヲ許シマス、相島勘次郎君ノ登壇ヲ促シマス

○相島勘次郎君 私ハ岡崎君ガ舉ゲラレタル三點ダケハ同説デアリマスカラ、決ヲ採テ戴ク時分ニハソコマデハ同ジテ宜イノデアリマスガ、岡崎君提出ノ修正意見ノ外ニモウ一箇條修正箇條ガアルノデアリマス、私ハ此修正理由ヲ申述べマスル前ニ加藤政府委員ニ申上ゲタインデアリマスガ、加藤政府委員ハ政府ノ説明ガドウテアツトカ委員ガドウテヲ獎勵サレハ非常ニ困ル、ナゼト云フトサウシテモ其處ニ買ニ行カケレバナラヌ、又輸入ニ於テ求メヤウトスレバ稅金ハ高イ、ソレヨリハ幾分カ安イカラ其處ニ買ニ行ク、一箇所シカナ一工場デアルカラ代價ヤ其他イロ——ノ文句ヲ言ハレテ御隨意次第ニナシテ居ル、所謂拂下ヲ願フ形ニナルノデアリマスカラ、需用家ノ迷惑ハ實ハ一方ナラヌモノト御承知ヲ願ヒタイ、斯カル意味ニ於テ吾ミハ必ズシモ之ヲ否決スルノデハナイ、必ズシモ之が絶對ニイケナイト云フノデハナイ、日本工業ノ發達ニ達レテ右ノ保護法モ必要ニアリマセウ、併ナガラ關稅ノ事ナドハ他ノ物ニ付テモ皆鈞合ガアル、一ノモノト雖モ低クスレバ皆鈞合ニ依テ動クノデアル、斯ノ如キ種々ナル鈞合ヲ以テ居ルモノアリマスカラ、第一是ダケラ增加ナヌシテモ決シテ鈞合ヲ得ルモノデハアリマセス、斯カル趣意ニ於テ今警告的希望條件が出來シタ如ク、ドウガ來年度ニ於テハ全體ニ調ラシテ、訂正スベキモノハ訂正シ、增加スベキモノハ増加シ、吾ミハ決シテ必シモ反對ヲ申ス、次第テハアリマセヌカラ、能ク沈思熟考ノ上御提出アランコトヲ希望スル、今日ハ此修正即チ委員長ノ報告通り吾ミハ贊成致シマス、ドウカ諸君ノ公平ナル判断ニ御願致スノデアリマス(拍手起ル)

○相島勘次郎君 私ハ岡崎君ガ舉ゲラレタル三點ダケハ同説デアリマスカラ、決ヲ採テ戴ク時分ニハソコマデハ同ジテ宜イノデアリマスガ、岡崎君提出ノ修正意見ノ外ニモウ一箇條修正箇條ガアルノデアリマス、私ハ此修正理由ヲ申述べマスル前ニ加藤政府委員ニ申上ゲタインデアリマスガ、加藤政府委員ハ政府ノ説明ガドウテアツトカ委員ガドウテヲ獎勵サレハ非常ニ困ル、ナゼト云フトサウシテモ其處ニ買ニ行カケレバナラヌ、又輸入ニ於テ求メヤウトスレバ稅金ハ高イ、ソレヨリハ幾分カ安イカラ其處ニ買ニ行ク、一箇所シカナ一工場デアルカラ代價ヤ其他イロ——ノ文句ヲ言ハレテ御隨意次第ニナシテ居ル、所謂拂下ヲ願フ形ニナルノデアリマスカラ、需用家ノ迷惑ハ實ハ一方ナラヌモノト御承知ヲ願ヒタイ、斯カル意味ニ於テ吾ミハ必ズシモ之ヲ否決スルノデハナイ、必ズシモ之が絶對ニイケナイト云フヤウナコトハ斷ジテナインデアリマス、神輿政府委員ハ豫テアリマセウ、併ナガラ關稅ノ事ナドハ他ノ物ニ付テモ皆鈞合ガアル、一ノモノト雖モ低クスレバ皆鈞合ニ依テ動クノデアル、斯ノ如キ種々ナル鈞合ヲ以テ居ルモノアリマスカラ、第一是ダケラ增加ナヌシテモ決シテ鈞合ヲ得ルモノデハアリマセス、斯カル趣意ニ於テ今警告的希望條件が出來シタ如ク、ドウガ來年度ニ於テハ全體ニ調ラシテ、訂正スベキモノハ訂正シ、增加スベキモノハ増加シ、吾ミハ決シテ必シモ反對ヲ申ス、次第テハアリマセヌカラ、能ク沈思熟考ノ上御提出アランコトヲ希望スル、今日ハ此修正即チ委員長ノ報告通り吾ミハ贊成致シマス、ドウカ諸君ノ公平ナル判断ニ御願致スノデアリマス(拍手起ル)

○相島勘次郎君 私ハ岡崎君ガ舉ゲラレタル三點ダケハ同説デアリマスカラ、決ヲ採テ戴ク時分ニハソコマデハ同ジテ宜イノデアリマスガ、岡崎君提出ノ修正意見ノ外ニモウ一箇條修正箇條ガアルノデアリマス、私ハ此修正理由ヲ申述べマスル前ニ加藤政府委員ニ申上ゲタインデアリマスガ、加藤政府委員ハ政府ノ説明ガドウテアツトカ委員ガドウテヲ獎勵サレハ非常ニ困ル、ナゼト云フトサウシテモ其處ニ買ニ行カケレバナラヌ、又輸入ニ於テ求メヤウトスレバ稅金ハ高イ、ソレヨリハ幾分カ安イカラ其處ニ買ニ行ク、一箇所シカナ一工場デアルカラ代價ヤ其他イロ——ノ文句ヲ言ハレテ御隨意次第ニナシテ居ル、所謂拂下ヲ願フ形ニナルノデアリマスカラ、需用家ノ迷惑ハ實ハ一方ナラヌモノト御承知ヲ願ヒタイ、斯カル意味ニ於テ吾ミハ必ズシモ之ヲ否決スルノデハナイ、必ズシモ之が絶對ニイケナイト云フヤウナコトハ斷ジテナインデアリマス、神輿政府委員ハ豫テアリマセウ、併ナガラ關稅ノ事ナドハ他ノ物ニ付テモ皆鈞合ガアル、一ノモノト雖モ低クスレバ皆鈞合ニ依テ動クノデアル、斯ノ如キ種々ナル鈞合ヲ以テ居ルモノアリマスカラ、第一是ダケラ增加ナヌシテモ決シテ鈞合ヲ得ルモノデハアリマセス、斯カル趣意ニ於テ今警告的希望條件が出來シタ如ク、ドウガ來年度ニ於テハ全體ニ調ラシテ、訂正スベキモノハ訂正シ、增加スベキモノハ増加シ、吾ミハ決シテ必シモ反對ヲ申ス、次第テハアリマセヌカラ、能ク沈思熟考ノ上御提出アランコトヲ希望スル、今日ハ此修正即チ委員長ノ報告通り吾ミハ贊成致シマス、ドウカ諸君ノ公平ナル判断ニ御願致スノデアリマス(拍手起ル)

○相島勘次郎君 私ハ岡崎君ガ舉ゲラレタル三點ダケハ同説デアリマスカラ、決ヲ採テ戴ク時分ニハソコマデハ同ジテ宜イノデアリマスガ、岡崎君提出ノ修正意見ノ外ニモウ一箇條修正箇條ガアルノデアリマス、私ハ此修正理由ヲ申述べマスル前ニ加藤政府委員ニ申上ゲタインデアリマスガ、加藤政府委員ハ政府ノ説明ガドウテアツトカ委員ガドウテヲ獎勵サレハ非常ニ困ル、ナゼト云フトサウシテモ其處ニ買ニ行カケレバナラヌ、又輸入ニ於テ求メヤウトスレバ稅金ハ高イ、ソレヨリハ幾分カ安イカラ其處ニ買ニ行ク、一箇所シカナ一工場デアルカラ代價ヤ其他イロ——ノ文句ヲ言ハレテ御隨意次第ニナシテ居ル、所謂拂下ヲ願フ形ニナルノデアリマスカラ、需用家ノ迷惑ハ實ハ一方ナラヌモノト御承知ヲ願ヒタイ、斯カル意味ニ於テ吾ミハ必ズシモ之ヲ否決スルノデハナイ、必ズシモ之が絶對ニイケナイト云フヤウナコトハ斷ジテナインデアリマス、神輿政府委員ハ豫テアリマセウ、併ナガラ關稅ノ事ナドハ他ノ物ニ付テモ皆鈞合ガアル、一ノモノト雖モ低クスレバ皆鈞合ニ依テ動クノデアル、斯ノ如キ種々ナル鈞合ヲ以テ居ルモノアリマスカラ、第一是ダケラ增加ナヌシテモ決シテ鈞合ヲ得ルモノデハアリマセス、斯カル趣意ニ於テ今警告的希望條件が出來シタ如ク、ドウガ來年度ニ於テハ全體ニ調ラシテ、訂正スベキモノハ訂正シ、增加スベキモノハ増加シ、吾ミハ決シテ必シモ反對ヲ申ス、次第テハアリマセヌカラ、能ク沈思熟考ノ上御提出アランコトヲ希望スル、今日ハ此修正即チ委員長ノ報告通り吾ミハ贊成致シマス、ドウカ諸君ノ公平ナル判断ニ御願致スノデアリマス(拍手起ル)

製造スル爲ニ、非常ニ勞働者が仕事ヲ得ルヤウナコトアレハ又別デアリマスガ「之ヲ保護シヤウガシマスマイガ、ソレガ爲ニ勞働社會ガドワ云フヤウナ問題デハアリマセヌ、要スルニ是ハ保護ヲ加ヘタ所テ非常ニ盛ニナルモノデモ何デモナイノデアッテ、關係ハ衛生上ニモ重ナルモノデアリマス、又之ニ依テ製造シテ南洋、印度或ハ滿洲支那其他ニ輸出ヲスル品ノ上ニモ關係スルノニアリマス、政府ハ粗製濫造防止ト云フコトヲ言ダテ、能ク粗製濫造防止タキト云、之テ居リマスガ、斯ウ云フ點カラ改正ヲシナケレバ粗製濫造が出來ルノデアリマス、粗製濫造ハ必ズシモ機械類ヤソシナ物バカリヲ「言フノデハアリマセヌ、食料品ニシテモ鰯罐詰カラ鮒が出タリ、大ニ飲マウト思テ居ツタモノガ腐敗テ居タリスレバソレガ粗製濫造デ、食物ノ粗製濫造ハ國ノ貿易ヲ阻止スルコト重大ニアリマス、ソレデアリマスカラ保護政策ヲ執ル以上ハ、ソレト是トノ關係ハ餘程注意シナケレバナリマセヌ、ソレカラ又今年保護ヲ加ヘテモ來年ニナレバ其保護ヲ止メタケレバナラヤウナ關係ヲドウシテモ此保護政策ヲ執ル以上ハ持ツノニアリマスカラ、吾々委員會ニ於テハ慎重ナル審查ヲ加ヘテ、又來年セ審查ノ上ニ出スベキモノナラ出シタル宜カラウト云フ希望條件ヲ加ヘタノデアリマスカラ、來年出シテハナラスト云フノデハナイ、サウシテ早ク稅ヲ上ゲテ一地方ノ爲ニ實業獎勵ト云フヤウナコトヲシナイデ、慎重ノ態度ヲ執ルガ宜シイ、サウシテ是ハ金高ハ僅カ十万圓ノコラノモノニアリマスケレドモ、國家ノ衛生其外ニ重大ナ關係ガアルノデアリマス、又斯ウ云フモノガ出ル毎ニ、農商務省ト大藏省トノ議論ノ衝突が現ハレテ來ルコトが能クアリマス、農商務省ニ於テハ何デモ構ハズ内地産業保護トサヘ言ヘバ甚ダ名目ガ宜シカラシテ、ソレガ結果ハ少シモ構ハヌノニアリマス、又大藏省ニ於テハサウ云フ事ニ付テ聊カ眼ノ明イテ居ル人モアルケレドモ、併ナガラ關稅が多く取レルト云フヤウナコトヲ以テ、自分ノ手柄ノヤウニ考ヘテ居ル役人モ亦アルノニアリマス、ケレドモ農商務省モ大藏省モ同ク内閣デアリマスカラシテ、是ハ主義ヲ統一シテ、而シテ將來ハ斯ウ云フ主義ノ下ニ實業ヲ獎勵シ、斯ウ云フ主義ノ下ニ關稅ヲ改革スルト云フ考ヲ持タナケレバナリマセヌ、唯ダ一局部一局部ヘ唯ダ區々改正ヲシテハ甚ダ困リマスカラシテ、私ハ斯ウ云フコトハ今年ノ儘ニ置イテ、來年能ク考ヘタ上ニ御出シニナルコトヲ望ミマス、ソマリノ修正意見ハ岡崎君ノ說ニモウ一箇條加ヘタノニアリマスカラ、ドワツ満場ノ御贊成ヲ願ヒマス(拍手起立)

○田村新吉君 簡單デアリマスカラコチラデ……私ハ政府提出案ノ原案ニ賛成スル者アリマス(拍手起立)元來此度此稅率改正案ヲ提出ニナリマシタ趣旨、意思ノアル所ヲ見マスレバ此際國家ノ產業ヲ發達セシムル爲ニ、成ベク原料ニ付テハ課稅ヲ輕減シタイト云フ趣意ニ過ギスノニアリマス(「田村君ハ委員會テハ修正意見ニ御贊成爲ス」と呼フ者アリ)ソレハ百千ノ項目中僅ニ稅率ノ高クナルモノハ二點ニ止マルノモ能ク分ルノニアリマス(「分ラヌ、演壇」ト呼フ者アリ)其三點ノ物ニ付キマシテモ先キニ政府委員會ガ述ベマシタ如ク、一ハ權衡上ニテ居ラヌト云フヤウデアリマス、然ルニ私ガ思フニ、我が日本ハ關稅ニ對シマシテハ既ニ主義ガ立ツテ居ルト信ズルノニアリマス、ソレハ即チ保護政策ニアリマス、今日ノ世界ノ趨勢ヲ見マスルモ、保護政策ニアラザレバ一國ハ立チマセヌ、自由貿易ヲ今日唱へ或ハ保護スベキモノモ保護致シマセヌナラバ(「聞ヘマセヌ」と呼フ者アリ)遂ニ其國ノ前途ハ本統ニ發達致シマセヌ、私ハ外國ノ例ヲ引クコトハ好ミマセヌガ(「登壇」ト呼フ者アリ)何レノ國ヲ見テモ其事業ノ起ラントスルヤ、其事業ニ對シテ

- ハ(「登壇」「分ラヌ」と呼フ者アリ)
- 議長(島田三郎君) 静カニ……
- 田村新吉君 稅ヲ課シテ之ヲ保護シテ居ルノデゴザイマス(「聞ヘマセヌ」と呼フ者アリ)若シ斯様ナ場合ニ於テ是等ノ僅カナ事業ヲ助クルコトガ宣シクナイト云フコトデアッタナラバ、染料會社ヲ擁ヘルノモ亦如何テアリマセウカ、將來起ルベキ事業ヲ棄テ置イタラドガ粗製濫造デ、食物ノ粗製濫造ハ國ノ貿易ヲ阻止スルコト重大ニアリマス、ソレデアリマスカラ保護政策ヲ執ル以上ハ、ソレト是トノ關係ハ餘程注意シナケレバナリマセヌ、ソレカラ又今年保護ヲ加ヘテモ來年ニナレバ其保護ヲ止メタケレバナラヤウナ關係ヲドウシテモ此保護政策ヲ執ル以上ハ持ツノニアリマスカラ、吾々委員會ニ於テハ慎重ナル審查ヲ加ヘテ、又來年セ審查ノ上ニ出スベキモノナラ出シタル宜カラウト云フ希望條件ヲ加ヘタノデアリマスカラ、來年出シテハナラスト云フノデハナイ、サウシテ早ク稅ヲ上ゲテ一地方ノ爲ニ實業獎勵ト云フヤウナコトヲシナイデ、慎重ノ態度ヲ執ルガ宜シイ、サウシテ是ハ金高ハ僅カ十万圓ノコラノモノニアリマスケレドモ、國家ノ衛生其外ニ重大ナ關係ガアルノデアリマス、又斯ウ云フモノガ出ル毎ニ、農商務省ト大藏省トノ議論ノ衝突が現ハレテ來ルコトが能クアリマス、農商務省ニ於テハ何デモ構ハズ内地産業保護トサヘ言ヘバ甚ダ名目ガ宜シカラシテ、ソレガ結果ハ少シモ構ハヌノニアリマス、又大藏省ニ於テハサウ云フ事ニ付テ聊カ眼ノ明イテ居ル人モアルケレドモ、併ナガラ關稅が多く取レルト云フヤウナコトヲ以テ、自分ノ手柄ノヤウニ考ヘテ居ル役人モ亦アルノニアリマス、ケレドモ農商務省モ大藏省モ同ク内閣デアリマスカラシテ、是ハ主義ヲ統一シテ、而シテ將來ハ斯ウ云フ主義ノ下ニ實業ヲ獎勵シ、斯ウ云フ主義ノ下ニ關稅ヲ改革スルト云フ考ヲ持タナケレバナリマセヌ、唯ダ一局部一局部ヘ唯ダ區々改正ヲシテハ甚ダ困リマスカラシテ、私ハ斯ウ云フコトハ今年ノ儘ニ置イテ、來年能ク考ヘタ上ニ御出シニナルコトヲ望ミマス、ソマリノ修正意見ハ岡崎君ノ說ニモウ一箇條加ヘタノニアリマスカラ、ドワツ満場ノ御贊成ヲ願ヒマス(拍手起立)
- 田村新吉君 簡單デアリマスカラコチラデ……私ハ政府提出案ノ原案ニ賛成スル者アリマス(拍手起立)元來此度此稅率改正案ヲ提出ニナリマシタ趣旨、意思ノアル所ヲ見マスレバ此際國家ノ產業ヲ發達セシムル爲ニ、成ベク原料ニ付テハ課稅ヲ輕減シタイト云フ趣意ニ過ギスノニアリマス(「田村君ハ委員會テハ修正意見ニ御贊成爲ス」と呼フ者アリ)ヤウニ思ヒマシタガ、サウデアリマセヌカ
- 田村新吉君 其時ハ不贊成デアリマシタガ、出マセヌデアリマス(「採決ヲ望ミマス」と呼フ者アリ)
- 相島勘次郎君 田村君ハ委員テアッテ委員會テハ修正意見ニ御贊成爲スchte居タヤウニ思ヒマシタガ、サウデアリマセヌカ
- 田村新吉君 其時ハ不贊成デアリマシタガ、出マセヌデアリマス(「採決ヲ望ミマス」と呼フ者アリ)
- 議長(島田三郎君) 討論ハ盡キタ認メマス、採決致シマスニ方ツテ其方法ヲ宣明致シマス、本案ニ對スル修正說ハ二アリマス、一ハ委員長ノ報告通リノ修正、一ハ相島勘次郎君ノ修正、相島君ノ修正ハ相島君ノ述ベラタ通りニツノ箇條ハ委員長ノ報告通リテ、ソレニ附加ヘテ第百六十號中一八四〇ヲ一七六〇ニ改ムルト云フノヲ別ニ出サレタ、サウスルト相島君ノガ一番原案ニ遠イモノニアリマス、其中ニ付テ相島君ノ修正說ト委員長ノ報告ト一致シテ居ルコトハ後トテ採リマス、先づ異ナル點ダケ相島君ノ修正說トシテ採リマス、是テ御異存アリマセヌカ
- 議長(島田三郎君) 少數(アリマス)
- (「分ラヌ」と呼フ者アリ)
- 議長(島田三郎君) 少數(アリマス)
- (「多數タキ」「少數タキ」ノ聲交々起立)
- 議長(島田三郎君) 少數(アリマス)
- (「多數」「少數」ノ聲交々起立)(「異議アリ異議アリ」と呼フ者アリ)
- 議長(島田三郎君) 異議ガアレバ記名投票テ採リマス、定規ノ贊成ガアレバ記名投票テ採リマス

關稅定率法中改正法律案

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○福田又一君 第二讀會可決ノ通り即チ原案ニ決セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ナイト認メマス、第一讀會ノ決議通り確定議ト致シマス

(拍手スル者アリ)

○議長(島田三郎君) 日程第六 片岡直温君 是ヨリ豫算委員會ヲ開キマスカラ、委員諸君ハ委員室ニ御參集ヲ請

セマス

○議長(島田三郎君) 朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、早川龍介君

第六 朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ 移入税ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(早川龍介君登壇)

○早川龍介君 是ハ頗ル簡単ナ案デゴザイマス、最モ簡ニ御報告ヲ致シテ置キマス、委員會ハ前後三回開キマシタ、自分ヲ委員長ニ渡邊新太郎君ヲ理事ニ選舉ニナリマシタ、第一回ハ役員ノ選舉、第二回ハ質問、第三回目ニ決議ヲ致シマシタ、此決議ニ付キマシテハ山根正次君ヨリ此中ノ銅ト申シマスル銅ノ修正致シマシテ金屬ト改メタノアリマス、是ハ全體皆少シモ異議ナク決シタノデゴザイマス、次ニ此生果核子ト申シマスルノハ二割ノ輸入税デゴザイマス、御承知ノ通りニ朝鮮ハ追々内地カラ移リマシテ、サウシテ種々農業ニ力ヲ盡シテ居リマスノデ、從來ノ稅デゴザイマスルト非常ニ高稅デアリマス、一向此方へ這入シテ參リマセヌ、又東北地方デハ林檎其他ノ生果物ニ付キマシテハ、若シ朝鮮カラ安ク此生果物が這入シテ來タ時分ニハ、農業ヲ妨ゲル故ヲ以テ此稅ハ從來ノ通リニ据置キタイト云フ御論モアリマシタノテ、委員會アハ種々討論審議ヲ盡シマシタ結果、遂ニ唯今申シマシタ銅ノ塊トゴザイマスルノヲ金屬ト改メマシタノデ、其他ハ原案ニ總て決シマシタノデゴザイマス、洵ニ簡單デ其内容ヲ申上ゲレバマダ長クナリマスケレモ簡単ナ問題デゴザイマスデ、ドウツ委員會ノ決議通り御賛成アラムコトヲ願ヒマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 本案ニ付テ第一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

セラレムコトヲ望ミマス
(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ第一讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ第一讀會ヲ開キ第二讀會ヲ省略シ委員長報告通リ可決確定

開キマス
(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、依テ直ニ第一讀會ヲ

開キマス
(「賛成」ト呼フ者アリ)

朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案

第一讀會(確定議)

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君發議ノ通り第二讀會ヲ省略シテ可決確定スルコトニ御異議ガアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 本案ハ可決確定致シマス——日程第七、證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長ノ報告ヲ求メマス——鈴木寅彦君

第七 證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律 第一讀會ノ續(委員長)

(鈴木寅彦君登壇)

○鈴木寅彦君 證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上マス、此證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スルコトハ、此法律案ニ依テ初メテ行ハレルモノデアリマセス、勅令省令訓令等ニ依シテ是迄既ニ行ハレテ居シタノアリマスケレモ、取扱官署ニ制限ガアリ、證券ニ制限ガアリ、又稅目ニ制限ガアタノアリマス、今日發達致シマスル經濟界ノ實狀ニ順應セシムル爲ミニハ、之ヲ統一シタル法律ニスル必要ガアルト云フコトデ此案が提出サレタノデアリマス、質問應答ノ結果取扱銀行ハ特殊銀行及手形交換加盟銀行、國庫金取扱銀行ヲ以テ之ニ充テタイト云フコトデアリマス、證券ノ種類ハ特殊銀行手形交換所加盟銀行國庫金取扱銀行ニ宛テタル所持人拂ノ小切手、支拂期ノ到達セル無記名國債證券ノ利札、政府又ハ宮内省支拂命令及政府ノ支拂請求書郵便爲替等ヲ以テ充テタイト云フコトデアリマス、又小切手ニ付キマシテハ百圓以下ハ支拂保證ヲ要セズ、百圓以上ニ限シテ支拂保證ヲ要スルト云フコトノ意見デアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シタノデアリマス、唯希望條件ガ一ツアリマス「取扱銀行ヲ定ムルニ當シテハ成ベク其範圍ヲ擴大シ以テ本制定ノ精神ヲ貫徹スルニ努ムヘシ」ト云フ希望條件デアリマシテ、是亦滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス(拍手起立)

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ガナイト認メマス、二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ一讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ第一讀會ヲ開キ第二讀會ヲ省略シ委員長報告通リ可決セラレムコトヲ望ミマス
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナケレバ直ニ第一讀會ヲ開キマス
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)○議長(島田三郎君) 御異議ガアリマセヌカラ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマス
(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 日程第八、理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、守屋此助君

第八 理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君 諸君、唯今日程ニ上ツテ居リマスル此理化學ノ研究ニ關スル公益法
人ノ國庫補助ニ關スル法律案ハ、現内閣ノ政策ノ一トシテ世ノ中ニ迎ヘラレタル所ノ重
大ナ議案アリマスル、其故ニ委員會ハ頗ル慎重懶議ヲ盡サレタノアリマス、サウ致シ
マシテ此理化學研究上ノ事柄ハ、法文第一條ニアリマス通り、物理學並ニ化學ノ研究
ヨリ致シテ、生産上ニ之ヲ應用スルト云フ事柄が法ノ目的アルノアリマス、唯學問
ノ技ヲ研究スルニ止マルノアリノイデ、其方カラ言ヘバ主トナラナイ、應用ガ主トナル、是
ガ第一ノ政府ノ説明アリマス、ソレカラ委員諸君一同ノ熱心ニ御調ベニナツタ譯合ハ
今日獨逸ガノ強大ヲ以テ鳴シテ居ルノモ此物理學並ニ化學ノ研究ヲ宣ク致シテ是ノ
應用ニ巧ミナルヲ以テ、半世紀間ニ於テ獨逸ガ今日世界ニ霸ヲ唱ヘテ居ルノアル、斯
様ナ譯デアルカラ此理化學ノ研究ト云フ事柄ノ消長ハ、國ノ消長ニ關スルモノアルト
云フ事ヲ以テ、委員諸君ハ御調ベニ相成ッテ之ヲ以テ質問致サレ、政府モ其意味ヲ以
テ多ク答ヘラレテ居ルノアリマス、サウ致シマシテ委員諸君ガ一同ノ議論竝ニ意嚮ガ一
致イタシテ居ルノハ、帝國政府ガ斯様ナ案ノ提出ナ遲カリシ事ヲ恨ミトスルト云フノガ
ツデアリマス、第一ハ斯様ナ大切ナモノナルニ拘ラズ、規模ガ小ナルコトヲ恨ミトスルト
云フノガ、委員一同ノ感ヲ同ジシ意見ヲ同ジシ點アリマス、此事ニ付テハ委員ノ
中ニハ此理化學研究所ヲシテ今日ヨリ五年、十分ニ言ヘバ十年前ニ此ノ如キモノガ日
本帝國ニ出來テ居タナラバ、今日ノ時局、此上下ノ受クル利益幾何ゾヤ、然ル所十年
前ハサテ措キ、五年前ニモ出來テナカッタ、漸ク今日此案ヲ見タルヲ遲シトル、恨トス
ル、併ナガラ出サレザルヨリモ優レリ、斯ウ云フノデ此重大ナル案ヲ今政府ノ政策ノ一ト
シテ、免ニ角喜テ迎フルト云フ意向ヲ以テ迎ヘラレタノアリマス、サウ致シマシテ遲クナッ
タ理由ハ政府現内閣ハ以前ノ内閣ノ事ニ付テハ答辯ノ限ニアラズ、今ノ内閣ニナツテド
ウ云フ方針ヲ持ツカト云フト、ナルベク民間テ致サルモノノ政府ガ之ヲ補助スルト云フ
態度ニ於テ致シタトイ云フコトニ考ヘテ居ツタ、所ア長イ歴史ヲ申シマスルト煩雜ニナリマ
スカラ主要ノ點ダケラ申上ゲマスガ、大正五年一月二十一日ニナツテ學者竝ニ實業家
ヨリ建議案ガアツタノデ此案トナツタ、其建議者ノ名前ハ後日此與敗ニ重キ責任ヲ持ツ
テ居ラル、方テアリマスカラ此ニツク諸君ニ御紹介致シテ居リマス、ソレハ斯ウ云フコトナ
ズ「一、理化學研究所カ特ニ指定シタル發明ニ關スル懸賞金又ハ發明的考案ノ買
收」「二、發明獎勵ニ關スル賞與金又ハ補助金」「三、發明家ノ表彰及發明獎勵ニ必
要ナル支出」是ダケノ事柄ヲ附帶ノ決議ト致シテ決議致シマシテ、サウシテ原案ニ全
部贊成スルト云フ決議ニナリマシタ、此段御報告ニ及ビマス

(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 別ニ發議モナイト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議
ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ナイト認メテ第一讀會ヲ開クコトニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開カレントラ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ハナイト認メマス、依テ直ニ第二讀會ヲ
開キマス

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案 第二讀會

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス、鈴木梅四郎君、定規ノ贊成ヲ得ラレテ居ル
修正案ノ動議アリマス

是デ八百万圓ノ金アル、此八百万圓ヲ以テ此公益法人ヲ設立スルコトニシタイト云
フスウ云フ譯デアル、デアルカラ遅クナツタ譯、計畫ガ小サイト仰シャルガ先ツ八百万圓
ドウモ其規模ヲ初メヨリ大ニシテモ其人ヲ得ラレナイ、其人存シテ其政舉ルテ、人ヲ得ナケ
バ危大ナ金ヲ使ツテモ仕方ガナイガ、農商務省ニ於テ工業試驗所ヲ本年ヨリ擴張スルコ
トニナツテ居ル、此豫算ハ通過致シテ居ル、此方ニモ人ヲ取ラネバナラヌ、金ヨリカ八
ノ方が先づ拂底デアル、又金モ是レ以上出スト云フ事柄ハチヨット今ノ所デムヅカシ
イガ、是テ政府モ決シテ——決シテ満足シテ居ルノハアリマセヌガ、ヨリ多ク金モ集メ
又是迄ハ斯ウ云フヤウナ學者技術家ト云フ者ガ餘り世ノ中ニ必要デナカリシタニ、サ
ウ云フ道ノ學問ヲ修ムル人が少ナカッタ、ケレモ今後斯ウ云フコトガ尊敬ヲ受ケルヤウナ
事柄ノ雲行ニナレバ、思フニ人才ガ輩出スルコトアラウカラ、サウ遠キ將來ニアラズシテ
近キ將來ニ於テ擴張ハ出來ルト思フカラ、ドウカ此案ハ是デ計畫ノ小サイト云フ御不滿
足モアリマセウガ、ドウカ是デ満足シテ欲シ、又遲クナリマシタ譯柄ハ左様ナ譯アル
云フ事柄ガ政府ノ説明アリマシタ、ソコニ委員會デハ之ヲ——ソレダケガ大要ノ問答
デアリマシテ、決議致シマス際ニナツテ國民黨ヨリ出ラレマシタコロノ委員柏原君ハ、此
體ニ贊成ラスルガ、併シ其贊成ノ決議ヲスル前ニ於テ希望條件、是ガ一體近頃流行リ
モノナンデアリマスガ、餘リ希望條件ト云フモノヲ出スト云フコトハ、體裁ハ餘リ面白クナ
イコト、思ヒマスガ、イロイロ審議致シマシタ中ニ希望條件ガ數アリマシカ、其中ノ最
モ良キモノガ此ニ採用可決ニナツテ居リマス、ソレハ斯ウ云フコトナシテ「理化學ニ關スル
研究發明ヲ獎勵スヘキ目的ヲ以テ次期讀會ニ於テ政府ハ適當ナル法律案ヲ提出スルコ
ト」本案第一條ニ規定セル補助金額二百万圓ハ左、用途ニ使用セラレムコトヲ希望
ス「一、理化學研究所カ特ニ指定シタル發明ニ關スル懸賞金又ハ發明的考案ノ買
收」「二、發明獎勵ニ關スル賞與金又ハ補助金」「三、發明家ノ表彰及發明獎勵ニ必
要ナル支出」是ダケノ事柄ヲ附帶ノ決議ト致シテ決議致シマシテ、サウシテ原案ニ全
部贊成スルト云フ決議ニナリマシタ、此段御報告ニ及ビマス

〔鈴木梅四郎君登壇〕

〔拍手起立〕

○鈴木梅四郎君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ一ノ修正案ヲ提出致シマス、理化學研究所ノ問題ニ付キマシテハ我黨多年ノ主張ト致シマシテ、實ハ大正五年度ノ豫算ノ時ニ於キマシテモ一般ノ財政計畫ハソレゝ、查定ヲ致シマシタトキニ、此理化學研究所ノ問題モ併セテ我黨ニ議ニ上シテ居シタノデゴザイマス、從シテ豫算查定案ノ説明ヲ致シマス

シテ此設備費ニ充テ、更三年々研究費トシテ「一百萬圓宛ノ補助ヲ與ヘル、斯様ナコトニスルノアリマス、即チ私ノ修正ニ依リマスト設備費ト云フモノガ政府カラ出シマス」以テ最モ姑息ナリ貧弱ナリトル者ニアリマス、修正ノ要點ハ國庫ヨリ一千萬圓ヲ支出シテ此設備費ニ充テ、更三年々研究費トシテ「一百萬圓宛ノ補助ヲ與ヘル、斯様ナコトニスルノアリマス、即チ私ノ修正ニ依リマスト設備費ト云フモノガ政府カラ出シマス」一千萬圓、ソレニ唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ五百萬圓、若シ幸ニ帝室カラ御下賜ヲ戴キマスレバソレ合セマシテ一千六百万圓ノ設備ヲスルコトが出來ル、斯様ニアリマス、更ニソレニ一百萬圓宛研究費ヲ支出スルコトニナルノデゴザイマスカラシテ、マダ完全圓滿トハ申シマセヌケレドモ、今日世界ノ研究所ニ比較シマシテ餘り耻シクナイ所ノモノが出來ルノアリマス、尤モ米國邊デハ御承知ノ如クニ「ロックフェラー」ガ唯醫學タケニ闢スル研究所ヲ一千萬圓デ造ッテ居ルノアリマシテ、彼ノ有名ナル我ガ野口博士ナドハ此研究所デ聲名ヲ揚ゲラレテ居ルノアリマス、ソレ等ノ點カラ考ヘテ見マスルトソレデハマダ不十分ト思ヒマスガ、物ニハ順序ガゴザイマスカラシテ、私共ハ此案ヲ實施シタイト思フノアリマス、斯様ニ致シマスレバ此研究所ノ研究費ト云フモノハ十分デゴザイマスカラ、官民ヲ問ハズ學派ノ異同ヲ問ハズ、此研究ニ志ノ有ル學者ト云フモノガ、自由ニニ道入シテ研究スルコトが出來ルト云フ考テゴザイマスル、目下財政甚ダ裕ナラザル時ニ方ニテ、吾々が斯様ナ提議ヲ爲シマスル理由ヲ一通り申上げテ見タイ、御承知ノ通り歐洲大亂ノ結果、是ハ何時終局致シマスルカハ分リマセヌケレドモ、サリナガラ我ガ帝國ト致シマシテハ此大亂三鑑ミテ、差向キ國策上非常ナ大決心ヲ有シ大奮闘ヲ要スル問題ガ澤山アル、私共ハ此結果ニ鑑ミシテ第一ニ體面ヲ盡スニアラザレバ、我が帝國ノ體面ヲ保チ、我デアリマス、次ニハ軍器軍需ノ獨立ニアリマス、此三箇ノ獨立計畫即チ帝國ノ國策ト致シマシテハ是が最モ重要ナル問題テゴザイマシテ、此事ヲ成就セシムルコトニ御同様ニ十分ナル力ヲ盡スニアラザレバ、我が帝國ノ體面ヲ保チ、我が帝國ノ國權ヲ維持スルコトが出來ヌト私ハ信ジテ居ルノアリマス、學問ノ獨立ト申シマシテモ種々ゴザイマスルガ、今日迄帝國ノ此文明的ノ學問ト云フモノハ、全ク歐米ノ模倣ニ過ギナノアリマス、眞似ヲ致シテ居ルノアリマス、眞似ヲ既ニ致シテ居ルモノニアリマスルカラシテ、其眞物ニ劣ルト云フコトハ勿論、殊ニ總テ數年之ニ遲レルト云フコトハ明白ノ事柄テゴザイマスル、ソコテ此學問ノ獨立ヲスルニハドウシタラ宜シイカト申シマスルト、イロノク茲ニ手段方法ハゴザイマセウ、京都大學ニ於キマシテハ日獨戰爭ノ當初ニ於テ、獨逸語ヲ廢シテ學問ノ獨立ヲ叫バレタコトヲ聞イテ居リマスガ、獨逸語ヲ廢シテ學問ノ獨立ヲ叫バレルノモ其意氣ハ壯ト致シマスルガ、併シ斯様ナルコトテ學問ノ獨立ハ期セラレナイコト、思ヒマス、勿論學問ノ中ニ種々ゴザイマス、或ハ哲學、文學、法律、政治、經

書館ノ内ニ於テ研究モ出來ルノデゴザイマスルガ、理學化學ニ至リマシテハ是ハ只テハ研究が出來ナイノアリマス、ドウシテモ此ニ完全ナル所ノ設備ヲ致シマシタル研究所ガナケレバ是ハ出來ナイノアリマス、殊ニ理學化學ト申シマスルモノハ御承知ノ通り、近代文明ノ要

素アラシテ即チ近代ノ文明ハ理學化學ノ發達ニアルト申シテ宜シ、殊ニ此歐洲ノ大亂ニ當テドウシアリマスカ、殆ド歐羅巴ノ全國ヲ引受ケ奮闘シテ今日ノ成績ヲ舉ゲテ居ルノハ何ニ因ルカト申シマスレバ、私共ハ獨逸國ノ化學ノ發達シタルメテアル、即チ化學ノ勝利デアルト云フコトヲ私共ハ斷言シテ憚ラヌノアリマス（拍手起立）斯様ニ致シマシテ此理化學ヲ研究スルト云フコトニ付テハ、ドウシテモ姑息ナ設備ノ小サイ研究所デハ到底駄目ナノアリマス、總て此理化學ノ原理カラ究メテ、サウシテ之ヲ實地ノ實際ニ應用スルコトヲ研究スルニハ、ドウシテモ完全ナル所ノ理化學研究所ガ必要ト云フ見地カラシテ、學問ノ獨立ヲ圖リマスルタメニハドウシテモ此理化學研究所ヲ完全ニスルト云フ必要ガアルノアリマス、次ニ軍器軍需ノ獨立、是モ我國朝野ノ唱フル所テゴザイマスルガ、軍器軍需ノ獨立ハ如何ニシテ得ラレルカ、今日我陸海軍ノ人々ハ軍器ノ自給若クハ獨立ヲ唱ヘテ居ラレマス、殊ニ海軍ノ如キハ軍艦ヲ自分ノ國デ製造スルコトヲ以テ誇セラレテ居リマス、併シ之ヲ一切外國カラ買入レマシタキニ較ベマシタナラバ、ソレハ進シテ居ルニ相違ナイケレドモ、今日自分ノ所デ拵ヘル軍艦ハ果シドウテアルカ、成程出來ル、出來ルガ其物ハ先輩國ノ眞似ラシテ唯拵ヘルニ過ギナノアリ、故ニ甚ダニナシマツテ、第一流以下ニナルト云フノハ現ニアルコトデアリマス、大砲ハ然ラバドウデアルカ、軍艦ハ斯様デゴザイマスルガ、大砲ノ如キハ此間私ハ製鐵所ノ問題ニ付テ、獨逸ガ祕密ニ研究ヲ致シマシテ、此度ノ戰爭デ初メテ分リマシタ「モリブデン」即チ水鉛、斯様ナ事ニ付テ質問致シマシタガ、當局ノ農商務省ニ於テモ御承知ガナリ、製鐵所ニ於テモ御承知ガナリ、唯海軍ニ於テ御研究中ダト云フ御話デアル、併シ實際此「モリブデン」ノ產地ト云フモノハ濠洲ト其次ガ日本ガ一番主ナル產地ニアリマスカラ、日本カラ吾々ノ知ラヌ間ニ獨逸デハ此「モリブデン」ヲ持シテ參テ盛ニ大砲ノ原料ニシテ拵ヘテ、他國デ拵ヘルモノヨリハ最モ堅固ナル最モ優秀ナル大砲ヲ拵ヘテ居シタスウ云フヤウナコトヲ見マシテモ、如何ニ我國ノ此軍器ト云フモノガ理學化學ノ研究ノ足ニシタメニ、憫レデアルカト云フコトハ證明が出來ルノデアリマス、尙其他ニ潛航艇、是ハ最モ未來ノアリマスル所ノ武器デゴザイマスルガ、此潛航艇モテス、帝國ノ唯今持シテ居リマスル所ノモノハ即チ時勢遅レニナシテ居ル、トコロデ精銳ナル又斬新ナルモノヲ拵ヘヤウシテモ我ガ海軍ノ力ニ於テハ出來ヌテアル、私ハ或ル海軍ノ道ノ人ニ尋ねタ所ガ、潛航艇ノ如キ深遠ナル學理ヲ應用シテ往クモノニ付テハ、我が海軍ニ於テハ未ダ之ニ著手スルコトガ出來ヌスアル、即チ此研究ハ出來テ居ラヌト云フコトニ歸著スルノアリマス、又飛行機飛行船、斯様ナモノニ付キマシテモ今日ハ非常ニ進歩シテ居ル、我が帝國ノ有スル所ノモノナドハ殆ド斬具同様ノモノアラシテ、到底實戰ニ耐ヘナイモノアル、所ガ是モナカク

モ、理學化學ノ完全ナル所ノ設備アル研究所ヲ必要トルコトハ論斷フ、俟タナインデアリマス、尙此財政經濟ノ獨立、財政經濟ノ獨立申セバチヨウト廻リ遠ウゴザイマスガ、結局國富ノ増進ヲ努力ト云フコトが財政經濟ノ獨立ニナルモノテゴザイマシテ、其國富ノ増進ヲ計ルト云フノハ何ニ依アヤルカ、是亦理學化學ノ完全ナル設備ノアル研究所ニ於テ、研究サレタ原理ヲ實際ニ應用スルト云フ手段ヲ執ラナケレバナラズノアリマス、今日マテ我國ノ農業工業が非常ニ進歩シタト云ウテモ、是ハヤハリ歐米ノ眞似ヲ致シテ居ルノアリマス、眞似ヲ致シテ居ルノアリマスカラ、其本國ニ及ベヌコトハ無論ノ話アルノミナラズ、大變ニ後レテシマフト云フコトニナルノアリマス、現ニ我國ノ最新ノ化學ヲ應用シタ工業ト申シマシテイロ、（ゴザイマス）、隨分發達シタ工業モアリマスカ、其工場ノ設備竝ニ機械一切ノ設備ニ屬スルモノハ、皆外國カフ輸入シテ來ルノアリマス、帝國內ニ於テ自ラ製造シ得ル物ハ殆ド無イト云シテモ宜シ、少シハ出來マスガ併シ重ナル物ハ殆ド無イト申シテ宜シヤウナ——外國デ拵ヘテ持シテ來テ、サウシテ僅ニ工業ヲ營ンデ居ル、斯様ナ貧弱ナ有様デアリマス、所デ人ノ眞似ヲシテ工業ノ機械ヲ輸入シテヤッテモ出來ナイコトハアリマセヌカ、眞物ト較ベルト餘程劣ル、是デモ併シ從前ノ通リナ状況デアレバ後レ馳ナガラモヤッテ行クコトが出來マスガ、此日露戰爭後歐米共ニ日本ノ農業者ニ對シテハ非常ナ警戒ヲ加ヘテ、我國ノ人々が旅行シテ工場等へ行シテ取調ベヤウ、若クハ見聞シヤウト申シテモ近年ハ皆斷ルノアリマス、日本人ニ工場ヲ見セタナラバ吾ミノ所ヲ直ギニ真似ラレ、即チ商品ノ販路ニ關係ラ來スカラト云フノデ、近年ハ真似ヲシヤウトシテモソレガ出來ナクナシテ居ルノアリマス、況ヤ歐洲大亂ノ後ニ至リマシタナラバ、此傾向が最モ著シクナリマシテ、帝國ハ帝國自ラ學理ヲ發見シ機械ヲ發明シテ自ラ爲スニ非ザレハ、國富ヲ增進スル所ノ商工業ヲ發達セシムルコトモ出來ナイコトニナルノアリマス、斯様ナ次第ニ致シマシテ學問ノ獨立、軍器軍需品ノ獨立、及ヒ財政經濟ノ獨立、此三大國策ヲ遂行スルニ付テ最モ大事ナルモノハ完全ナル研究所ニアリマス、以上ハ此問題ニ付テハ金錢ヲ答ムコトハ出來ヌノアリマス、即チ今マテ歐米ノ摸倣ヲ致シテ居ツタノラ改メ、我レ自ラ之ヲヤルト云フコトヲルノガ第一歩テアルノアル、唯今委員長ノ御報告ノ中ニ完全ナル物ヲ擇ヘルトシテモ、人が少ナイカラ云々ノ御話モアリマシタガ、是ハ一應ノ道理ハアリマス、サリナガフ是ハ未ダ其要ヲ盡シテ居ラヌト私は思フ、今日我帝國ノ學者ニシテ世界ニ名ヲ揚ゲテ居ル學者ハドウ云フ學者デアルカト云ヘバ、歐米ノ研究所ニ入シテ歐米ノ研究所テ研究シタ其成績が優良ナル爲メニ名ヲ成シテ居ルノアリマス、テ我帝國大學ヲ卒業シ歐米ニ留學シテ、歐米ノ完全ナル研究所ハ入シテ研究シテ歸ツタ者が博士ニナル、即チ研究所ガ無イ爲メニ我國ノ學者ハ此研究ヲスルコトガ出來ナイ、研究シヤウト思フ者ハ高イ旅費ヲ使シテ歐米ニ留學スル、アリマスカラシテ我國ニ完全ナル化學研究所ヲ擇ヘサヘスレバ、其人無キヲ決シテ憂ヘマス、我國ノ學者ハ最モ其職務ニ忠實ナル學者が多イカラ、完全ナル研究所サヘアレバ人無キハ決シテ心配スルコトガナイ、既ニ此學者社會ノ說ヲ聽イテ見テモ、研究所サヘアルナラバ吾ミハ十分腕ヲ磨イテ見セント申シテ居ル、斯様ナ次第ゴザイマスカラ、私共ハ今日ノ國策トシテ是ヨリ大事ナモノハ無イト思フ、此三大國策ノ基礎ヲ築ク研究所ニアリマスカラ、何ヲ措キテモ之ヲ完全ニスルト云フコトハ最モ正シイ論斷トシテ前段ノ如キ

提案ヲ致シマスノアリマス、先年我黨ガ二千万圓ヲ理學化學研究所ニ投シテ摺ヘテイト云フ動議ヲ出シマシタ際ニ、世間ハ之ヲ以テ甚ダ意外ナ事ト致シタノアル、殊ニ現内閣ノ與黨ト云ハル、同志會諸君ノ如キハ、最モ奇異ノ感ヲ懷カレタト見エマシテ、狂氣シミタ提案デアルト言ハレタ、現ニ尊敬スベキ武富時敏君ノ如キモ狂氣シミタト云フ批評ヲ下サレタコトハ新聞紙ニ見エテ居ルノアリマシタケレドモ、今日ハサロ／＼ナ不都合ヲ見ルニ至リテ、現内閣が此化學研究所ノ設立ニ對シテ、假令貧弱ナガラモ補助金ヲ與ヘラル、此提案ヲ見ルニ至シタト云フコトハ、私共ハ非常ニ愉快ニ考ヘルノアリマス、吾ノ提案が其當時ハ狂氣染ミテアシタノアリマシタケレドモ、今日ハサウテナイ、左様ニ批評サレタ方カラシテ此提案ヲ見ルニ至シタノアリマスカラ、私共ハ衷心満足ヲ表シテ居リマス、併シ折角此所マテ御心勞下サツタナラバ、我帝國ノ學問ノ程度ハ果シテ如何ナル點ニ在ルカ、軍器軍需ノ有様ハドウ云フ位地ニ在ルアラウカ、財政經濟ノ獨立ヲ考ヘタナラバドウ云フ程度ニ在ラウカト云フ大局カラ達觀シテ、此理學研究所ノ必要ノ程度ヲ今少シ御納得下サイマシタナラバ、斯様ナ貧弱ナル案ニ止リハシナカツタデアラウト思フ、私ハ此所マテ折角オヤリ下サルナラバ、更ニ百尺竿頭一步ヲ進メラレテ、我黨ノ提案致シマス所ノ此設備費ニ一千万圓ヲ政府カラ出シ、更ニ年々ノ最モ重キモノニ向シテ金ヲ支出スルコトハ我黨決シテ惜ムモノデハゴザイマセヌ、即チ定杯ニ付テハ最モ嚴シキ査定ヲ加ヘルノアリマス、是ハ天下ノ評判ニナツテ居ル位アリマス、サリナガラ國家ノ大計上カラ考ヘマシテハ、大小輕重ノ區別ヲ致シ、最モ大ナルモノ最モ重キモノニ向シテ金ヲ支出スルコトハ我黨決シテ惜ムモノデハゴザイマセヌ、即チ化學研究所ノ如キモノハ今日ノ時ニ當シテ最モ重大ナルモノ、最モ大切ニセネバナラスト思ヒマスノアリマスカラシテ、我黨ノ平常ノ所謂諸君カラ消極論ト言ハレル吾ミシテ、此ノ大ナルトコロノ修正案ヲ提出シタ譯デゴザイマスカラ、滿場ノ諸君モ私ノ唯今申上ケマシタルコトニ御同意下サルナラバ、滿場一致ヲ以テ私ノ修正案ニ御賛成アランコトヲ希望致シマス

〔「採決」ト呼フ者アリ〕

○議長（島田三郎君） 討論ハ盡キタト認メマス

○前川虎造君 此場合御採決ニナリマスナラバ記名投票ニ願ヒマス、餘リ人ガ少ナ過ギマスカラ——三分ノ一アリマスレバ致方アリマセヌ、御取調ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長（島田三郎君） 前川君ハ唯今ノ發議ヲ固執ナサレマスカ

○前川虎造君 記名投票ヲ願ヒタウゴザイマス

○望月長夫君 本案ハ非常ニ重大デアリマス、斯ノ如キ重大ノ案ヲ採決スルニ當ツテ、定數ニ足ラナイヤウナ少數テ議決ヲスルコトハ甚ダ遺憾アリマス、ソレ故ニ議長ハ特ニ強キ意味ヲ以テ議員ノ出席ヲ促シテ貰ヒタク、是ガ主意ナシデアリマス

○議長（島田三郎君） 唯今計算致シマシタトコロテ百三十八——ソレア、記名投票ニ致シマスカ

○議長（島田三郎君） ソレデハ記名投票ニスルヤ否ヤト云フコトノ決ヲ採リマス、ソレ

テナケレバヤハリ紹論ヲ招クノ基アリマス、記名投票ヲスペシト云フ說ト、記名投票ヲ要シナイト云フ說トアリマス、記名投票ニ賛成ノ御方ハ起立ヲ願ヒマス

○議長(島田三郎君) 少數アリマス、依テ採決方法ハ起立ニ問ヒマス、最早反對

ノ方ノ起立ヲ要サナイト思ヒマス

〔起立ヲ要シマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 鈴木君ノ修正說ト委員長ノ報告ト一ツアリマス、鈴木君ノ

修正說カラ決シタリト思ヒマス、鈴木君ノ修正ニ賛成ノ方ハ御起立ヲ乞ヒマス

○議長(島田三郎君) 少數アリマス、否決セラレマシタ、委員長ノ報告ニ賛成ノ方

ハ起立ヲ乞ヒマス

○議長(島田三郎君) 多數アリマス、委員長報告ノ通ニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ三讀會ヲ開カレントラ望ミマス

○議長(島田三郎君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ直ニ三讀會ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案 第二讀會

○福田又一君 第二讀會決議ノ通可決確定セラレントラ望ミマス

〔贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、依テ第二讀會決議ノ
通ニ確定致シマス——日程第九、大正三年度豫備金支出ノ件、大正三年度特別

會計豫備金支出ノ件、大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、大正三年
度帝國鐵道積立金支出ノ件、承諾ヲ求ム件アリマス、江間俊一君

〔大正三年度豫備金支出ノ件

〔大正三年度特別會計豫備金支出ノ件
〔費支出ノ件〕 (承諾ヲ求) (委員長)

第九

(江間俊一君登壇)

○江間俊一君 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、委員會ハ五回召集致シマシタガ
回ハ委員長理事ノ互選テ終リマシタ、アトニ回ハ定足數ニ満チナイノデ流會ニナリマ
シタ、四回目ガ昨日ノ午後二時ニ十名ノ出席ア委員會ガ成立致シマシタ、本案ニ
付キマシテハ何等ノ質問モナク 講論モナク、全會一致ヲ以テ原案ヲ承認致スコトニ相
成シタノアリマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 発議がナイト認メテ決ヲ採リマス、本案ヲ承諾スルヤ否ヤノ決
デアリマス、承諾ベシト云フ御方ハ起立ヲ願ヒマス

○議長(島田三郎君) 多數アリマス、承諾スルコトニ決シマシタ、日程第十、司法
代書人法案第一讀會ヲ開キマス、請願委員長加藤彰廉君

第十 司法代書人法案(請願委員長提出)

第一讀會

司法代書人法案

司法代書人法

第一條 司法代書人ハ當事者ノ囑託ニ依リ通常裁判所又ハ檢事局ニ直接提
出スル文書ノ作成ヲ業トスルモノトス

第二條 司法代書人タラムトスル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

一 日本臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二 司法代書人試驗規則ニ依リ試驗ニ及第シ又ハ司法代書人試驗委員ノ
詮衡ヲ經タルコト

第三條 司法代書人試驗及詮衡ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第四條 左ニ掲クル者ハ試驗又ハ詮衡ヲ要セシテ司法代書人タルコトヲ
得

一 三年以上裁判所書記ノ職ニ在リタル者又ハ之ト同等以上ノ職ニ在リ
タル者

二 司法大臣ノ指定シタル法律學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタ
ル者

三 禁治產者及準禁治產者

四 戒戒ノ處分ニ依リ免官、免職若ハ除名セラレタル者又ハ司法代書人
法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職若ハ除名後二年ヲ經過
セサル者

第五條 左ニ掲クル者ハ司法代書人タルコトヲ得ス
一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル
者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル
トキハ此ノ限ニ在ラス

二 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者若ハ身代限ノ處分ヲ受
ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第六條 司法代書人ハ作成セシ文書ニ付釋明ノ義務ヲ負フ
第七條 司法代書人ハ訴訟事件ニ關與シ又ハ報酬ヲ得テ鑑定ヲ爲シ若ハ辯
護士ノ紹介ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 司法代書人ハ其ノ作成シタル文書ヲ囑託者ニ讀聞カセタル後其ノ
末尾ニ署名捺印スヘシ

第九條 司法代書人ハ正當ノ理由ナクシテ裁判所若ハ檢事局ノ命シタル文
書ノ作成ヲ拒ムコトヲ得ス當事者ノ囑託ニ依ル場合亦同シ

第十條 司法代書人ハ自己若ハ第三者ノ名義ヲ以テ營利事業ヲ營ムコトヲ
得ス但シ司法代書人會ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 裁判所ハ司法代書人ニ非シテ司法代書人ノ事務ヲ常業トスル者ノ作成シタル文書ヲ受理セサルコトヲ得此ノ處分ニ對シテハ不服ヲ立ツルコトヲ得ス但シ法令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 司法代書人ハ司法代書人名簿ニ登録セラルコトヲ要ス

第十三條 各地方裁判所ニ司法代書人名簿ヲ備フ

第十四條 司法代書人ハ司法代書人ノ定員及登録ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第十五條 司法代書人ハ所屬地方裁判所ノ管轄地内ニ事務所ヲ定メ之ヲ所屬地方裁判所檢事局ニ届出シテ

第十六條 司法代書人ハ其ノ所屬地方裁判所毎ニ司法代書人會ヲ設立スヘシ

第十七條 司法代書人會ハ所屬地方裁判所檢事正ノ監督ヲ受ク

第十八條 司法代書人會ハ其ノ會則ヲ定メ所屬地方裁判所檢事正ヲ經由シテ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條 司法代書人ハ司法代書人會ニ加入シタル後ニ非サレハ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十條 司法代書人ニシテ本法又ハ司法代書人會會則ニ違反シタル所爲アルトキハ司法代書人會ハ懲戒ヲ求ムル爲所屬地方裁判所檢事正ニ申告スヘシ

第二十一條 司法代書人ノ懲戒ニ付テハ本法ニ定ムルモノノ外官懲戒令中判任官ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十二條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

一 謙責
二 百圓以下ノ過料
三 一年以下ノ停職
四 除名

現在ノ代書人ニシテ裁判所ノ認可ヲ經タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ司法代書人名簿ニ登録ヲ請フトキハ試験又ハ詮衡ヲ要セシテ司法代書人タルコトヲ得

本法ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
(加藤彰廉君登壇)

○加藤彰廉君 本案ハ各地ノ裁判所ニ屬シテ居リマスル司法代書人ノ資格ヲ定メヤウト云フノデゴザイマス、現在是等代書人ニハ何等ノ資格モアリマセズ、誰モ出願次第ナレルノデアリマスカラ、種々ノ弊害ガアルノデアリマス、ソレテ之ヲ矯正センガ爲ニ此

資格ヲ制定シヤウト云フ趣意デアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ不賛成デアル模様デゴザイマス、其理由ハマア暫ク是デ宜カラウトカ、或ハ此法ノ制定ノ爲メニ代書料モ高クナ、テハ困ルトカ云フ位ナ、極メテ薄弱ナル不賛成ノ理由デゴザイマス、此件ハ屢々ヤハリ請願が出テ居リマシテ、本院ニ於テヤハリ常ニ採擇ヲシテ居ツタノデアリマス、今回之ヲ法案トシテ提出シタノデアリマスカフ御賛成アランコトヲ希望シマス、尙是ニ付キマシテ御質問デモアリマスルナラバ、請願分科會ノ主査カラ御答ヲ致ス事ニナッテ居リマス、是ダケ御報告ヲ致シマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントラ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ發議ニ御異議ハナイト認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十一、郡制中改正法律案第一讀會、横山金太郎君

第十一 郡制中改正法律案(横山金太郎君外六名提出) 第一讀會

郡制中改正法律案

第四十五條ニ左ノ二項ヲ加フ

議員定員ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第三十六條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

(横山金太郎君登壇)

○横山金太郎君 本案提出ノ理由ヲ極メテ手短カニ申上ゲマス、案ノ目的ト致シマスルコロハ郡會議長ノ横暴ヲ制シテ議事ノ公平ヲ保チ、其議事ノ進捗ヲ圖リタイト云フコトニ歸著ヲ致スノデアリマス、具體的ニ申上ゲマスルト此衆議院ナドテ一タビ議長が例ヘハ午後一時ニ會議ヲ開クト宣告ヲナシ、若クハ公報ニ之ヲ載セラレマシタ以上ハ、其時刻ノ到着ヲスマスルト同時ニ、議長ヲ始メ各議員ハ其議席ニ著カレテ議會へ直ニ成立ヲスルノデアリマス、所ガ一タビ中央ヲ去シテ地方ニ出マスルト云フト、若シ議長ノ屬シマスル黨派が多數デゴザイマスレバ格別デアリマスルガ、不幸ニシテ少數ナルトキハ何時モ議長ハ其議事ヲ開クコトヲ拒ムノデアリマス、即チ此改正ヲ加ヘント欲シマスル第二項ノ一番目ハ、議事其ヲ開クコトヲ強要スル意味ニ於テ此改正ヲ企圖ノテアリマス、第二番目ハ縱シ會議ヲ開キマシテモ少數ナル故ニ自派ノ主張ヲ貫クコトガ出來ナシト云フ懸念ガアルガ爲ニ、徒ニ其ノ日ノ議事ヲ閉テシマフト云フ虞レガアルノデゴザイマス、此時弊害頗ル悲ムベキモノガアルガ爲ニ、是ハ確カ政友會内閣デアタト思ヒマスガ、三十一議會ニ於テ府縣制ノ五十七條ト云フモノガ改正ヲセラレマシタノガ、即チ今回私が郡制ノ改第ナレルノデアリマスカラ、種々ノ弊害ガアルノデアリマス、ソレテ之ヲ矯正センガ爲ニ此

ニ於キマシテハ私ガ改正セント欲シマスルト同一ノ事項ガ、現行法ト致シテ今日ニ行ハレテ居ルノアゴザイマス、此意味ニ於テ即チ此案ノ改正ヲ企テント欲シテ之ヲ提出シタ次第デゴザイマス、詳クハ勿論委員會ニ於テ申上ダマスト同時ニ、既ニ法律改正案ノ理由書ニモ其一端ヲ表明致シテ置キマシテゴザイマス、御參照アラセラレマシテ、幸ニ滿場一致ノ御協賛ヲ賜ハランコトヲ希望シマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナント呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議がナイト認メテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フ

福田君ノ議ニ決シマス

○福田又一君 此場合ニ日程ヲ變更致シマシテ、第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 日程ノ變更致シマシテ、第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス

〔賛成タクト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 日程ノ變更致シマシテ、第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナント呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議がナイト認メマス、依テ日程ヲ變更シマシテ第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス——守屋此助君

○議長(島田三郎君) 日程ノ變更致シマシテ、第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナント呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議がナイト認メマス、依テ日程ヲ變更シマシテ第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

〔異議ナシ異議ナント呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 日程ノ變更致シマシテ、第十八ノ鐵道敷設法中改正法律案ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナント呼フ者アリ〕

○小林源藏君 私ハ鐵道院總裁ニ向テ質問ヲ致シタイト思ノアリマス——本案ガ昨日議場ニ提出セラレマシテ、私モ其委員ノ一人トシテ昨日守屋君御紹介ノ通り質問應答ヲ致シマシタガ、徹底セザルトコロガアリマス故ニ三御臺ヲ致シテ見タノ思フノアリマス、本案ガ昨日議員ヨリ議場ニ提出セラレルヤ、政府が急遽一昨晩鐵道會議々員ヲ召集致シマシテ、昨日午前鐵道會議ニ付セラレタ云フコトアリマス、議員ノ提出シタル法律案ニ對シテ贊否ヲ明言スルガ爲ニ鐵道院會議ニ召集シ、其會議ニ諮詢スルト云フコトハ、鐵道敷設法中ノ如何ナル條項ニ依テ斯ノ如キコトヲ爲シタノアリマスカ、鐵道敷設法ニ於キマシテハ鐵道會議ニ諮詢スベキ事項が鐵道工事著手思ハレマスガ、如何ニモ急速ノ間ニ斯ノ如キ法律案ヲ提出スルノハ、不條理不穩當ナル其責任ヲ鐵道會議ニ轉嫁セシメンガ爲ニ、若クハ鄭重ナル決議ヲ盡シテ鐵道會議マニア同意ヲ得タモノアルコトハ、殊更ニ吹聴センガ爲ニ、斯ノ如キコトヲ爲シタカト疑フ受ケテモ已ムヲ得ナイコトニナリハセヌカト思フノアリマス、依テ此案ニ付ア急遽鐵道會議ニ諮詢シタノハ果シテ鐵道敷設法ノ條項ニ依ツタノアルカ、或ハ便宜ノ爲ニ鐵道會議ニ諮詢シタノアルカ、其真意ヲ答辯セラレシコトヲ望ムノアリマス

○政府委員法學博士添田壽一君登壇

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 小林君ニ御答ヲ致シマスガ、御承知ノ通リ敷設法第十五條ノ第一號ニ鐵道工事著手ノ順序ト云フモノガアリマス、此度ノ法律改正ト云フモノハ其終局ノ結果ト致シマシテ、工事ノ著手ニ關係ヲ有シテ居ルノアリマス、故ニ廣義ニ此條文ヲ解シマシテ鐵道會議ニ附スル必要ヲ認メマシタノト、今一ツハ第十六條ニ鐵道會議ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマス、而シテ其條文ニ依テ制定セラレマシタ所ノ勅令ノ中ニ、政府ハ重大ナル事項ハ鐵道會議ニ付シテ諮詢スルコトヲ得ルノ規定ガアリマス、本問題タルヤ決シテ輕微ナリトハ認メマセヌ、重大ナル事項トト云フヤウナ趣意ハ毛頭ナイコトヲ御了承フ願ヒマス(拍手起ル)

○小林源藏君 繼イテ御尋ラシマスガ、政府が直ニ之ヲ重大問題ト考ヘテ諮詢セラレタ云フコトアリマスガ、先づ其答辯ノ通リト致シマシテ、鐵道敷設法中ニ列記シアル豫定線ナルモノニ輕便鐵道ヲ政府が敷設致シマシタ類例ハ多々アルノアリマス、數ヘテ見マスレバ熊本大分間ノ一部ノ如キ……

○議長(島田三郎君) 御注意致シマスが議論ニ瓦ラヌヤウニ……

○小林源藏君 無論議論ニ瓦ラヌヤウニ致シマス、北海道鐵道敷設法ニ名寄網走ノ一部ノ如キ……、鐵道敷設法ニ豫定線ニ明カニアルモノモ、今此法案ニ出テ居ルモノ

ト同様デアル、線路ノ上ニ輕便鐵道ガ敷設セラレテ居ルノアリマス、政府ハ此方針ヲ改メタノアルカ、改メタトスルナラバ何が故ニ此法案ヲ同様ニ鐵道敷設法ヨリ其線路ヲ削除スルノ手段ヲ取ラナカッタノアルカ、又既ニ敷設セラレタル輕便鐵道ヲ直スベキ手段ヲ盡シツ、アルヤ否ヤト云フコトヲ御尋ラシテ見クイ、殊ニ方針ガ變ツタ見エマシテ、本年ノ議會ニ於テ既ニ諸君ガ協賛ヲ與ヘラレタル豫算ニ依テ見マスルナラバ、高知ニ於ケル山田須崎間竝ニ増毛留前間ノ如キ、常ニ輕便鐵道デ宜イト言シテ居ツタモノガ、本鐵道トシテ既ニ通過シテ居ル、其結果經費ノ上ニ於テ四割以上モ多大ノ經費ヲ要スルコトニナツテ居リマス、敷設法中ノ豫定線ナルモノヲ政府ガ自由ニ輕便鐵道ヲ敷設シ得ルト否ニ依テ經營上ニ違ヒガアル、其影響ガ多大アリマス、殊ニ此事が出來ルト致シマスレバ、斯ノ如キ法案ヲ提出スルノ必要ナクシテ、自由ニ政府ガ此豫定線ヲ——輕便鐵道ヲ敷設スルコトが出來ルノアリマス、依テ前例ヲ——此主義ヲ改メントシル論據ハ何處ニアルカ、而シテ改メタ以上ニハ既ニ敷設シツ、アル所ノ鐵道ヲ改メントシ又ハ改メル積リアルカ

〔政府委員法學博士添田壽一君登壇〕

○政府委員(法學博士添田壽一君) 唯今御尋ノ如ク九州ニ於ア宮地線北海道ニ於テ浦別線ノ所謂豫定線アルニモ拘ラズ、輕便線ヲ敷設スルコトニナツテ居リマス、併シ是ハ或ハ將來再ヒ本線即チ本統ノ鐵道ニ戻スカモ知レヌノアリマスルが故ニ、法律ノ問題ニ觸レナインデアリマス、然ルニ此度本院ニ現ハレテ居リマスル問題ハ、根本的ニ所謂敷設法ノ豫定線ト云フ資格ヲ外シマシテ、輕便線ニスルト云フ御趣意アリマス、故ニ法律ノ改正ヲ必要トスルト考ヘル次第アリマス

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 唯今御尋ノ如ク九州ニ於ア宮地線北海道ニ於テ浦別線ノ所謂豫定線アルニモ拘ラズ、輕便線ヲ敷設スルコトニナツテ居リマス、併シ是ハ或ハ將來再ヒ本線即チ本統ノ鐵道ニ戻スカモ知レヌノアリマスルが故ニ、法律ノ問題ニ觸レナインデアリマス、然ルニ此度本院ニ現ハレテ居リマスル問題ハ、根本的ニ所謂敷設法ノ豫定線ト云フ資格ヲ外シマシテ、輕便線ニスルト云フ御趣意アリマス、故ニ法律ノ改正ヲ必要トスルト考ヘル次第アリマス

○小林源藏君 唯今本鐵道ノ性質マテ御説明ナサレマシタガ、其點ニ付テ更ニ伺ッテ見タノアリマス、此花巻若クハ黒澤尻ト横手ニ至ル鐵道ハ、私ノ信ズル所デハ東北本線ト奥羽本線ノ連絡線アルニマシテ、極メテ重要ナル線路ニナルト思フノアリマス、其兩幹線ノ連絡線アル以上ハ、直通ノ貨物若クハ物資ヲ輸送スルノアリマスカラ、本來ノ性質ニ於テ本鐵道デナクテハナラヌト思フノアリマス、ソレニモ拘ラズ守屋君が牒々説明セラレマシタ如ク、此地方ハ極メテ鑛物ニ富ムニ居ルト云フコトデアル、敷設當時ノ損益ハ如何カト思ヒマスケレドモ、將來發展ノ餘地アルニモ拘ハズ、現ニ鑛物輸送ノ鐵道ト教シマシテハ機關車竝ニ貨車等モ大ナルモノ必要トスルノアリマスカラシテ、ドウシテモ本來ノ性質トシテは、輕便鐵道ニアラズシテ、本鐵道ヲ敷設スベキモノアルト私ハ思シテ居リマスガ、政府ノ所見果シテ如何アリマスカ

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 政府ノ見ル所デハ所謂兩線ヲ連絡シマスル所ノ本鐵道ハ、新庄小牛田間ノ線路が落成ラ告ケルコト、大正六年アリマスカラ之ヲ以テ先づ當分ハ足レリト思考スル次第アリマス、而シテ本線ガ輕便ナルベキヤト云フコトハ御提案者ノ御趣意アリマス、若シ小林君ニ於テノラ本線ナラシメヤウト云フ御論テアリマスレバ、又其御趣意ヲ以テ法律ニ對スル御論ヲ願ヒタイト思フノアリマス

○小林源藏君 裏ニ説明セラレマシタル際ニハ、將來トモ此鐵道ハ輕便鐵道ア宜シト

云フ積リテ敷設法カラ削除スルト云フ御説明アリマシタガ、唯今ノ御説明ニ依ルト小牛田ヨリ奥羽本線ニ通ズル線路が出來上リマスレバ、當分ノ中連絡線ニハ澤山ノ積リテアルト云フ御答辯アリマシタ、先キノ御話トアトノ御答辯ハ違フヤウニ思フガ如何アリマス

〔「無用々々」「問題外」「ト呼フ者アリ」〕

〔政府委員法學博士添田壽一君登壇〕

○政府委員(法學博士添田壽一君) 御答テ致シマス、唯今申上ゲタ如ク新庄小牛田線ヲ所謂本統ノ鐵道トシテ使用致シマスレバ、片側ノ唯今問題ニナツテ居ル線路ハ、輕便テモ差支ナイト云フ趣意テ申上ゲタノアリマスカラ、其以上ハ申上ゲヌテ御分リニナックトト思ヒマス

○小林源藏君 最モ大切ナル質問ト私ガ信シテ居ル所ノモノラ御尋致シタイト思ヒマス、此提出セラレタル法案ニ依リマスト、輕便鐵道ニ直シテ大正五年度ヨリ著手ラスルト云段ニ別レルコトデアラウト思ヒマスガ、一面ハ鐵道敷設法ノ改正案、一面ハ輕便鐵道ヲ敷設スルト云フ政府ノ行爲アリマス、一方ハ立法ニシテ一方ハ行政ノ範圍ニ屬シテ居ルコトデアルト思ヒマスガ、法律案ノ改正ヲ以テ直ニ行政行爲ニマテ踏込ンダル前例ガアル否ヤト私ハ知ラナイノアリマス、唯憲法上ニ於キマシテモ議院ハ法律ノ改廢案ヲ提出スルコトが出來ル、建議ヲスルコトが出來ル、請願ヲ受クルコトが出來ルト云フコトニナツテ居リマス、建議ト法律ト一ヲ一緒ニシタルノハ此案アルカノ如クニ思ヒマスノデ、ソレデ私が甚ダ迷ヒマシタノデ、昨日委員會ニ於キマシテ、政府ハ大正五年度ヨリ輕便鐵道ヲ施行スルニ付テ追加豫算ヲ提出スルカ否ヤト云フコトヲ尋ねタ所、追加豫算ハ提出セヌ、而シテ守屋君ノ説明ニ依テ見マスルト、又政府ノ説明ニ依テ見マシテモ、諸輕便鐵道費ト云フ七百万圓ノ鐵道ヲ指定セザルトコロノ金ガ協賛ヲ受ケテアルカラシテ、此法案ガ通ツタラバ其金ヲ以テ實行スルト云フコトアリマス、所ガ此諸マスノ御尋ネオ致シマシタ、所ガ大正四年度ニ於テ輕便鐵道ノ使ヒ残リノ金、即チ五年度ニ繰越セラタル所ノ金額が十九万圓アル、其内五万圓ヲ割イテ是ニ向ケルト云フテ居ルノアリマス、大正七年度以降二十四箇年ニ亘ツテ現ハレテ居ルノアリマス、サウ致シマスト大正五年ト大正六年ニハ豫算が無クシテ此仕事ヲ實行スルト云フコトニナリマスノ御尋ネオ致シマシタ、所ガ大正四年度ニ於テ輕便鐵道ノ使ヒ残リノ金、即チ五年度ニ繰越セラタル所ノ金額が十九万圓アル、其内五万圓ヲ割イテ是ニ向ケルト云フコトアリマスガ、サウ致シマスト大正四年大正五年六年、此年度ニハ輕便鐵道ノ目的物が皆指定サレテアルノアリマス、大湊線、大宮勝田間、鳥取智頭間、米子根雨間、ソレニ熊本宮地間、斯ノ如ク限定サレテ居ルトコロノ其繼續費が繰越セラテ、大正五年度ニ參リマシタラ其繼續費ナルモノハ憲法第六十八條ニ依テ協賛ヲ經テ、其五年度ヨリ實行スルト云フヤウナコトハ甚ダ不都合ナ事ト思ヒマス、果シテ政府ハ如何ナル線ノ目的ノ爲メニ協賛ヲ經タルトコロノ金テアリマスカラシテ、決シテ他ニ流用ヲ許サヌトコロノモアルト思フノアリマス(ヒヤー)ト呼フ者アリ)豫算無クシテ政府ガ五年度ヨリ實行スルト云フヤウナコトハ甚ダ不都合ナ事ト思ヒマス、果シテ政府ハ如何ナル見解ヲ此提案ニ付テ持シテ居ルノアリマスカラ、ソレヲ伺ツテ置キタノアリマス、殊ニ此法案ノ如キハ、實ニ咄嗟ノ間ニ何ノ必要ガアツテ斯ノ如ク苦心謹慎タル形式ヲ取リテ出サレ

タノアルカ、甚ダ解釋ニ若シム、堂々トシテ——豫定線ニナツテ居ル線路ヲナゼ讀會ノ始メニ於テ豫算ヲ作成シテ茲ニ提出セラレナインアルカ、本鐵道トシテハ七百六十萬圓、輕便鐵道トシテ五百七十萬圓、殆ド金高モ違ハナイ、而シテ一哩ノ金額ハ驚ク勿レ五十萬圓以上十六萬圓、輕便鐵道トシテモ掛カル所ノ線路アリマス、然ルニ斯ノ如ク造リ繰算段ヲシテ議會ノ閉會間際ニナゾテ突如提出シテ來タト云フコトハ、如何ニモ世人ヲシテ此間ニ何カ魂膽ガアリハシナイカト疑ハシメ、吾ミノ如ク鐵道ノ普及、鐵道ノ延長ヲ常ニ希望シテ居ル者ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘナインアルカ、正々堂々トシテ本鐵道ヲシテ僅ニ七百万圓ノモノガ五六年、繼續費トシテ出シテ居ラレルコトニ決シテ否マザルノミナラズ、既ニ同志會諸君が非暮債主義ヲ撤回シタ以上ニハ、是レシキノ鐵道敷設ヲ爲スハ何デモナイ、ナゼ政府ハ立派ニ其途ニ出デズシテ斯ノ如ク急速ニ大正五年度ヨリ著手スルト云フコトニ同意セラレタノアリマスカ、凡ソ鐵道院始マツテ以來——鐵道廳始マツテ以來總裁ヲ代ヘルコト茲ニ十回、仙石君ノ總裁ニ至ルマデ斯ノ如キ案ヲ提出セラレタルコトハ無カッタ思フノアリマス、吾輩鐵道ノ事務ニ從事スル十八年、議員トシテ鐵道ノ議案一接スルニ箇年未ダ曾テ斯ノ如キ不都合ナル案ニ遭遇シタコトハナイ、十分此點ニ付テ明白ナル解釋ガアリマスルカドウテス、大正五年大正六年ニ於テ豫算無クトモ法案ニ政府ハ同意セントスルモノアルト私ハ思フノアル、政府ノ所見果シテ如何

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 唯今ノ御尋ねノ中テ、此法案ヲ此場合提出セラレタト云フコトニ對スル責任ハ——答辯ノ責任ハ私ニハゴザイマセヌ、ソレハ議員ノ御方ノ御提出ノ案アリマスカラ、其點ハ私ハ説明ヲ致シ答辯ラ致ス、必要ハナイト認マス(ヒヤー)ト呼フ者アリ)而シテ豫算ノ無イト云フコトハ少シク御考慮ヲ願ヒタイ、諸輕便鐵道費トシテ七百万圓ヲ計上シ、ソレニ年割額ハ参考トシテ御覽ニ入レタコトガアリマス、ソレト同時ニ此年割額ハ或ハ線上ヶ或ハ線下ヶト御認メラ得テ居ル次第ニアリマシテ、既ニ其上ニ於テ今日之ヲ引上ゲルト云フコトハ出來ルノアリマス、併シソレモ唯濫リニスベキコトアリマセヌ、苟モ立法院ノ所謂議決ニ依テ法律ニ依テ之ヲ御動カシニナルト云フコトニ向テハ、私ハ強イテ反對スルノ理由ハナイト考ヘルノアリス(「十分」モウ宜カラウト呼フ者アリ)

○小林源藏君 最早此上ハ議論ニ涉リマスルカラシテ、先ダ大體ノコトハ質問ハ是ニ止メテ、終リニ此ニ簡單ニ伺ツテ見タイ、此敷設法ニ於ケル問題トナツタ豫定線ノ上ニ今日馬車鐵道ガアル筈ト思ヒマス、此馬車鐵道ハ政府が輕便ヲ御架ケニナル時ニ如何ニ御處分ニナル 御積リテアリマス、而シテ——(笑聲起ル)而シテ以下ハヨシマス(笑聲起ル)

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 成程御話ノ通り僅カノ馬車鐵道ガゴザイマス、是ハ所謂一切ノコトハ線路ヲ敷キマスルニ對シマシテ、其馬車鐵道ノ意思ト此鐵道院ノ意思トガ合致スル所ニ依テ處分ヲ極メベキデアラウト思ヒマス

(「モウ宜シイ」無用「必要ダ」ト呼フ者アリ)

○小林源藏君 馬車鐵道ハ必ズヤ營業ヲ失フニ相違アリマセヌガ、馬車鐵道ニ報償

ヲ爲サル御積リテアリマスカ、爲サラヌ御積リテアリマスカ、「合致シタ所テ處分スルテ分ル」ト呼フ者アリ)若シ會社カ買收シテ貴ヒタイト云フコトデアッタナラバ、買收爲サル御積リテアリマスカ(「採決ヲ望ミマス」ト呼フ者アリ)

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 唯今申上ゲマシタ通り雙方ノ意思ノ合致ニ依テ決スルノ外ハナイ(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 根本正君

○根本正君 本問題ニ付テ鐵道院總裁ニ質問シタトイ思フ

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

(根本正君登壇)

(笑聲起リ拍手スル者アリ)

○根本正君 登壇トノ御說ガアリマスルカラシテ登壇致シマシタガ、輕便鐵道ヲ本鐵道ニ繰上ゲルト云フコトナラバ、又國有鐵道ノ趣旨ニ於テ吾ミハ贊成スルコトが出來ルンガ、本鐵道ニ苟モ法律ヲ以テ極メタモノヲ、輕便鐵道ニ繰下ゲルト云フコトハ、如何ニ公約無視朝令暮改變說改論ノ(拍手スル者アリ)此政府ト雖モ餘リノコトニ思ヒマスルテス、ナゼナラバデス、既ニ輕便鐵道デ極マツテ居ル所ノ例ヘバ盛岡大曲其他ノコトニ付キマシテモデス、之ヲ止メテサウシテ居ルト云フヤウナ場合ニ、新ラシク此輕便鐵道ヲ拵ヘルト云フコトハ、誠ニ私ハ奇ト思フノアリマス、政府ハ何故ニ既ニ大正三年度ニ於テ極マリ又大正四年度ニ於テ實測モ濟ミマシタル所ノ此輕便鐵道ヲ(「輕便鐵道トハドウカ」ト呼フ者アリ)止メテサウシテ更ニ輕便鐵道ヲセントスルヤウナコトハ誠ニ是ハ運動ノ結果デアルト私ハ信ズルノアリマス、然ルニ鐵道院總裁ハテス、繰トゲルコトモ出來ル、繰上ゲルコトモ出來ル、成程出來マセウ、出來マスルケレドモ政治的道德ト云フコトヲマルデ破ッテ居ル所ノモノアリマス、然ルニ(「質問カイソレガ」ト呼フ者アリ)質問テアル、此一時ニアリマシテ、既ニ其上ニ於テ今日之ヲ引上ゲルト云フコトハ出來ルノアリマス、併シソレモ唯濫リニスベキコトアリマセヌ、苟モ立法院ノ所謂議決ニ依テ法律ニ依テ之ヲ不都合ナル所ノ鐵道政策ト私ハ信ズル者アリマス、鐵道院總裁ニ於キマシテ此ノ如ク温ニ繰下ゲ繰上ゲト云フヤウナコトヲシマシタナラバ、實ニ鐵道政策ト云フモノニ付キマシテ吾ミ國民ハ感ツテ、實ニ國家經濟ニ於テ大ナル困難ヲ來サウト思フノアリマスル、總裁ノ答辯ニ依リマスレバ是ハ衆議院カラ提出サレタ問題デアッテ政府ノ提出デナイカラ、斯ウ云フコトデアリマスケレドモソレハ一時ノ方便ニアリテ、之ヲ出スマテハ政府ガチヤントニ或攻略ノ意味ニ於テ他ニ使ハントスルヤウナコトハ、實ニ國家ヲ亂シ財政ヲ紊シ實ニ不都合ナル所ノ鐵道政策ト私ハ信ズル者アリマス、鐵道院總裁ニ於キマシテ此ノ如ク温ニ繰下ゲ繰上ゲト云フヤウナコトヲシマシタナラバ、實ニ鐵道政策ト云フモノニ付キマシテ吾ミハ憤慨ニ堪ヘナインアルカ、此ノ如ク此鐵道ノ方針ト云フモノヲ容易ニ一遍決シタモノヲ又之ヲ翻シ、又出テナイモノヲ懲り出スト云フヤウナコトニ付キマシテハ、如何ナル政府ノ方針テアリマスルカ、是ニ付テ明細ナ答辯ヲ得タイト思フノアリマス、且又此事ハ全ク鐵道院總裁ガ此政略ニ用井テ居ル所ノ問題ニ相違ナイト私ハ斷言スルモノアリマス

「必要ナシ」「後トノ日曜ノ晩ニ願ヒマス」「答辯ノ要ナシ」「無用タタ」ト呼フ者アリ

(政府委員法學博士添田壽一君登壇)

○政府委員(法學博士添田壽一君) 謹シテ御答ヲ致シマス、本問題ハソマリ政府ノ少シモ知ラザル所ニ議會ニ御提案トナツタコトニアリマシテ、所謂此問題ハ一昨日此議場ニ現ハレタノアリマス、已ムヲ得ズ事ヲ鄭重ニスル爲ニ鐵道會議ニマテ付シテ、考慮ノ上意見ヲ定メタ次第ニアリマシテ、決シテ其前ニ於テ政府が此問題ヲ考ヘテ居ラナカッタノアリマス、若シアレハ相當ノ提案ヲ致スベキアリマスガ、ソレヲ致サスト云フコトニ依テ御承知ヲ願ヒマス、又一ノ勝田大宮間ノ問題ハ問題外ゴザイマシテ御答致シマセスガ、唯一言申上ゲテ置キマスノハ、決シテ私不肖ナリト雖モ個人ノ運動個人ノ利益ノ爲ニ、方針ヲ左右スルコトハナイト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

○根本正君 唯今總裁ノ御答辯ノ中ニ勝田大宮間ハ個人ノ運動ニアラズト御明言ユナリマシタガ、此出願書ト云フモノハデス、本年卽チ本月ノ九日マテハ鐵道院ニ到著シテ居リマセヌ、然ルニ總裁ハ十二月二十日前ニ於テ此事ニ付テ許サンケレバナラヌヤウナ御口氣ガアリマシタガ、即チ此出願ト云フモノハ鐵道院ニ本月九日マテ接手セザルモノガ、昨年ノ十二月二十日前ニ於テ此問題ヲ御承知、且御承知ノミナラズ威力デ壓迫スルコトが出來ナイカラシテ、是ハ已ムヲ得ザルモノニアラウト云フヤウナ御決心ニナラノハ、是ハ即チ如何ナモノニアリマスカ、此事ハ必ズ安田某ノ所謂金力運動ニ依リテ、大ニソレラノ手數ヲ經テ爰ニ達シタモノト私ハ斷言シテ憚ラザル者アリマス

(「問題外問題外」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 反対者ノ通告ガアリマス、奏豐助君

(奏豐助君登壇)

○奏豐助君 私ハ本案ニ反対ヲスル者ニアリマス、簡單ニ其意見ヲ述ベマス、唯今添田鐵道院總裁ハ本案ハ議員ノ方カラ提出ニナッテ、一昨日茲ニ現ハレタ、ソレマデハ政府ニ於テハ毛頭知ラナカッタノアル、一昨日此議會ニ現ハレテ參リマシテ、昨日急遽鐵道會議ヲ開イテ、サウシテ直ニ同意ヲ表セラレタ云フ政府ノ機敏ナ加減ニ私ハ驚クノアル、イツモ政府が此様ニ帝國議會ニ於キマシテ提出セラル、所ノ議員ノ法律案等ニ付テ、此ノ如ク機敏ニアリタ云フコトハ是マデ例ガナイ、此案ニ於テ初メテ此機敏ナルコトヲ見ルノアリマス、ソレハソレ致シマシテ、私ハ此鐵道敷設法中ニ於キマシテ此改正ヲスルト云フコトハ相當ナイト信ジテ居ルノアリマス、是ハ地方ノ實際ノ狀況ヲ能ク私ハ承知シテ居ル、曾テ彼ノ地方ニ在住シテ居ラテ自ラ踏査シトモアル、此地方ノ實際ノ狀況カラ申シマシテモ、是ハ本鐵道トスル方が私ハ宜シト信ズルノテ、輕便鐵道ト爲スベキモノデハナイ、何故カト申シマスルト此地方ハ山嶺重疊トシテ所謂表日本ト裏日本トノ分水嶺ニ當リテ非常ナル險惡シ所アル、鐵道ノ敷設ノ爲ニ即チ巨額ノ金額ヲ要スル輕便鐵道ト致シマシテモ、既ニ先程小林君ノ述ベラレタ通り五百六十萬圓ヲ要スルト云フ所ノ鐵道ニアリマス、一哩ニ付テ十上八万圓ヲ要スルト云フヤウナ即チ險峻ナ有様ハ、ソレニ依テモ推測サレル思フノアリマス、此ノ如キ狀況ニアリマシテ、元來此線が鐵道敷設法ニ載セラレテ居リマスルト云フモノハ、是ハ奧羽線ト東北本線トヲ

連絡スル所ノ必要カラ起シテ之ニ載セラレテ居ルモノニアリマシテ、此鐵道ガアルトカ何トカ云フ此物産ノ關係ハ從タルモノアル、然ルニ今此本案改正ノ理由トシテ居ル所ニ現ニマスルト云フト、此連絡ト云フコトハ一言モ書イテナシ、ソマリ從タル所ノ鐵山ガ澤山ニアシテ、其物産が餘計アルカラシテ早ク輕便鐵道ヲ架ケヤウト云フノガ唯一ノ理由ニナシテ居ルノアリマスガ、此鐵山ハ私モ視察致シマシタガ、彼ノ雨宮氏ガ經營サレタ所ノ現ニ經營シツ、アル所ノ仙人鐵山、是ガ主モナルモノアル、此仙人鐵山マテハ巖手縣ノ黑澤尻カラシテ現ニ馬車鐵道が通ツテ居ツテ相當交通ノ便が開ケテ居ル、ソレ以上秋田縣ノ方ニ達スル所ニ多少鐵山ガアル、アルガ是等ノモノハ即チ仙人鐵山ノ方マテ集ツテ參リマシテ、サウシテ此馬車鐵道ニ依リテ之ガ交通ノ自由ヲ得テ居ルト云フ譯ニアリマス、ソレアリマスルカラシテ第一ノ連絡ノ必要ト云フ此上カラ申シマシテ、又地形ノ上カラ申シマシテ、本鐵道ナケレバナラスト私ハ信ズル者アル、サウシテ鐵山ダケニ必要デアツタラバ、今日ノ實際ノ狀況ニ於キマシテ、サウ急イテ之ヲ輕便鐵道ヲ敷設スル必要ハナイ、現ニ黑澤尻カラシテ此仙人鐵山マテ十二哩ノ間ト云フモノハ馬車鐵道ニ依リマスレバ、毫モ其必要ヲ私ハ認メナイノアル、此ノ如キ有様アリマス、又一方カラ申シマスルト云フト、此五百六十萬圓ノ輕便鐵道ヲ——今現ニ交通ノ便ヲ馬車鐵道ニ依リテ一部份得テ居リマスカラシテ、唯鐵山ダケノ必要ト云フ此本案提出ノ理由ニ便鐵道ニスル爲ニ五百六十萬圓ノ巨額ノ費用ヲ費サナケレバナラスト云フコトヨ悲ムノデアリマス、即チ五年度六年度ニ於テハ即チ憲法ノ所謂繼續費トシテ参考ダト云フコトヨ總裁ハ言ハレマシタガ、参考デハナイ、是ハ繼續費ノ費用ヲ明カニシタモノニアリマセウ、輕便鐵道ノ即チ名前ハ殘ツテ居ル、七年度カラシテ初メテ極ラナイ所ノ孰レニ使ツテモ宜シイ費目が出来ルノアル、ソレヲ此議會ニ於テ吾ミガ協賛シタノアル、サウシテ見レバ五年度六年度ニ於テ此工事ニ著手スルト云フコトハ、既ニ憲法上會計法上ニ於テ無理ナルヤリ方デアルト信ズルノアル、諸君此現内閣ハ隨分無理亂暴ナコトハ澤山はマデヤツテ來テ居ル、珍ラシキモナイ、併ナカラ此法案ノ如ク一昨日マテ何ニモ考ヘテ居ラナカッタ云フヤウナ、議員カラ提出セラレテ初メテ五百六十萬圓掛ケテ急イテ輕便鐵道ヲ架ケナラスト云フヤウナ、諸君カラ提出セラレテ初メテ五百六十萬圓掛ケテ急イテ輕便鐵道ヲ架ケナケレバナラスト云フ必要ヲ、一昨日議員カラ法案ヲ出サレテ承知シタ云フヤウナ政府、此政府ガヤルコトニアリマスカラ、是ハ即チ吾ミノ見ル所ニ依リマスレバ大隈内閣が主張シテ居タ所ノ黨弊ノ廓清ト云フコトニ反對シテ、黨弊ノ助長ト云フコトヲ私ハ認メナケレバナラス、諸君此鐵道ノ問題ト云フモノハ非常ニ經歷ノアル問題デアル、同志會之ガ秋田縣ニ於キマシテモ亦巖手縣ニ於キマシテモ、如何ナル行動ヲナシタカト云フコトハ、吾ミハ今度ノ選舉ニ於テモ承知シテ居ル、丁度貴族院ニ於キマシテ妥協ヲ致シタ揚句ニ於テ、償還金ノ二千万圓ノ追加豫算トソレカラ國債ノ借換金ヲ出シタ同ジテ、此鐵道モ即チ議員ノ一部ト即チ妥協ヲシタ結果出シタ云フ疑ヲ招イテモ仕方ガナイト思ヒマス、此ノ如ク黨弊ヲ助長スル疑ヲ招キ、此妥協ヲシテ初メテ——一昨日此議員カラ出サレテ初メテ承知シテ翌日即チ昨日ニ於テ鐵道會議ヲ急イテ開イテ之ヲ議シタ云フヤウナ、慎重審議ラシモ盡シテ居ラス、又此輕便鐵道ハ五百六十萬圓ヲ掛ケルノラ五年度幾ラ、六年度幾ラ、七年度幾ラ、何箇年度ニ於テ之ヲヤルノデ

アルカ、サウ云フ計畫が立ツテ居ラヌ、サウ云フヤウナ此重大ナル所ノ事件ヲ、之ヲ輕々ニ

タツタ一日ノ間ニ考ヘタ、是マテ考ヘテ居ラナカツタモノヲタツタ一日ノ間ニ考ヘテヤルヤウ

ナ、實ニ輕率極マル而モ妥協ニ依ツテ黨弊ヲ助長スル所ノ虞アル所ノ本案ハ、絶對ニ反

對スルアリマス

○望月長夫君 簡單ニ本案ニ賛成ノ意見ヲ表シマス、原案ノ儘ニ置キマシテモ此政府

ニ係ツテ實際施行セラルコトハ甚ダ不安心テアル、本案ハ實際ノ必要ニ應ジ刻下ノ急

救フ上ニ於テ極メテ適當ナル案ト信シマスカラ、速ニ原案通り賛成セラレムコトヲ希望

致シマス

○議長(島田三郎君) 質疑ハ盡キタト思ヒマス、一二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、一二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數アリマス、一二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ一二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ハナイト認メマス、直ニ一二讀會ヲ開キマス

鐵道敷設法中改正法律案

○議長(島田三郎君) 採決致シマス、委員長ノ報告通リニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請

ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數——委員長報告通リニ決シマス

○福田又一君 直ニ一二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 異議ガアリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ナケレバ直ニ一二讀會ヲ開キマス

鐵道敷設法中改正法律案

○福田又一君 第二讀會決議ノ通リ可決確定アラムコトヲ望ミマス

〔「贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、本案ハ第二讀會決議ノ通リ可決

確定致シマシタ(拍手起ル)

○三輪市太郎君 議長

○議長(島田三郎君) 三輪君何アスカ

○三輪市太郎君 議事ノ進行ニ付テ一言發議ヲ……

○議長(島田三郎君) チヨット三輪君ニ申シマス、實ニ三輪君御闘席ニアツタノデ、今日ハ發議ノコトニ付テハ考慮ヲ要スルト思ヒマス、如何アス

○議長(島田三郎君) 左様ナル理由テ御缺席ニナツタナラバ、唯今ノ場合宜シウゴザ

イマス、三輪市太郎君

〔「何デス」と呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 議事ノ進行ニ關スル通告ガアリマシタガ、著席ガ無イノデ之ヲ延バシタノアリマス

〔三輪市太郎君登壇〕

○三輪市太郎君 此會期切迫ノ折柄ニ、私ハ此ニ登壇ヲ致シマスルノハ、全ク必要ヲ

感シタ此衆議院ノ慣例ニ幾多改善ラセムナラス問題モアリマスルガ、就中唯今委員會ニ於テ一層其必要ヲ感シタ問題が起ツタノアリマス、ソハ何デアルカト云ヘ、是ハ尙議會ニ限ラズ從來ノ慣例ガ惡イノアリマスガ、議員ヨリ提出スル所ノ法律案建議案等ヲ特別調查委員ニ付スル場合ニ於テ、其委員中ニ多クハ提出者若クハ賛成者ガアルト云

コトカ、是ガ名目ハ議長ノ指名ト雖モ其内容ハ各派ヨリ申シ出ルノアリマシテ、此慣例ハ甚ダ宣シクナイ事ヲ今日認メタノアリマス(ソレガ議事ノ進行ニ何ノ關係ガアル)

カト呼フ者アリ)議事ノ進行ニ關係ガアル故ニ議事ノ進行ヲ妨ゲテ居ルノ結果ガアルノ

デアリマス(「妨ゲテ居リマセヌ」ト呼フ者アリ)御聽キナサイ、發議中ダ(「聽カナイ」ト呼フ者アリ)成程提案者ガ此調査委員ニナル場合ニ、或ル場合ニハ却ア其委員會等ヲ開クコトニ奔走スルカラシテ、議事進行ヲ助ケル場合モアルケレドモ、元來調査委員ニ付スルト云フ所以ハ、其問題ヲ宣シク審議スルノアツテ、提案者トシテハ既ニ提案スル以前ニ其等ノ事ハ研究調査セナケレバナラス問題アル、又賛成者ナラバ免ニ角其提案者ヲ調査委員ニ加ヘルト云フコトハ全ク宣シクナイ、現ニ今日醫藥分業ノ法律案ニ付キマシテ提案者ナル者ハ元來此會期切迫ノ折柄ニ、斯ル重大ノ問題ヲ既ニ提出シタト云フコトサヘモ私ハ其眞意ヲ疑フノアル、法律案ハ云フ迄モナク貴族院ノ協賛ヲ經ナケレバナラス問題ヲ此場合ニ於テ提出シテ、會期切迫シテ居ル以上ハ、提案者ハ進テ此委員會ノ引續キ開會セラレムコトヲ望マナケレバナラス、然ルニモ拘ラズ、今日ノ醫藥分業法律案等ニ於テ質問ヲ打切ルトカ、昨日モ開會致シタ當時質問ヲモ致サズ徒ラニ散會ヲ致シテシマッタト云フ如キハ、何レガ主張スルカト云ヘバ提案者若クハ其案ニ賛成シテ居ラル、人ニガ現ニシテ延バサントスルハアル、恐らく是ハ必要ナル問題ト認メテ提案ナシタ以上、可否ノ結果何レニ歸著スルト雖モ自カラ追テ調査ノ進行ヲ計ラナケレバナラヌ、何ゾ圖ランヤ之ヲ延バサムトスルハ、何事アル或ハ之ヲ露旨ニ見テ視レバ此案ヲ握ラレムト云フ考ナルカモ知レナイ、實ニ怪シカラヌ話アアル、既ニ其案が到底社撰アアル、不都合ナル案テアルト云フコトヲ自認シタナラバ慄意握リ瀆スヨリハナゼ男ラシク撒回セラレヌノアルカ、斯ル弊害ノ起ルノハ即チ從來ノ慣例ガ惡イカラ、今後ニ於テ私ハ黨派問題デモナイン、黨派問題モ何デモアリマセヌガ、凡ソ建議案法律案ナルモノハ賛成者ハ免ニ角先ツ提案者ハ其調査委員ニ加ヘヌ方針ニ改善致シタイト云フ、即チ是ガ議事ノ進行ヲ計ルト云フノ誠意ヨリ茲ニ諸君ニ御諒リスルノアリマス、ドウカ議長ニ於テモ其方針ニ依テ御指名アラムコトヲ切ニ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 別ニ是ハ議ニ付スル必要ハナイト認メル、單ニ御希望ト認メス、其故ニ次ノ日程ニ移リマス、日程第十二及第十三ハ同一委員ニ付託シタ議案アリマスカラ、一括シテ議題トスルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナン」聲起ル〕

○議長（島田三郎君） 御異議ガナケレバ、兵役税法案及発兵戦病死者遺族軍人家族救護法案、之ヲ一括シテ議題ト致シ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長矢島八郎君

第十一 兵役税法案（矢島八郎君外十六名提出） 第一讀會ノ續（委員長）

第十二 発兵、戰病死者遺族、軍人家族救護法案（矢島八郎君外十六名提出） 第一讀會ノ續（委員長）

（矢島八郎君登壇）

（拍手起立）

○矢島八郎君 兵役税法案竝ニ発兵戦病死者遺族軍人家族救護法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、暫時御清聽ヲ煩ハシマス、兩法案ノ提出ハ客歲十一月二十二日デゴザイマシテ、二十六日ニ本會議ニ上リマシテ以來委員會ニ付託サレ、爾來委員會ヲ開キマスクト七回、委員出席スルモ國務大臣ノ出席ノ無イタメ會議ヲ延期シタコトガ一回、委員中特別調査委員ヲ設ケマシテ、本案ヲ審議熟慮スルタメニ此會ヲ開キマシタコトガ二回、ソレハ正式ノ會議テアリマス、其間ニ特ニ審査ヲ重ネマシタコトモ數回アリマシタ、遂ニ一月十九日ヲ以チマシテ委員會ヲ終了致シマシタ、此委員會ニ於テ審議致シマスニ付テハ政府委員ノ出席モ請ヒマシタ、又委員會ヲ開キマシタ後ニ更ニ小委員會ヲ設ケマシテ、審議致シマシテ、其結果一ノ修正案ヲ作リマシタノデゴザイマス、之ヲ委員會ニ議ニ付シマシテ修正案ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデゴザイマス、ソレハ諸君ノ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ、是ヨリ原案ト修正案トヲ對照致シマシテ、修正ノ理由ヲ簡単ニ申上ゲヤウト存シマス、先ツ兵役税法案ニ付テ申上ゲマスガ、此兵役税法案ハ名稱ヲ壯丁税ト云フコトニ改ノマシタ、其理由ハ後ニ申上ゲマスガ、陸軍政府委員ノ説明ニ依リマスト、兵役税ト云フ名稱ハ舊代人料ト同一ノ感ヲ抱ク場合ガアルカラシテ、ドウモ是ハ少シ考ヘナケレバナラヌト云フ意思ヲ常ニ持テ居ラレマシタ、壯丁税ト致シマシタナラバ、或ハ其嫌ヒガナイヤウニ相成ラウカト云フ意味ヲ持タレマシタメニ、大ニ此點ニ付キマシテハ委員會ヲモ審議ヲ重ネマシタノデゴザイマス、本稅が國民皆兵ノ主義ヲ貫徹シマス上ニ付テ、兵役税ト云ヒマス方が最モ當ト得テ名實相當ルモノニ考ヘマスナレドモ、先ツ以テ當路者ノ希望ヲ容レマス方ガ宜カラウト云フノデ壯丁税ト改メマシタ、次ニ修正ノ第一條ハ原案テハ「現役ニ服セサル男子」ト規定シテアリマスケレドモ之ヲ常備兵役ニ服セサル男子ト改メマシタ、其譯ハ兵役税ノ納期期間ヲ七箇年ト致シマシタ、此七箇年トシマシタノハ常備兵ダケハ即チ現役三年、豫備役四箇年、月ヲ基礎ト致シマシタ、其理由ハ本人ニ納稅ノ義務ヲ負ハシタ方が適當アラウ、本人が戸主ニ非サレバ、其戸主ハ納稅ノ聯帶ノ責任ヲ持ツト云フコトニ相成リマシタナラ、徵收ニ於テモ差支アル、マイト云ノフデ斯ウ云フコトニ致シマシタ、第一條ノ稅シタ如キモノニ致シマシタ、其理由ハ本人ニ納稅ノ義務ヲ負ハシタ方が適當アラウ、本

適當アラウ、此結果ハ原案カラ見マスト頗ル總收額ハ減少致シマスケレドモ、斯様ナ考ヨリ改メマシタ、同條モ前三年ト後四年トニ依リ税率ノ區別ヲ致シマシタノハ、一方兵役服務者ノ現役服役間ト豫備役間トノ對照ニ於テ、此區別ヲ致シマシタ方が宜カラウ、是モツマリ徵稅ヲ成ルベク減ズルト云フ方針カラ、斯ウ云フ風ニ改メシタ、又同條中兵役税ヲ全部ニ課スルコトニ致シマシタノデゴザイマス、是ハ貧富其他ノ如何ニ拘ラズ、總テ徵稅ヲ成ルベク減ジマスター率ヲ非常ニ安ク致シマシタ、即チ御手許ニアリマス通ニ修正ニナリマシタ、第三條ハ比例稅ノ標準、是ハ第三條ノ所得稅ノ算定法ニ付キマシテ、其納稅義務者ノ戸主ナルヤ否ヤ、又一家内二人以上納稅者アリヤ否ヤヲ斟酌シテ、規定シタノアリマス、少シ錯雜ニナッテ居リマスガサニ云フ譯ニアリマス、第四條ハ第五條ニ相當シマス、但シ其稅率及納稅期間ヲ少シク修正シタマデノコトニアリマス、第五條第一號ハ第六條ノ期間ヲ削除シタノアリマス、又第一號ハ兵卒以外ノ軍籍ニアリマスモノニ當嵌メル規定テアリマス、第六條ハ原案ノ第四條ニ相當スルモノニアリマス、第七條ハ補充兵及徵集延期若クハ猶豫者ノ納稅ノ起算點ヲ明瞭ナラシメルタメニ、第二條ト分離シテ別ニ規定シタルモノニアリマス、即チ、原案第三條ノ規定ト原案第一條中ニ包含セラレタル教育召集ヲナサル補充兵ノコトヲ併セテ別條シテ記載シタモノニアリマス、第八條ハ原案第八條第一號ニ相當スル規定テアリマス、但シ兵役税納稅義務者其範圍ヲ常備兵トストアリマス、其結果豫備兵ノコトヲ加ヘタルモノニアリマス、第九條第一號ハ原案ノ第八條第四條ニ相當シ、第二第三號ハ新ニ加ヘタルモノニアリマス、第十條第一號第二號ハ原案第八條第三號ニ相當スルモノニシテ、唯其範圍ヲ一層具體的ニ規定シタマデノコトニアリマス、同條第四號ハ第一條ノ例外シテ規定シタモノニアリマス、第十一條以下第二十六條マテハ徵收稅ノ手續アリマシテ、原案テハ命令ノ記載ニ委ネル積リテアリマシタノラ、更ニ此法文ニ掲ゲル方ガ最モ明瞭テ宜カラウト云フコトニ相成リマシテ、斯様ナコトニナリマシタ、第二十七條ハ原案ノ第十條ニ相當致シマスモノニアリマス、附則ノ施行期限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトニ改メマシタ、又附則トシテ本法ノ施行範圍ヲ新ニ規定致シマシタノデゴザイマス、是テ兵役税法案ノ修正ノ要領ハ終リマシタ、次ニ救護法案ノ方テゴザイマスガ、此方ハ唯僅ニ修正ヲ加ヘタマテノコトニアリマシテ、他ハ原案ノ儘アゴザイマス、第十一條末尾ニ各大臣ノ名ヲ列記シテ居リマスガ、ソレヲ改メマシテ「其補助金額ノ決定ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウ云フコトニ致シマシタ、其外修正ハ致シマセヌテゴザイマシタ、以上ヲ以テ修正ノ成文ハ概略申述ベマシタ次第ゴザイマス、ヨリ本案ニ對スル政府委員ノ意向ノアルトコロヲ併セテ御報告致シマス、先ツ大藏省ノ方カラ申シマスト、大藏省トシテハ本案ニ對シテ終始同情ヲ持テ居ラレマシタ、委員會ノ義務者ト致シマシタノデゴザイマスガ、修正案テハニヲ削除致シマシタ、御手許ニ迴シマシタ如キモノニ致シマシタ、其理由ハ本人ニ納稅ノ義務ヲ負ハシタ方が適當アラウ、本

ラレ、又士氣が衰へルト云フ杞憂ヲ懷カレルト云フ譯ニアリマス、吾々委員會ノ方カラ之ヲ見マスト、陸軍當局者か兵役ノ名譽ヲ通リニ考ヘマスト云フコトハ、軍事當局者自身が此兵役ノ名譽ヲ却テ輕ク考ヘテ居ルヤウニ見ニルノデアリマス、殊ニ現時現役兵卒ノ給料ノ如キ、明治初年ニ制定サレタモノヲ以テ、今ニ其儘ニ相成シテ居ルト云フ有様ニアリマス、又現役兵召集豫後備兵又家族中自活シ能ハザル貧窮者ノ多イコト、又諸君モ昨今恐らく御心配下サル所ノ廢兵竝ニ戰病者ノ遺族、是等ノ者ガ寒サニ苦シミ飢ニ泣クト云フ窮困ノ有様デアルニモ拘ラズ、未ダニ適當ノ救護ヲ加ヘルト云フコトガ無ノテアリマス、是ハ最モ焦眉ノ急ト深ク御互ニ感ズル所ノモノニアリマス、是等ノ事ハ軍事當局者トシテ進ンテ御提案アグテ然ルベシト吾々ハ常ニ信ジテ居ルニ拘ラズ、未ダ當局者トシテ其御決心ノ無イノヲ遺憾トル意味ニ於テ、兵役稅制定ノ法律案ガ、此議會ニモ今年テ三年續イテ出マスヤウナ有様ニナシテ居ル、加フルニ廢兵其他救護ヲ要スル者ノ法案建議案が昨年モ出マシテ、其時ハ陸軍省アリマス、唯武士道名譽ト云フヤ年モ此兵役稅法案ト共ニ此ニ提出サレタ次第アリマス、且下我國ノ財政狀態ト致シマシテハ、際限ナク是レニ應ズルト云フ財源ノ無イト云フコトハ御考ニナシテモ居リマセウガ、一面ニハ是等ノ事ヲ考ヘ合セテ見マスルト、兵役稅ノ如キモノヲ起シテ、兵ニ出ル者ノ爲ニ兵ニ出テス者ガ適當ナル幾分ナリトモ義務ヲ盡スト云フコトハ當然デアルノミナラズ、此稅源ニ依テ目下甚ダ遺憾ナガラ大藏財政ノ窮乏ノ上ニ甚ダ便利ヲ得ルコトニモ相成ルノテアリマスカラ、尙以テ御奮發アシテ、此案ハ申スマデモナク陸軍當局者ハ雙手ヲ舉ゲテ御贊成ニ相成シテ宜カラウト思フノアリマス、陸軍當局者ノ杞憂セラル、如キ憂ハ毫モ無イト吾々ハ信ズルコトハ、嘗テモ諸君ト共ニ研究シマシタ通り、徵兵制度ヲ施カレマシテカラ此日本國ノ壯丁ハ些カ苦情ヲ唱ヘズ、又如何ナル困難ヲモ忍シテ現役ニ服シテ居リマスナレドモ、其實其家庭ニ立入シテ見レバ、如何ナル貧乏者デモ御承知ノ通り入營スル爲ニ相應ノ費用ヲ要スルコトニ相成ルノアリマス、入營ノ支度、入營スル願意ヲ表スルト云フヤウナ事柄ニ付テモ、總テ費用ガ掛ル、又入營シタ以上ハ如何ナル困難者デモ、子ノ爲メシテ父ノ心配兄ノ心配、輕カフザル苦勞ヲ其間ニセキバナラヌ、乃チ月々ノ送金、又隊カラ出マスレバ又願意ヲ表スル爲メニ同ジク金ガ掛リマス、ソレデ一人ノ人間ガ兵役ニ就イタ後ハ其一家ノ不自由ハ輕カヌ譯ニアリマス、ソレニ對照シテ兵ニ出ナイ者ノ利益ハ亦至大ナモノニアリマス、ソレ故ニ年々此議會ニ、地方カラ兵役稅相當ノ請願ノ出マス意思モ即チソニ在ルノデアリマス、多クハ兵ニ出ル者出ナイ者ノ關係ノ非常ニ差ノアルコトヲ慨嘆シテ、出ナイ者ガ是非相當ノ稅金ヲ納メテ幾分ノ義務ヲ盡シ、併セテ兵ニ出ル人ヲ慰メタイ、サモナケレバ國民トシテ相濟マスト云フ意思ニ外ナラヌハ洵ニ尤モ千萬ノ事ニアリマス、決シテ此課稅ノ爲メニ國民ニ不平ヲ懷ク者一人モアルマイト思ヒマス、吾々不肖ナガラモ國民ト相計ツテ、最モ是ガ名譽アル適當ナル納稅方法デアルト云フコトヲ事實ニ見ルコトヲ努メナクテハナラスト思ヒマス又非常ニ苦シマヌデモサウ云フ結果ヲ見ルコトハ難クナイト思ヒマス、ソコテ代人料制定ノ當時ニ懲リマシテ、此稅ヲ起スノハ代人料デアルト云フ觀念ヲ持タセルト云フコトハ、軍事上非常ナ不利益デアル、士氣ヲ阻喪スルト云フ軍事當局ノ御話ハ、一應御尤ニアリマスケレドモ、洵ニモ淺薄ナル御考ト存ジマス、唯今申上ケル通りノ次第アリマスカ

ラ、納稅者自身が選シタルコトデアリマシテ、其上ニ十七箇年四箇月ノ任務ニ服スル者ニ對シ、更ニ此兵役ニ關係シナイテ抽籤テ除カレタ者ガ、少シモ此兵役ノ義務ヲ負ハスト云フコトニ相成リ、經濟ノ上カラモ亦一家ノ經營ノ上カラモ、其差ハ申上ケルマデモ云フ御話デアル、最大名譽ト云フ名ノ下ニ總テヲ押込ンデシマシテ、經濟上ノコトハ少シモ御構ヒガナイト云フ軍事當局ノ御思想ノヤウニ信セラレマス、唯武士道名譽ト云フヤウナコト一黠張リテ、其内情ヲ能ク穿ツテ御考ヘナサラスト、將來非常ナル悔ヲ遺スコトニ相成ラウト存シマス（モウ分リマシタ「ト呼フ者アリ」誠ニ御分リニナシテ仕合セ——由來兵役稅ニ付キマシテハ私共聽クトコロニ依リマスト、陸軍等ヲモ決シテ御ヤリナサリタクナイトハ信ゼヌノアリマス、既ニ陸軍省テハ此案ヲ作ツテ大藏省ニ迴付サレ、大藏省ハ徵稅ノ困難ノ爲メニ是ハ同意ハ出來ヌト云フ、又其後ニナシテ大藏省テモヤシテ見ヤウト云フ勇氣ヲ出シタコトガアル、其時ハ陸軍省アリマス、又應シナカタト云フ經歷モアルサウデアリマス、何シロ時運ノ然ラシムルトコロ、此邊デ大ニ奮發ラ致シマシテ、何トカ此解決ヲ著ケヌケレバナラスト云フ場合ニ差迫ツテ居ルモノト存シマス、既ニ軍人ノ間ヲ見マスルト個人々々トシテハ頗ル御贊成ノ聲モ聞エマスルノアリマスケレドモ、當局者ト致シマスルト前ニ申上ケルヤウナ御案ジナサルニ及バナイコトヲ御案ジナサルト云フ上カラ見マスルト、御尤デハアリマスケレドモ、徒ラニ杞憂ヲ抱イテ此解決ヲ付ケヌト云フコトハドウシテモナラヌモノト信ジマスカラシテ、遂ニ此ニ此議題ニ上シタ譯ナシテアリマス、當局者ハ此案ヲ迎ヘルガ如ク迎ヘザルガ如ク、贊セザルガ如ク贊スルガ如キノ今言明ニナシテ居リマスル、此意ノアル所ヲ深ク了解サレマシテ、此度ハ是非御奮發ニナシテ、本員ノ委員會ノ報告ニ御同意セラレシコトヲ切ニ希望致スノデアリマス、精シイコトハ澤山申上ケタク存シマスルナレドモ、私ノ唯今ノ位地トシテハ不肖ナガラ委員長ト云フ場合テ、此御報告ヲ致シマスル譯ニアリマスカラ、極メテ委員會ニ現ハレタコロノ大體ノ意ノアルトコロラ此ニ陳述致シマスルノアリマス、詳細ノトコロハ委員會ノ速記録ニ依テ、既ニ諸君ハ御了解ニナシテ居ルコト、存シマスカラ精シクハ申シマセヌ、唯遺憾千萬ナハ陸軍當局ハ吾々カラ思ヒマスルト、民間ノ情況が親シク御了知ニナシテ居ラヌヤウナ有様デアル、其點ヲ深ク吾々ハ慨歎致シマスルノアリマス、此人民ノ代表者、吾々ハ常ニ此軍隊ノ下ニ接シ、民間ト交ツテ此辛慘ラ盡ク嘗メテ居ル者デアリマスカラシテ、事情ハナカク、切ナルコトヲ感ジテ居リマス、何卒此案ヲシテ輕々ニ看過セラレズ、委員會報告通滿場ノ諸君が御贊同下サイマシテ、此ニ決定セラル、ヤウ切ニ希望致シマス、今日下士以下ノ狀況又現役兵ノ狀況ハ、慘状實ニ見ルニ忍ビナイ有様アリマス、此點ハ尙一層切ナル感ズルノアリマス、何分御贊同ヲ偏ニ希望致シマス

○議長（島田三郎君） 通告ガアリマス、川崎克君

○川崎克君 極メテ簡單デアリマスカラ此席テ申述ベマス、私ハ本案ニ對シテ、本案ハ延期スベキモノナリト云フ意見ヲ持ツテ居リマス（「ノウ」「ト呼フ者アリ」此案ノ裏ニハ軍人恩給法及廢兵遺族救助ニ關スル事柄ガアルノアリマス、此事柄ニ對シテハ私共ハ同情シ相當ノ考慮ヲ拂ツテ居ルモノアリマス、又此事自身ニ付テハ財源ハ他ニ攻究スベキ餘地アリト信ジテ居ル者デアリマス、唯此問題ヲ實行スルガ爲メニ此ノ如キ財源ニ

依ラナケレバナラスト云フ理由ハナイノアリマス、私ハ事件ト財源トハ引離シテ研究シタ
イト云フ意見ヲ持テ居ル者ニアリマス、此最初出マシタ案ニ依リマスレバ、兵役税ト云
ヲコトニナシテ居ツタノガ壯丁税ト云フ名前ニ變ヘラレタノアリマスガ、唯今委員長ノ報
告ニ依リマシテモ兵役義務ニ代フルニ納稅義務ヲ以テスルト云フ、即チ代償的意味ニ
於テ稅ヲ徵收スルト云フコトガ報告ノ中ニ明カニ述ベラレテ居ツタノアリマス、私ハ此意
味ヲ以テ本稅ハ稅ノ目的トシテ其宜シキヲ得テ居ルモノデナイト思フノアリマス、斯ノ如
キ兵役義務ヲ金錢ヲ以テ之ヲ代ユルト云フコトソレ自身ガ、甚ダ武士道人心ノ上ニ及
ボス影響奈何ト云ウコトヲ痛切ニ感スルノアリマス、私ハ斯ウ云フ意味ニ於テ本案ハ國
民ノ士氣ニ關係スルコト重大ナリト云フ疑ヲ持テ居リマスカラ、尙慎重ニ審議ノ上デ
本案ヲ決シタイ、殊ニ此案件ノ中ニモ疑問トル點ハ多々アリマスガ、主トシテ私共ノ疑
問トル點ハ兵役ノ義務ハ云フマテ、モナク國家有事ノ場合ニ於テノ義務アル、此義
務アルニ拘ラズ、戰時及ビ時變ニ際シテ兵役義務ヲ免レタル者ガ納稅ヲ爲シテ其後ニ
徵收ヲ受ケタル場合ニハ「重ノ負擔ヲ負ハナケレバナラスト云フ論結ニ陷ルノアル、斯
ノ如キコトハ甚ダ〔誤解〕ト呼フ者アリ」誤解テハアリマセヌ明カニ書イテアル、第九條
ヲ御覽ナサイ、斯ノ如キ疑問が多々アリマス是ハ餘程考慮ヲ用ユベキ問題ト考ヘマスルニ
依シテ、本案ハ之ヲ延期スルコトニ願ヒタイ、殊ニ斯ノ如キ案ハ「バルカン」半島ニ於テ
ミ行ハレ、有力ナル一等國ニ於テ行ハレテ居ナイ、其一等國ニ行ハレテ居ナイコトヲ認
ムルト云フが如キ事ヲ我國ニ於テ行フ必要アリヤ否ヤト云フコトヲ疑フノアル、斯ノ如
キ意味ニ於テ本案ハ延期サレンコトヲ希望スルノアリマス

○議長（島田三郎君）　桶口秀雄君

（桶口秀雄君登壇）

○桶口秀雄君　私ハ此兩法案特別委員ト致シマシテ、又此兩法案ニ對シテ熱心ナル
賛成者ト致シマシテ、茲ニ原案賛成ノ意見ヲ述ベテ見タイト思フノアリマス、唯今委
員長ノ御報告ノ中ニモアリマシタノアリマスガ、其後私ノ敬愛シマス川崎君カラ唯今
遺憾ナガラ反對ノ說が出テ居ルノアリマス、然ルニ其川崎君ノ御論旨ノ要點ニ、此兩
法案提出ノ意味ヲ誤解サレタ點が甚ダ多イコトヲ私ハ深ク遺憾トルモノアリマス、第
一川崎君ハ委員長ノ報告ヲ如何ニ御聽取ニナリマシタカ、此兵役稅改メテ壯丁税ト
名付ケマシタコロノ稅ガ、兵役ヲ免レタ者ニ對シテ兵役ノ義務ノ代リニ誤スル稅ト云フ
ヤウニ誤解ニナシテ居ラレマス、併ナガラ此案ヲ能ク御覽ニナレバ明白アリマスルガ、又此
提出者ノ趣意カラシマシテモ、決シテサウ云フ意味デハナイノアリマス、是ハ陸軍當
局ニ於テモ稍ニ此誤解ガアツタノアリマスカラ、次ニ陸軍ニ於ケル反對意見ニ對シテ私
ガ反駁ヲ試ミ際ニ併セテ申上ゲマス、第一ニ川崎君ハ此減兵救護若クハ軍人ノ遺族
救護ト云フヤウナコトニ對シテハ、極メテ必要ヲ御認メニナシテ、曩キニハ此第乏シル財
政ノ中カフ、年々二百万圓餘ヲ要シマスルトコロノ軍人恩給法ノ改正ニモ御賛成ニナッ
タ御一人デアラセラレマスガ、斯ノ如キ軍人恩給ヲ増額致スト云フヤウナ改正案ノ必要
ガアルナラバ、尙更廢兵並ニ軍人ノ遺族救護ノ必要ハアルノアリマス、併ナガラ此必
要アルガタメニ此兵役稅法ガ現ハレタノアリ、是ハ偶然ニ起シタ結果デアリマス、而シテ
御承知ノ通リ陸軍ニ於テハ頻リニ兵役稅——壯丁税ガ陸軍ノ士氣ニ影響スルト云フ

コトヲ杞憂ナサルヤウデアリマスガ、抑、此案ノ提出セラレマシタル理由ハ、御承知ノ如ク
既ニ二年テアリマス、サウシテ年々歲々幾千人ノ請願書が議會ニ現ハレマシテ、彼等ハ子
ヲ持ツタル親トシテ、サウシテ國民トシテ——其子ガ國民ノ一人トシテ現役ニ服シ國家ノ
爲ニ最高ノ義務ヲ盡スコト能ハザルヲ遺憾ト致シマシテ、セメテハ自分ノ私財ノ一部ヲ以
テ是等國家ノ爲ニ盡シテ居リマスル現役軍人其他ニ對シテ、後顧ノ憂ナカラシメンガ爲ニ
徵稅シテ貢ヒタイト云フ特志ノ希望ニ出テタノデゴザイマス〔アーメン〕ト呼フ者アリ笑
聲起ル）決シテ遺族救護等ノ財源ノ爲メニ、此兵役稅法案ト云フモノが生レタノデナリ、
其理由ノ下ニ生レ來シタコロノ兵役稅法案ガ、偶、此殘兵其他ノ救助ニ至大ナル
便利ガアリマスカラ、併セテ之ヲ提出シタ次第アルノアリマス、ソレカラ又川崎君ハ此
案が非常ナ重大な案件ナルが故ニ延期ノ意見テアルト云フ説アアル、此點ハ一應御尤デ
アリマスが併ナガラ川崎君ハ此議會ニ於キマシテ昨年末ニ追シテ、政府ガ何千万圓ト云
フ追加豫算ヲ昨夜議案ヲ迴シテ本日委員會ヲ開イテ即決セントシタトキニ、贊成ヲサレ
マシタル與黨ノ一人トシテ、何レが重大アルカラ御考ヲ願ヒタイノデアル（拍手起ル）重
大案件ナレバトテ提出以來五十日ヲ過ギマシテ、而モ大藏部内ニ於テハマダ意見ガ一
致サレマセヌガ、政究スルトコロガアツト云フコトヲ聞キ、其多年經驗サレタル批評ヲ聞
イタ上ニ、始メ提出サレマシタ——遺憾ナガラ不完全な案トハマルテ一變致シマシテ、委
員等が日夜寢食ヲ忘レテ慎重審議シタモノアリマスカラ、彼ノ豫算案ノ議決ト同様
ニ見ラレハ困ルノアル、遙ニ鄭重ナル審議ヲ盡シタ積リテアリマス（拍手起ル）獨リ
陸軍當局が此案ニ對シテ最モ反對ヲ致サレマスルガ、何故ニ士氣ニ關係スルト云フ
トデアリマス、何故ニ士氣ニ關係スルカト由シマスルト、先刻川崎君モ不幸ニシテ誤
解サレマシタ通り、彼ノ代人稅ナルモノト同一ニ考ヘラレテ居ルコトガ其根據ヲナシテ居
ルヤウニ私ハ思フ、即チ佛國ニ於キマシテハ千八百年代ニ始メテ代人稅ヲ徵收シタコト
ガアル、後ニ日本ニ於テモ代人料ナルモノヲ或僅カナ期間ニ於テ徵收シタコトガアルノデ
アリマス、サウシテ其結果ガ士氣ノ振興ノ上ニ由タシキ結果ヲ招クト云フコトヲ憂ヘラ
テ、之ヲ廢止ニナシテ居リマスルガ、今回ノ此兵役稅法ト其代人料ノ觀念トガ一緒ニ
ナシテ居リマスルカ爲ニ、兵役ノ義務ヲ盡スカ若クハ除クカト一ツニ一ツノ問題デアルカノ
如ク考ヘラレマシテ、此爲メニ兵役ト云フモノニ對スル觀念ヲ薄弱ナラシムルト云フノガ、
陸軍省ノ御心配ノ最モ重要ナル點アルヤウデアリマス、然ルニ此陸軍當局者ノ見解ニ
付キマシテハ、私共ハ極端ナル反對意見ヲ有シテ居リマス、御承知ノ通り昔ノ時代ニ於
キマシテハ東西共ニ此兵役ニ服スル者、即チ軍人ナルモノハ特別ノ階級ヲナシテ居リマシ
タ、此軍人階級ナルモノガ特權ヲ有シテ居リマシタ爲ニ、一種ト權利トナシムルト云フノガ、
モ、既ニ歐羅巴ニ於ケル封建制度ノ瓦解ト共ニ過去シタ舊思想デアリマス、サウシテ陸
軍省ニ於テハ陸軍教育部ニ於テドウ云フ風ニ兵ヲ御教育ニナルカトニ云フト、軍人兵役
人ノ教育ノ本旨ト致シマシテハ素ヨリ爾クアツテ然ルベキモノト私共ハ思フ、即チ教育ナ
ルモノハ一種ノ理想ノ下ニ人ヲ導クノアリマスカラ、軍人ノ理想ト致シマシテ然カアルベ

キモノデアル、軍人ハ國家ノ干城アル、サウシテ最高ノ義務ヲ盡シ最高ノ名譽アルモノアルト云フ風ニ教ヘルノガ、是ハ教育者トシテ當然アリマス、陸軍ノ教育部が此方針ヲ執ラレルコトハ私共更ニ反対ナニ、併ナガラ事實ハ如何アリマス、事實ハ最後ノ決定ヲ與ヘルトコロノ最強イ材料テアリマス、私共ハ遺憾ナガラ此日本ノ上下一體ニ於キマシテ、各壯丁が自フ進シテ最高ノ義務ニ就キ最高ノ名譽ニ就クト云フ觀念ヲ有ッテ、恰モ古昔ノ「スバルタ」ノ軍人ガ戰場ニ向ク如キ意氣ヲ以テ、此徵集ニ應ズルト云フコトハ遺憾ナガラ信ズルコトが出來ナイノアリマス、素ヨリ全國皆兵ノ主義カラ申シマシテモ、或ハ尙武國トシテ誇シテ居リマス吾々日本人ト致シマシテ、全國ノ壯丁ガ皆喜ンデ兵役ニ就クト申シタノアリ、是ハ私ノ希望トシテハサウアリマス、事實ハ遺憾ナガラ之ニ反シテ居ル、殊ニ富豪ノ壯丁ニ於テ若クハ陸軍最高級ノ軍人ノ壯丁ニ於テ、而モ學院ヲ卒業シタ所ノ軍人ノ壯丁ニシテ徵兵忌避者ヲ續出セシムルト云フコトハ、陸軍當局ト雖モ敢テ之ヲ否定スルコトハ出來スト私ハ思フ、此生キタル事實ヲ陸軍ハ如何ニ御覽ニナルカ、陸軍教育部ノ方針トシテハ尤モアルガ、斯ノ如ク年々徵兵忌避者が遺憾ナガラ出ル、而モ知識階級ニ多ク、又最高名譽最高義務ト任ジテ居ラレル軍人ノ家庭ノ中カラ、而モ最高級ノ將校ノ家庭カラ斯ノ如キ者ガ續出スルノアリマス、此生キタル事實ニ對シテ陸軍當局ハ之ヲ如何ニ御考ニナルカ、自分ノ方ハ教育上ノ方針カラ最高ノ義務最高ノ名譽アルト教ヘル、兵ニハ教ヘル、將ト兵トハ達フカモ知レヌガ、卒ニ對シテハ斯ノ如ク教ヘルガ、而モ己ノ最高級ノ軍人ノ家庭カラ忌避者ヲ出シテ居ツテ軍人ノタメニ後援者トナラント希望シテ出ル所ノモノニ向クテ、士氣ヲ頽廢サセル原因トナルトハ何タル論斷アリマス、寧ロ私ハ陸軍士氣ノ頽廢ノ本ハ他ニアルト思フ、即チ斯ノ如キ遺憾ナガラ生ケル事實ガ多々アルニモ拘ラズ、之ヲ陸軍當局ハ眼ヲ蔽フテ自カラ其事實ヲ隱蔽シテ、サウシテ軍人ハ最高ノ義務アル、最高ノ名譽アルト云依テ通過シタ軍人恩給法ノ改正ハ如何アリマス、此恩給法改正ニ依リマシテ年々國庫カラ約三百二十萬圓カラ餘分ノ金ヲ支出シナケレバナラスト云フ狀態アル、其中將校ノ即チ勅任官及奏任官ニ與ヘマスル所ノ將校ノ恩給ノ增額ニ依テ要シマスル所ノ金ハ約九十八万圓アリマス、サウシテ判任以下ノ下士卒ニ對シマスルモノガ殆ド二百三十分圓ヲ要スルノアリマス、其人員ヲ申シマスルトド士卒ノ分が七万三千餘人アル、而モ將校ニ取シテ見マスレバ勅任及奏任官ノ軍人ノ恩給増額ニ依テ、國家が費消すべキハ九十八万圓アリマス、一人平均三百餘圓宛ニ當クテ居ル、而モ最高級ノ恩給ヲ受クル豫後備軍人、即チ大將ハ今回ノ増額ニ依テ五百圓宛年々國庫カラ恩給ヲ増額サレル、既ニ三千餘圓ヲ取シテ居ツテ、内ニ後顧ノ憂ナキ所ノ大將ガ、此恩給法ノ改正ニ依テ一人當リ五百圓以上ノモノヲ支給サレテ居ル、サウシテ之ニ反シテ此卒等ニ參リマスレバ殆ド比較ニナラヌノアリマス、然ルニ此恩給法ハ忽チ此議會ヲ通過シテ居

ル、大藏當局ハ頻リニ財政ノ窮乏ヲ訴フルニモ拘ラズ、年々斯ノ如キ多額ノ金ヲ吐出サナケレバナラス、而モ一千九百六十四人ニ對シテ九十八万圓ト云フガ如キ、吾々カラ見レバ殆ド冗費アルガ如キ多額ノ費用ヲ、將校達ニ恩給ノ増額ノタメニ拂ツテ居ルノアレ、之ヲ屑ク容レラレタ所ノ諸君ガ、人員ニ致シマスルト殆ド七千三百人ハカリ、サウシテ之ヲ救助致シマスルニ付テモ六十万位ノ金ヲ要スルニ過ギナイ所ノ廢兵軍人遺族ノ救助ニ向クテハ、此同情ヲ惜ムニ至シテハ輕重本末ヲ轉倒シタ議論ト思フ（拍手起ル）而モ此軍人恩給法ヲ通過セシムルニ當リマシテ不可思議ナル事實ガアル、即チ彼ノ豫備ノ將校ガ或ル將官ノ所ニ本部が設ケラレテ、サウシテ此增額ニ依テ得ラレル所ノ幾分ノ資本ヲ蓄積シテ運動費ト名付ケ、盛ニ數多ノ人ヲ散ラシテ院内院外ニ運動シ、院内ニ於テモ此委員會ニ委員ノ出席缺席如何、辯論如何ト云フコトヲ一々軍隊式ニ本部ニ報告セシメタト云フ事實ヲ聞イテ居ル、果シテ事實ハ如何アリマスカ、此下士卒ノ如キ憫ムベキ所ノモノガ救助ヲ國家ニ求メ、恩給ノ増額ヲ望マル、ナラハ吾々ハ悦シテ迎ヘタイト思フノアルガ、其運動者タルモノガ最モ生活ニ困難ヲ感ゼザル所ノ將校連、而モ上級ノ將校テアリマシテ、サウシテ多大ノ金ヲ散シテ運動ヲ試ミルト云フニ至テハ、士氣ノ頽廢此ニ至シテ極マリト信ジマス（拍手起ル）國民ガ至誠ニ基イテ願ヒ出ヅル所ノ稅ヲ取シテ此兵役稅ハ壯丁稅トナリマシタケレドモ、至誠國ヲ思フ一片ヨリ、自分ノ壯丁が國家ニ對シテ血稅ノ義務ニ服セザルガタメニ、私財ヲ擲シテ現役軍人其他ノモノ、後顧ノ憂ヲ防ガントスルモノト、斯ノ如ク運動ニ狂奔シテ恩給ヲ受ケルト云フモノ、說ヲ容レント、ドチラガ社會ニ影響ガアルト御考ニナルカ、私ハ遺憾ニ思フ、陸軍當局ノ所謂士氣ノ消長ト云フコトハ吾々ハ本末轉倒ノ議論ト思フ、強イ者ノ訴ハ聽ク、弱イ者ノ訴ハ棄テ、顧ミズト云フコトハ沙汰ノ限リテアリマセヌカ、併ナガラ斯クハ申シマスルモノ、實ハ陸軍ト雖モ此廢兵ノ救助ニ對シテハ意がナイ所ニテハナイ、熱心ニ希望シテ居ルト云フコトヲ言明シテ居リマス、然ラバ廢兵ヤ遺族救護ノタメニドウ云フ方法デ金ヲ出サセルカト云フ、サア金ハナイ財源ノコトハ是ハ大藏當局ノ責任ダト云フ、成程各省ニ分掌事務ガアリマスカラ一様ニハ參リマセヌガ、陸軍大臣モ國務大臣アル、コトヲ云シテ澄シ返ツテ居ラレル、此名ノ下ニ於テ陸軍ノ士氣ノ頽廢スルノアルト思フ、殊ニ諸君が眼前ニ御覽ニナシテ居ル事實ガアル、今回此議會ニ於テ諸君ノ御協賛ニ依テ通過シタ軍人恩給法ノ改正ハ如何アリマス、此恩給法改正ニ依リマシテ年々國庫カラ約三百二十萬圓カラ餘分ノ金ヲ支出シナケレバナラスト云フ狀態アル、其中將校ノ即チ勅任官及奏任官ニ與ヘマスル所ノ將校ノ恩給ノ増額ニ依テ要シマスル所ノ金ハ約九十八万圓アリマス、サウシテ判任以下ノ下士卒ニ對シマスルモノガ殆ド二百三十分圓ヲ要スルノアリマス、其人員ヲ申シマスルトド士卒ノ分が七万三千餘人アル、而モ將校ニ取シテ見マスレバ勅任及奏任官ノ軍人ノ恩給増額ニ依テ、國家が費消すべキハ九十八万圓ノ金ヲ投シテ僅カニ一千九百六十四人ノ將校ニ恩給ノ増額シ得ルナラバ、寧ロ之ヲ廢シテ之ニ代フルニ廢兵軍人遺族ノ救護ニ何故ニ向ケナインアルカ（拍手起ル）又ソレニミナラズ陸軍省ハ此問題題ニ對スル御見解ハ先刻申述ヘマシタヤウニ間違ツタル御考古代武士ガ特別ノ階級ニアツク當時ニアリマシタ所ノ、兵役ハ權利ト云フ觀念ヲ以テ來テ之ヲ今日ニ擬セント致シマスルガ、事實ハ即チ然ラズ、時勢ハ變シ人ノ思想モ變シテ、而シテ事實ハ全ク之ニ反シテ兵役ヲ以テ寧ロ血稅ト稱シ、動モスレバ忌ニ嫌ハントスルヤウナ弊風ガ多少ナリトモ現ハレテ居ルト云フ此遺憾ナ現況ニ對シマシテ、一方ニハ救護ヲ講ジ他方ニ於テハ唯今申述ベマシタヤウナ廢兵ト遺族ノ救護ヲ致スト同時ニ、他方ニ於テ國民ノ誠心誠意願出タ所ノ——一種ノ義勇泰公ノ誠心カラ出タ

所ノ納金、即チ壯丁稅ナリ兵役稅ナリ名目ハ私ノ論ズル所ニアラズ、是ニ依テ相當ノ途ヲ開イテ之ヲ大藏當局ヲシテ議會ニ提出セシメ、其實行ヲ圖シテ始メテ責任アル國務大臣ノ務メテアラウト思フ、軍人ノ恩給ハヨコセ、廢兵ノ其次ニハヨコセ、ケレド莫其金ハソチラテ工夫セヨト云フコトハ、是ハ忠實ナル大臣トシテ甚ダ遺憾ニ思フ點アリマス、併シ最近ニ於テ軍大臣カラ責任アル御答辯ヲ聞クコトヲ得ナカツタノハ甚ダ遺憾デアリマス、併シ最近ニ於テハ陸軍トシテハ此案ニハ贊成ガ出來カネルト云フ意見ニ確定シテ居ルヤウデアリマス、而モ士氣阻喪ト云フコトノ本末顛倒ノ議論タルコトハ先刻私ノ申述ベタ通りアリマスカラ、陸軍ノ反對説ハ私共ハ到底之ヲ認ムルコトハ出來ナ、其有意義ヲ認ムルコトハ出来ナイ、寧ロ逆サニ壯丁稅ナルモノヲ課スルコトニ依テ、徵兵義務ノ觀念ヲ多少ナリトモ多クセシムルコトガ出來、又一方ニハ是ニ依テ憫ムベキ軍人ノ遺族其他ノ者ニ對シテ救助シ得ルナラバ、茲ニ一ツナガラ救助ノ途ニ適ツタ處ノ最モ良イ方法トシテ、私共ハ此法案ヲ作成シタノアリマスガ、現内閣ニ於テハ曩ニハ恩給問題ヲ、其後ニハ種々ナル問題、那古浦丸ノ救濟トカ、或ハ駢入會社ノ救恤金トカ、或ハ屯田兵ノ救濟トカ、比較的憫レナ人ノ救濟ニ對シテ多大ナ費用ヲ支出スルコトハ、前代稀ニ見ル處ノ案デアッテ、私共ニ之ニ對シテ讀辭ヲ呈スルニ吝カナラヌノアリマス、獨リ怪ム此廢兵救護等ノ案ニ向テ絶好ノ資源ヲ給ベキ案ニ對シテ、政府ハ之ニ反對スルトハ何事アリマス、現内閣ハ頻リニ社會政策ヲ標榜シテ居ル、サウシテ簡易保險ナドモ社會政策ダト仰シャル、成程社會政策ノ一部ノ香ヒハスル、鰐屋ノ門ヲ通シタコト申スヤウタ香ヒハスル、併シ之ヲシモ社會政策ナリトシテ極力此實行ニ努ムル程社會政策ニ熱心ナル政府ガ、何故ニ斯ノ如キ廢兵ノ救助或ハ軍人遺族ノ救濟トカ云フヤウナ、一層強イ意味ノ社會政策ノ事業ニ各ナルカ、私ハ深ク怪シニ居ル者ニアリマス、而シテ此社會政策ノ實行ト云フ問題ノ外ニ、尙政府ガ此案ニ對シテ反對シマスルトコロノノ理由ガアリマス、是ハ一部ハ大藏省ノ意見アリマス、即チ先刻ドナタカラ——川崎君カラモ御述ベニナツカモ知レマセヌガ、此稅法トシテハ此法案ハマダ攻究ノ餘地ガアル、不完全ト云フヤウナ御話ガアリマス、成程稅法トシテ課稅ノ原則ヲ理想的ニ適用スル上ニハ、此法案ニ於テ多少ノ遺憾ハアルカモ知レマセヌ、併ナガラ此初メ提出セラレタ案ト今回修正セラレタ案トノ間ニハ殆ド天淵月鼈ノ差ガアル、サウシテ此或ル部分ニ於テ御杞憂ニナツテ居ルヤウデアリマス、例ヘハ所得稅ヲ有スル者ガ二人四人ノ壯丁ヲ有ツテ居ツタ時ニハ、非常ノ課稅ヲ負ハナケレバナラスト云フ御憂慮ガアルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ實際杞憂ニアリマス、即チ此稅法ニ於テハ一家族中ニ一人以上ノ壯丁稅義務者ガアリマスル時ニハ、戸主ガ壯丁デナクシテ戸主ニアツタ時ニハ、其戸主ノ所得稅ノ半額ヲ五人ナラ五人が分ケテ、五分ノ一宛銘ケニ就テ稅トシテ納メルノアリマスカラ、非常ナ少額ナ稅アリマス、曾テ獨逸ニ於キマシテモ「ビスマルク」ガ此案ヲ提出致シタ時ニ、人頭稅ノヤウナ形ニ於テ、一人二十馬克ト云フヤウナ案デアッタ、二十馬克即チ十圓アリマス、此案ニ於キマシテハ一度ニ取ラヌ代リニ一圓アリ、三年、アト一圓宛四箇年、合セテ十圓取タノアリマス、此七箇年間ニ十圓徵收スルト云フコトハ、日本ノ現状ニ於キマシテモ亦如何ナル壯丁ト

雖モ、既ニ壯丁トシテ兵役ニ應ズルカ否ヤノ瀨戸ニ來タ居ルヤウナ壯丁トシマスレバ、如何ニ柔弱意氣地ノナイ人デモ一箇年ノ間ニ一圓、之ヲ月ニ割レバ約十八錢位ノ所得ノナイ者ハナ、之ヲ以テ自分等ガ兵役ニ出ル代リニ、初メテ自分ノ真心ヲ以テ國家ニ盡シ、併セテ此現役軍人ノ後援ヲ爲サントスル彼等ノ美舉ニ出ヅルモノナリトセバ、斯ノ如ハ陸軍トシテハ此案ニハ贊成ガ出來カネルト云フ意見ニ確定シテ居ルヤウデアリマス、而モ士氣阻喪ト云フコトノ本末顛倒ノ議論タルコトハ先刻私ノ申述ベタ通りアリマスカラ、陸軍ノ反對説ハ私共ハ到底之ヲ認ムルコトハ出來ナ、其有意義ヲ認ムルコトハ出来ナイ、寧ロ逆サニ壯丁稅ナルモノヲ課スルコトニ依テ、徵兵義務ノ觀念ヲ多少ナリトモ多クセシムルコトガ出來、又一方ニハ是ニ依テ憫ムベキ軍人ノ遺族其他ノ者ニ對シテ救助シ得ルナラバ、茲ニ一ツナガラ救助ノ途ニ適ツタ處ノ最モ良イ方法トシテ、私共ハ此法案ヲ作成シタノアリマスガ、現内閣ニ於テハ曩ニハ恩給問題ヲ、其後ニハ種々ナル問題、那古浦丸ノ救濟トカ、或ハ駢入會社ノ救恤金トカ、或ハ屯田兵ノ救濟トカ、比較的憫レナ人ノ救濟ニ對シテ多大ナ費用ヲ支出スルコトハ、前代稀ニ見ル處ノ案デアッテ、私共ニ之ニ對シテ讀辭ヲ呈スルニ吝カナラヌノアリマス、獨リ怪ム此廢兵救護等ノ案ニ向テ絶好ノ資源ヲ給ベキ案ニ對シテ、政府ハ之ニ反對スルトハ何事アリマス、現内閣ハ頻リニ社會政策ナリトシテ極力此實行ニ努ムル程社會政策ニ熱心ナル政府ガ、何故ニ斯ノ如キ廢兵ノ救助或ハ軍人遺族ノ救濟トカ云フヤウナ、一層強イ意味ノ社會政策ノ事業ニ各ナルカ、私ハ深ク怪シニ居ル者ニアリマス、而シテ此社會政策ノ實行ト云フ問題ノ外ニ、尙政府ガ此案ニ對シテ反對シマスルトコロノノ理由ガアリマス、是ハ一部ハ大藏省ノ意見アリマス、即チ先刻ドナタカラ——川崎君カラモ御述ベニナツカモ知レマセヌガ、此稅法トシテハ此法案ハマダ攻究ノ餘地ガアル、不完全ト云フヤウナ御話ガアリマス、成程稅法トシテ課稅ノ原則ヲ理想的ニ適用スル上ニハ、此法案ニ於テ多少ノ遺憾ハアルカモ知レマセヌ、併ナガラ此初メ提出セラレタ案ト今回修正セラレタ案トノ間ニハ殆ド天淵月鼈ノ差ガアル、サウシテ此或ル部分ニ於テ御杞憂ニナツテ居ルヤウデアリマス、例ヘハ所得稅ヲ有スル者ガ二人四人ノ壯丁ヲ有ツテ居ツタ時ニハ、非常ノ課稅ヲ負ハナケレバナラスト云フ御憂慮ガアルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ實際杞憂ニアリマス、即チ此稅法ニ於テハ一家族中ニ一人以上ノ壯丁稅義務者ガアリマスル時ニハ、戸主ガ壯丁デナクシテ戸主ニアツタ時ニハ、其戸主ノ所得稅ノ半額ヲ五人ナラ五人が分ケテ、五分ノ一宛銘ケニ就テ稅トシテ納メルノアリマスカラ、非常ナ少額ナ稅アリマス、曾テ獨逸ニ於キマシテモ「ビスマルク」ガ此案ヲ提出致シタ時ニ、人頭稅ノヤウナ形ニ於テ、一人二十馬克ト云フヤウナ案デアッタ、二十馬克即チ十圓アリマス、此案ニ於キマシテハ一度ニ取ラヌ代リニ一圓アリ、三年、アト一圓宛四箇年、合セテ十圓取タノアリマス、此七箇年間ニ十圓徵收スルト云フコトハ、日本ノ現状ニ於キマシテモ亦如何ナル壯丁ト

最高幹部ニ於テハ斯様ナ問題ヲ考慮シテ居リマシテモ、之ヲ口外シ若クハ運動ニ現ハスコトハ能クシナイノアリマス、若シ彼等が一旦自口ノ位置ヲ自覺スルニ於テハ如何ニアリマセウ、社會ノ根柢組織、國家ノ根柢組織ニ於テ確ニ非常ナル動搖ヲ來スト云フ不幸ヲ見ルノアリマス、實ニ是ハ國家社會ノ上ヨリ見テモ人道ノ上ヨリ見テモ由々シキフコトハ、最モ是ハ必要ナルコトアリマス、國民總テガ兵トナリ國民總テガ國ノ爲ニ努力スルト云フ上ニ於テ、非常ニ必要ナル案テアルト考ヘルノアリマス、元來此ノ如キモノハ衆議院ノ提出ヲ待ツマテモナク、當局者ガ自ラ發案サルベキ性質ノモノアラウト考ヘテ居リマス、然ルニ當局者ニ贊成デアルガ如キ態度ヲ執ラレテ、恩給案ヲ通過スルヤ忽チ反對ノ態度ヲ示セラタニ付アハ、又或ハ之ヲ解シテ斯ウ云フモノモアリマス、最初ノ不同意ハ漸次了解ヲセラレテ同意ヲセラレタノアル、然ルニ陸軍當局以外ノ或者ガ是ヲシテ此ノ如ク立至ラシメル壓力ヲ加ヘタノアルト云フ風説が傳ハツテ居ルノアル、果シテ然ラハ我國今ノ政治界ニ於ケル最モ忌みベキ缺陷ヲ、遺憾ナク此問題ニ於テ暴露シクト申シテモ宜シノアリマス、テ政治家ノ要ハ國民ヲ理解スルニアリ、國民ノ心理狀態ヲ理解スルニアリ、軍隊ハ號令ヲ以テ動カスコトが出來マスガ、國民ノ心理狀態

○議長(島田三郎君) 限政府委員

(政府委員限德三君登壇)

○政府委員(限德三君) 御答ヲ致シマス、唯今ノ御質問ヲ承ハレバ(「質問デアリマセス」)「質問デアリマセス」「攻撃デス」ト呼フ者アリ)御質問デヤナイノアスカ

(「採決タマ」ト呼フ者アリ)

○高田耘平君 チヨット質問ガアル

○議長(島田三郎君) 高田君

○議長(島田三郎君) 高田耘平君

○高田耘平君 チヨットナカニ重大ナル問題ト本員ハ思ヒマスルノデ、イロイロ調べテ見マシタ、ソコテ先程樋口君ノ御演説ノ通り、成程委員會ハ七回開キ二十五日トカ期間ハ置イタカノ如クアリマシテ、樋口君ノ言ヲガ如ク全然此内容ハ修正サレタ、殆ド修正案が提出サレタノアルガ、吾ニハ此案ハ成程委員諸君タケハ研究シタカモ知レヌケレドモ議員トスレバ此三百万圓近クノ新稅ヲ起スニ於テ、之ヲ決定スルコトハ甚ダ(「數字ガ達フ」其他發言者多ク聽取スル能ハス)

○議長(島田三郎君) 静ニ爲サイ

(「四十万圓デス」「取消セ」「ヤルベシ」「其他發言者多ク聽取スル能ハス」)

○高田耘平君 此三百万圓ト云フコト、三百万圓ト云フコトが間違テ居レバ取消シ

マス、併ナガラ是ハ(此時發言者多ク聽取スル能ハス)併ナガラ最初ノ案ニハ千万圓以上ニナルト云フコトガ書イテアル、先程三百万圓ト云フコトハ私ハ委員長ニチヨット聞イタコトガアル、間違テ居レバ取消シマス、併ナガラ四十万圓デハイカヌト思フ、免モ角モ幸フ見ルノアリマス、實ニ是ハ國家社會ノ上ヨリ見テモ人道ノ上ヨリ見テモ由々シキ問題デアルガ故ニ、壯丁稅ト云フカ如キモノヲ設ケテ就役スル者ト就役セザル者ト、ナルベク其義務ノ接近ヲ圖リ、一方ハ又之ヲ利用シテ憐ムベキ廢兵及遺族ヲ救護スルト云フコトハ、最モ是ハ必要ナルコトアリマス、國民總テガ兵トナリ國民總テガ國ノ爲ニ努力スルト云フ上ニ於テ、非常ニ必要ナル案テアルト考ヘルノアリマス、元來此ノ如キモノハ衆議院ノ提出ヲ待ツマテモナク、當局者ガ自ラ發案サルベキ性質ノモノアラウト考ヘテ居リマス、然ルニ當局者ニ贊成デアルガ如キ態度ヲ執ラレテ、恩給案ヲ通過スルヤ忽チ反對ノ態度ヲ示セラタニ付アハ、又或ハ之ヲ解シテ斯ウ云フモノモアリマス、最初ノ不同意ハ漸次了解ヲセラレテ同意ヲセラレタノアル、然ルニ陸軍當局以外ノ或者ガ是ヲシテ此ノ如ク立至ラシメル壓力ヲ加ヘタノアルト云フ風説が傳ハツテ居ルノアル、果シテ然ラハ我國今ノ政治界ニ於ケル最モ忌みベキ缺陷ヲ、遺憾ナク此問題ニ於テ暴露シクト申シテモ宜シノアリマス、テ政治家ノ要ハ國民ヲ理解スルニアリ、國民ノ心理狀態ヲ理解スルニアリ、軍隊ハ號令ヲ以テ動カスコトが出來マスガ、國民ノ心理狀態

○議長(島田三郎君) 限政府委員限德三君登壇

○相島勘次郎君 陸軍當局モ現在ノ廢兵戰病死者遺族軍人家族ト云フヤウナ人ノ苦シニ居ルト云フコトハ、御認メニナシテ居リマセウ、ソコテ之ヲ救濟スルノニ外ニ好イ財源ガアルカト云ヘバソレハナイノアリマス、ソレデ壯丁稅アキ役稅モ一層ムカシク言ヘバ幾ラモカシクナリマセウ、國民最高ノ軍氣ニ何トカ云フコトニモナリマセウガ、免大體ニ於テ吾々ノ意見が少數ヲシク見エマスルケレドモ、併ナガラ是ハ甚ダ誤テ居ル、切ニ委員諸君モ悔悟シテ吾々ノ說ニ贊成、ゼンコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 高田君ノ唯今ノハドウ云フ御説デスカ、反對説デスカ、延期説デスカ

○高田耘平君 川崎君ニ贊成デス

○相島勘次郎君 陸軍當局モ現在ノ廢兵戰病死者遺族軍人家族ト云フヤウナ人ノ苦シニ居ルト云フコトハ、御認メニナシテ居リマセウ、ソコテ之ヲ救濟スルノニ外ニ好イ財源ガアルカト云ヘバソレハナイノアリマス、ソレデ壯丁稅アキ役稅モ一層ムカシク言ヘバ幾ラモカシクナリマセウ、國民最高ノ軍氣ニ何トカ云フコトニモナリマセウガ、免大體ニ於テ吾々ノ意見が少數ヲシク見エマスルケレドモ、併ナガラ是ハ甚ダ誤テ居ル、切ニ財源ガナイトシテ見レバ、遺族ノ方ハ一日モ業ア置クベカラズト云フコトニナッテ居ルカラ、陸軍モ考ヘ直シテ爲サツタラ如何ト思ヒマスカ、如何デス、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(限德三君) 御答ヲ致シマス、廢兵戰病死者遺族軍人家族等ノ救護ヲ致スト云フコトニ付テハ、責任アル軍事當局者ト致シマシテ勿論提案ニ贊成同意ヲ致ス所アリマス、又過日來此委員諸君ガ兵役義務ニ就ク中ニハ貧困者ガアツテ、兵役ニ就クニ悲慘ナル狀態ニアルト云フ實情ヲ熱心ニ御述ニナリマシタ、之ヲ承テハ陸軍當局ト致シマシテ特ニ感涙ヲ催シマシタ次第ゴザイマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)右ノ次第アリマスカラ、此問題ハ軍事當局ト致シマシテハ頗ル重大ナル問題ト考ヘテ居リマス、一當局ト致シテ善シ惡シ構ハズ實ハ飛付イテ贊成ヲ致シタイノアリマス、併ナガラ目的ヲ達スル爲ニ手段ヲ選ばズト云フコトニナリマシテ、後ノ悔ヲ貽スヤウナコトニナッテハ大事ニアリマスカラ、此問題ハ軍事當局ト致シマシテハ頗ル重大ナル問題ト考ヘテ居リマス、一朝過ケバ所謂角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナ工合ニ、折角廢兵或ハ戰病死者ノ遺族ヲ救護セムトシテ、我帝國堅軍ノ志氣ヲ弛メ、又士氣ノ上ニ妨ゲトナル云フコトガ甚ダ氣遣ハレマシテ、此新ラシイ稅ガ愈々實行セラル、ト云フ場合ニナシテ、實行ヲ致サヌケレバナリマセスガ、ドウモ陸軍ハ高尚ナル至大至高ノ義務アルト云フヤウナ教科書的ノコトヲ言ツテ、實情ヲ知ラスト言ハレマシタガ、私ハ却テ反對ニ考ヘテ居リマス、今日マテ入營兵ヲ送リ或ハ歸郷兵ヲ迎ヘル、此考カラシテ若シ兵役ニ服せざル者カラ稅ヲ取ルト

云フコトニナレバ變ツテ來ハシナイカ、汝へ身自ラ兵役ノ義務ヲ盡スンデアル、我ハ金ヲ納メ納稅ノ義務ヲ濟マシテ居ルト云フヤウナコトニナッテハ、是コソ由タシキ大事デアル、要スルニ後援ノ美風ト云フコトが薄ライテ來ハセヌカト云フコトモ心配致シテ居ル、殊ニ愈、之ガ國稅トナチ徵收セラル、場合ニ於キマシテ、萬一或ハ滯納處分財產差押身代限りノ處分マテモ受ケルト云フコトニナルト、ドウシテモ私共ノ心配スル點ニ歸著スルコト、考ヘマス、ソレ故ニ前申上ゲマス通リニ、飛付イテ贊成同意ヲ致シタインアリマスルガ、遺憾ナガラ今日マテノ研究ニ於テ、此壯丁稅ヲ取ルト云フコトニハ贊成出來マセヌ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)

○小橋藻三衛君 然ラバ政府委員ニ御尋致シマスガ、最初ハ餘程反對サレタ所ガ陸軍大臣ガ非公式デハアリマスガ某委員ニ對シテ、之ガ所謂兵役稅ト云フコトデナクシテ壯丁稅トシテ一般ヨリ取ル、而シテ兵役ニ服スル者ニ免除スル精神アレバ、贊成デアルト云フ意味ヲ御漏シニナツタト云フコトハ事實アリマス、現ニ隈政府委員モ最初ハ餘程ムツカシイ態度アリマシタガ、後ニハ餘程御贊成ニナツテ、大藏省トモ種々御交渉ニナツタト云フ事實モアルノアリマス、所ガ委員會が此壯丁稅トシテ更ヘタト云フコトハ即チ其意見ニ——陸軍當局ノ意見ヲ參酌シテ此一名目ヲ更ヘタノアリマス、所ガ一朝此恩給法が通過シテ後、六十日間ニ亘ル此委員會ニ於テ大臣次官ハ一度モ出席サレナシ、次官ガ偶ニ顔ヲ出サレテ其席ニ於テ絕對ニ反對ナリト云フコトハ、陸軍次官ガ明言ヲセラレタノアリマスガ、一體此政府委員ト言ヒ大臣次官ト云フモノハ、各、自己一存ノ考ヲ表白セラルベキモノデハナシ、同シク陸軍ヲ代表シ同シク政府ヲ代表セラレテ居ル以上ハ、此ノ如キ前後矛盾ノ答辯ヲ致サレテ此委員會ヲ惑ハサレタト云フコトニ對シテハ、如何ナル御考ガアルアリマセウカ、此責任ヲ明カニ御答辯ヲ得タイノアリマス

○議長(島田三郎君) 此際時間ヲ延長致シマス

○政府委員(隈徳三君) 御答致シマス、陸軍當局政府委員或ハ次官等ニ於キマシテ、初ノ中頃終ヒニ説明ガ變ツタト云フヤウナ御尋テゴザイマスルガ、決シテ變ツテハ居リマセヌ(「ノウ」と呼フ者アリ)終始同シコトアリマス、唯先刻申上ゲマシタ通りニ、初メハ兵役稅ト云フ名前アリマシタ、唯今御尋通リ兵役稅ヲ取ルト云フコトニ付テハ不同意アシタノアリマス、段々委員諸君ノ熱心ナル話ヲ承リ、廢兵戰病死者遺族等ノ中ニ甚ダ氣ノ毒ナル憐レナル者ガアルト云フ、之ヲ救ハウト云フ御熱心ノ話ニ實ハ感動致シマシテ、何ト財源ガ工夫ガアルマイカ、財源ノ工夫ト云フコトハ私ガ申上ゲルノハ獨リ兵役稅デハナシ、此財源ヲ得ル爲ニ廣く研究調査致シテ、而シテ適當ナル財源ヲ見出シタトイ云フコト、尙此兵役稅ト云フモノニ付テモ何等か修正ヲ致シテ、陸軍當局ノ心配スル點ヲ洗ヒ去ルヤウニナツタナラバ、贊成モ出來ルノアリマスカラシテ、ソレ等ノ點ヲ大ニ考慮研究致シテ、ソレヲ中頃ニナツテ話ガ變ツタカノヤウニ御話ガゴザイマシタ、又終ヒニナツテハ何等カノ壓迫ヲ受ケテ說ガ變ツタト云フヤウナ御話モゴザイマスルガ、是ハ決シテサウデナシ、今日マテノ研究ノ結果ハ遺憾ナガラドウシテモ御同意が出來ヌト云フコトニ結著ヲ致シテ、其結果ヲ申上ゲタノデゴザイマス、ソレ故ニ左様御感シナツタカモ存ジマセヌガ、サウ云フ次第ゴザイマス、ソレカラ陸軍大臣ノコトヲ仰セニナリマシタ

ガ、是ハドウモ誠ニ病氣デゴザイマシテ、唯今實際食事モ殆ド思フヤウニ取ラナイヤウナ

實情アリマシテ、如何ニ御責メニナツテモ出席が出來ラレナイ境遇ニアリマスノテ、左様

御承知ヲ願ヒマス、又此機會ニ於キマシテ先刻來櫻口君其他カラ軍人恩給法ノ改正

ト云フコトニ付テ、種々御說ガアリマシタガ、是ハ甚ダ迷惑千萬ニ考ヘテ居リマス、此軍

人恩給法ナルモノハ、明治四十四年以來貴衆兩院ニ許多ノ請願が集ニテ参リマシテ、ソ

レヲ貴衆兩院トモ御採擇ニナツテ居ル、臨時議會ニ於テ衆議院ニ於テ法律案マテ通過

シタト記憶シテ居リマス、此軍人恩給法ナルモノハ軍事當局トシテ、ドウシテモ改正ハシナ

ケレバナラヌト云フ考ヲ有シテ居ルノアリマス、其故ニ此請願ハ此衆議院ニ於テ御採擇ニナツタ案ニ同意ヲ表シタノアリマス、又何カ恩給法ヲ改正シテ、上級者ガムヤミニ金ヲ

餘計貰フ、或ハソレガ爲ニ上級者ガ此改正ヲ運動シタト云フヤウナコトモ承リマスルガ、私ハ左様ナ事ハソレモ聞イテ居リマセヌ、又有ラウ譯ガアリマセヌ、尤モ上級者トシテ其必要ノ爲メニ、必要カラ見タラ或ハ運動ガマシイ嫌ガアツカモ知ラヌガ、御承知ノ通り

軍人ハ上級者ニナレバナル程多クノ部下ヲ有シテ居リマス、例ヘハ日露戰役ニ於テ旅順ノ攻撃三向シテ幾ラノ兵ヲ率イテ居テ、其内幾ラ戦死シタ、或ハ奉天ノ戰ニ於テ乙ノ部下カ

斯ウデアルト云フヤウナ事ハ、今日豫備ニ入シテ年ヲ取シテ上級者ニナツテ居ル者ハソレ程深ク感情ヲ有シノアリマス、ソレガ爲メ自分ノ爲メデハ決シテナイ、所謂下級者、下士、兵卒等ノ爲メニドウシテモ、此恩給ノ改正が必要アルト云フコトハ、是ハ一同感シテ

居ルニ相違アリマセヌ、又今日マテノ改正ノ結果終始下ニ厚クシテ、上ニ薄イト云フ主

義ヲ終始貫徹シテ居リマス、其來歴ヲ申上グレバ此恩給法改正ヲ唯今年號ハ忘レマシ

タガ、二十七年頃ト思ヒマス、此時ニ一度改正ヲ致シマシタガ此時ニハ下士以下ニ對

シテ五割ヲ増シテ居リマス、將校ニ對シテハ一文モ増シテ居リマセヌ、ソレカラ四十三年

ニ改正ヲ致シマシタノハ、是ハ上下通ジテ一割ノ増額ヲ致シテ居リマス、下士以下ハ今

日マテ七割ノ増額ニナル、將校ハ二割ノ増額ニナツテ居ルト云フ事デアリマス、左様御諒承ヲ……

○議長(島田三郎君) 発議ハ盡キタ考ヘマス、採決ノ方法ヲ一應

申述ベマス、兩案一時ニ議ニ付シマシタガ、採決ハ各別ニ致シマス、川崎君ノ延期説ハ

高田君ノ贊成ニ依テ成立致シマシタ、一種ノ動議ガアリマス、是ハ先決問題トシテ採決

致シマス、若シ是ガ成立致シマセヌケレバ、二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ決ヲ採リマス、兵

役稅法案、之ニ付テ延期シタトイ云フ川崎君ノ動議ニ贊成ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(島田三郎君) 少數アリマス、否決セラレマシタ、次ニ本案ニ付テ二讀會ヲ

開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ、直ニ二讀會ヲ開キマス

○議長(島田三郎君) 御異議ナリモノト認メ委員長報告通り決シマス(拍手起ル)

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) 御異議ナリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) 直ニ二讀會ヲ開キ

○議長(島田三郎君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス

兵役稅法案

第二讀會

○議長(島田三郎君) 委員長報告通り賛成ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數ニアリマス、委員長報告通り確定致シマシタ(拍手起ル)
次ニ廢兵戰病死者遺族軍人家族救護法案、是ハ二讀會ヲ開クニ御異議ナリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) 御異議ナケレバ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○議長(島田三郎君) 此案ハ簡易法ヲ採決致シタイト思ヒマス、直ニ第二讀會ヲ開キ第三

讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

廢兵戰病死者遺族軍人家族救護法案

第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ナイト認メマス、本案ハ第三讀會ヲ省略シテ可決確定致シマス

○小泉又次郎君 唯今高田耘平君ノ御演説中ニ望月圭介君ヨリ穩カナラザル言葉

ガアッタノデアリマス(「聞ヘタノハ君タケダ」ト呼フ者アリ)馬鹿云フナ、私ハ此席上ヨリ其取消ヲ要求スルヲ遺憾トルノデアリマスガ、議場ノ神聖ヲ保ツ上ニ、是非トモ望月君ヨリ其御言葉ノ御取消アラムコトヲ勸告スルノデアリマス

○議長(島田三郎君) 望月君、唯今ノ小泉君ノ發議ハドウ御考ニナリマス
(「居リマセヌ」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 望月君ハ見エマセヌ、此問題ハ懸案トスルヨリ外扱ヒ方ハゴザイマセヌ
(「保留々々」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 小泉君如何デスカ、本人ニ取消ヲ御求メニナッタノハ
○小泉又次郎君 保留致シマス

○議長(島田三郎君) フレデハ左様ニ扱ヒマス、保留スルコトニナリマシタ

○福田又一君 第十四以下ノ日程ハ、今日ハ延期セラレ散會セラレムコトヲ望ミマス
(「贊成」又「反對」ト呼フ者アリ)

第一讀會

○議長(島田三郎君) 議長ハ時間が過ギマスレバ、イッデモ散會スル權利ヲ與ヘラ
テ居リマス、ソレ故ニ福田又一君ノ議ヲ容レマス、次ノ日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマ
ス、今日ハ散會致シマス 午後六時十一分散會